

SONY®

OPTICAL DISC ARCHIVE 10SLOT LIBRARY

ODS-L10



電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

このオペレーションマニュアルには、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。**このオペレーションマニュアルをよく読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



Optical Disc Archive

OPERATION MANUAL

Japanese/English/French/German/Italian/Spanish/Chinese

1st Edition (Revised 2)



4451115030

安全のために

電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることもあり、危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4～7ページの注意事項をよくお読みください。

定期点検をする

長期間安全に使用していただくために、定期点検を実施することをおすすめします。点検の内容や費用については、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご相談ください。

故障したら使用を中止する

ソニーのサービス担当者、または営業担当者にご連絡ください。

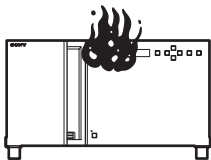
万一、異常が起きたら

異常な音、におい、煙が出たら



- ❶ 電源を切る。
- ❷ 電源コードや接続ケーブルを抜く。
- ❸ ソニーのサービス担当者、または営業担当者に修理を依頼する。

炎が出たら



すぐに電源を切り、消火する。

警告表示の意味

オペレーションマニュアルおよび製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながる場合があります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



感電



火災



手を挟まれないよう注意

行為を禁止する記号



禁止



水ぬれ禁止



ぬれ手禁止



分解禁止

行為を指示する記号



指示



アース線を接続せよ

目次

⚠ 警告	4
⚠ 注意	5
その他の安全上のご注意	7
概要	8
システム構成例	8
各部の名称と働き	9
前面パネル	9
背面パネル	11
起動と停止	12
起動する	12
停止する	12
カートリッジの出し入れ	12
I/E トレイを引き出す	12
カートリッジを出し入れする	12
データベースへの登録	13
緊急時のカートリッジ取り出し	13
ネットワークの設定	13
IP アドレスの設定	13
Web 画面の表示	14
メニュー操作	15
メニューの基本操作	15
メニュー一覧	15
メッセージ	16
使用上のご注意	18
結露について	18
HDD 搭載機器に対する注意事項	18
商標ならびにライセンス表記について	19
オープンソースソフトウェアのライセンスについて	19
GPL/LGPL/GPL V3 適用ソフトウェアの入手について	19
仕様	20

JP



下記の注意を守らないと、
火災や感電により死亡や大けがに
つながることがあります。



禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご相談ください



指示

指定された電源コードを使用する

指定以外の電源コードを使用すると、火災や感電の原因となります。



禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。
- ラックマウントするとき、レールにはさみ込まない。

万一、電源コードが傷んだら、ソニーのサービス担当者に交換をご依頼ください。



指示

電源コードのプラグ及びコネクターは突き当たるまで差し込む

真っ直ぐに突き当たるまでさしこまないと、火災や感電の原因となります。



分解禁止

外装を外さない、改造しない

外装を外したり、改造したりすると、感電の原因となります。内部の調整や設定及び点検を行う必要がある場合は、必ずサービストレーニングを受けた技術者にご依頼ください。



下記の注意を守らないと、
けがをしたり周辺の物品に**損害**を
与えることがあります。



指示

表示された電源電圧で使用する

製品の表示と異なる電源電圧で使用する
と、火災や感電の原因となります。



指示

運搬時には必ず底面を持つ

前面パネルの前扉下部に手を差し込んで
本機を持ち上げたりすると、前扉が壊れ
てけがをすることがあります。

本機は重量物ですので、必ず底面を持つ
て正しい姿勢で運搬してください。

不安定な姿勢で運搬すると、腰痛になっ
たり、落下によるけがをすることがあり
ます。



禁止

油煙、湯気、湿気、ほこりの 多い場所では設置、使用しな い

上記のような場所で設置・使用すると、
火災や感電の原因となります。

取扱説明書に記されている使用条件以外
の環境での設置・使用は、火災や感電の
原因となります。



水ぬれ禁止

水のある場所に設置しない

水が入ったり、ぬれたりすると、火災や
感電の原因となることがあります。

雨天や降雪中、海岸や水辺での使用は特
にご注意ください。



禁止

不安定な場所に設置しない

次のような場所に設置すると、倒れたり
落ちたりして、けがの原因となることが
あります。

- ・ぐらついた台の上
- ・傾いたところ
- ・振動や衝撃のかかるところ

また、設置・取り付け場所の強度を充分
にお確かめください。



禁止

通気孔をふさがない

通気孔をふさぐと内部に熱がこもり、火
災や故障の原因となることがあります。
風通しをよくするために次の項目をお守
りください。

- ・壁から 10 cm 以上離して設置する。
- ・密閉された狭い場所に押し込めない。
- ・毛足の長い敷物（じゅうたんや布団な
ど）の上に設置しない。
- ・布などで包まない。
- ・あお向けや横倒し、逆さまにしない。



禁止

高温下では使用しない

高温の場所で本機を使用すると、火災、
発火、発煙の原因となることがありま
す。周囲温度が 35℃ を超える場所や、
直射日光のあたる場所では使用しないで
ください。



アース線を 接続せよ

安全アースを接続する

安全アースを接続しないと、感電の原因となることがあります。

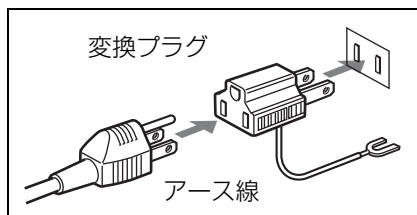
次の方法でアースを接続してください。

・電源コンセントが 3 極の場合

指定の電源コードを使用することで安全アースが接続されます。

・電源コンセントが 2 極の場合

指定の 3 極→2 極変換プラグを使用し、変換プラグから出ているアース線を建物に備えられているアース端子に接続してください。



安全アースを取り付けることができない場合は、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご相談ください。



指示

コード類は正しく配置する

電源コードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。

十分注意して接続・配置してください。



禁止

2 台以上積み上げない

ラックを使用せずに 2 台以上積み上げると、機器が落下してけがの原因となることがあります。



禁止

製品の上に乗らない、重いものを載せない

倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。



手を挟まれないよう注意

トレイを開閉する際には指や手をはさまない

トレイや本体の開口部に手を入れると、けがの原因となることがあります。



禁止

ファンが止まったままの状態 で使用しない

ファンが付いている製品では、ファンが止まると、アラームが表示されます。ファンが止まったまま使用し続けると、内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。ソニーのサービス担当者にご連絡ください。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。



指示

移動時にはコード類をはずす

電源コードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下などによりけがの原因となることがあります。

移動時には、コード類をはずしてください。



指示

2 人以上でラックマウント・ 運搬する

本機は重量があり、かつ左右のバランスが悪いので、けがや事故を防ぐため、ラックマウントや運搬は必ず 2 人以上で行ってください。



禁止

運搬時にトレイの取っ手部分 に手をかけない

トレイの取っ手部分に手をかけて本機を持ち上げたりすると、トレイがはずれて本体が落下し、けがの原因となることがあります。

必ず底面を持って、正しい姿勢で運搬してください。

その他の安全上のご注意

本機をラックに設置するときは、ラックと本機の間、左右両側面に 4cm 以上、後面に 10cm 以上の空間を確保してください。

設置時には、通気やサービス性を考慮して設置スペースを確保してください。

- ファンの排気部や通気孔をふさがない。
- 通気のために、セット周辺に空間をあける。
- 作業エリアを確保するため、セット後方は、50cm 以上の空間をあける。

机上などの平面に設置する場合は、左側面および右側面は 4cm 以上の空間をそれぞれ確保してください。ただし、セット上部はサービス性を考慮し 40cm 以上の空間を確保することを推奨します。

注意

日本国内で使用する電源コードセットは、電気用品安全法で定める基準を満足した承認品が要求されます。

ソニー推奨の電源コードセットをご使用下さい。

概要

オプティカルディスクアーカイブ 10 スロットライブラリー ODS-L10 は、別売のドライブユニット（ODS-D55U、ODS-D77U など）を最大 2 台、オプティカルディスクアーカイブ用カートリッジを最大 10 巻搭載可能なライブラリー機器です。複数のオプティカルディスクアーカイブカートリッジに対するデータの読み出し / 書き込みを効率的に行うことができ、データ（素材）のアーカイブやアーカイブされたデータ（素材）のリトリブ（サーバーへのアップロード）を効率化します。

内蔵の HDD は、標準で RAID-1¹⁾（ミラーリング）を構成しています。また、電源ユニットは、別売のオプションパワーサプライ XDBK-101 を装着することで、2 基に拡張

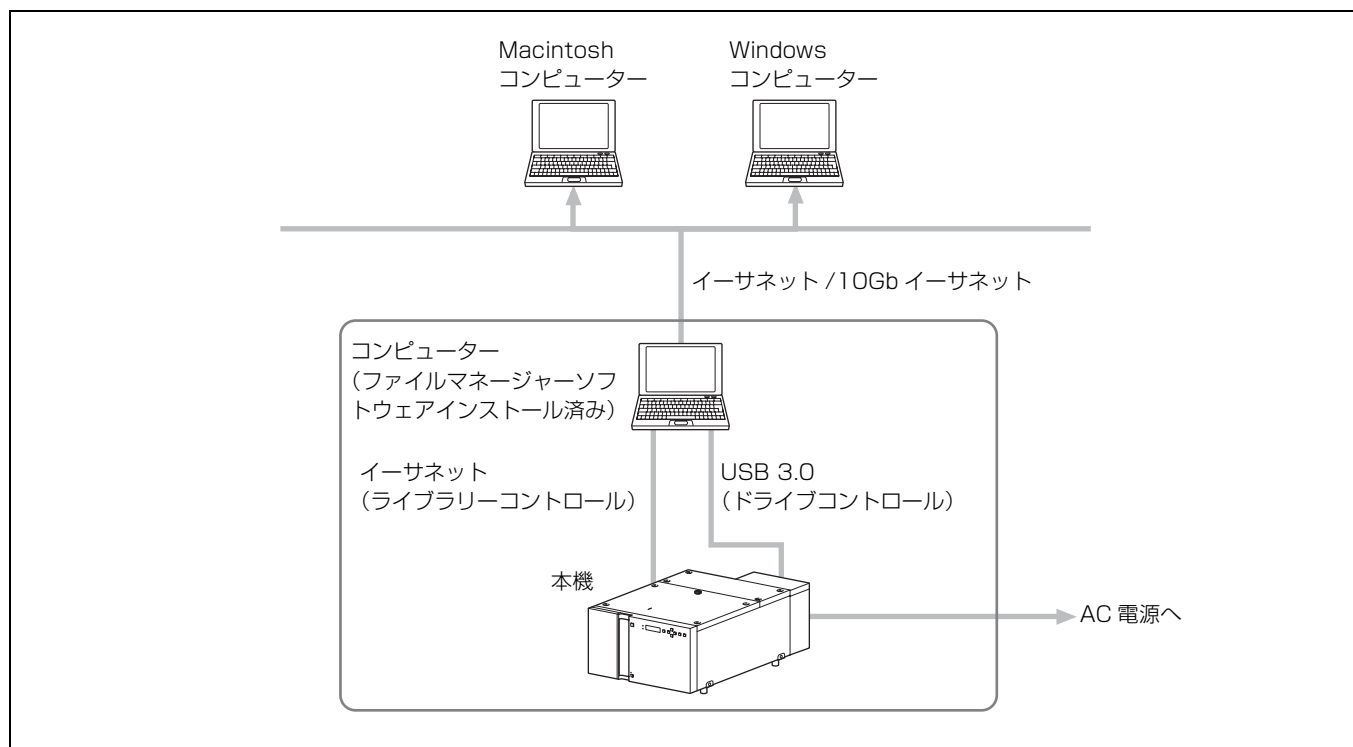
することが可能です。これらにより、一方の HDD / 電源ユニットが故障しても運用が継続でき、高い信頼性を要求されるシステムに対応します。

1) RAID-1（Redundant Arrays of Inexpensive Disks 1）：2 台の HDD に同時に同じデータを書き込むことで信頼性を高める機能。

以下、ドライブユニットを装着した ODS-L10 を「本機」、オプティカルディスクアーカイブカートリッジを「カートリッジ」と呼びます。

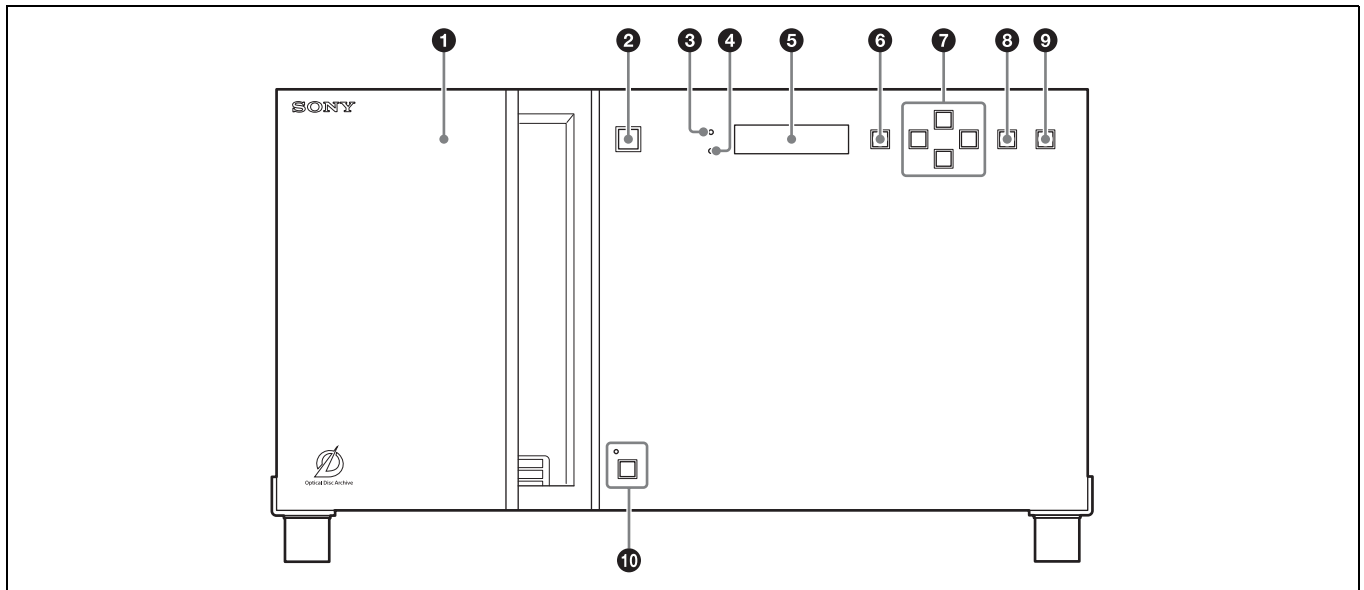
システム構成例

本機と関連機器を組み合わせ、以下のようなシステムを構成することができます。



各部の名称と働き

前面パネル



① I/Eトレイドア

② RELEASE ボタン

I/Eトレイのロックを解除します。ボタンを押すと、内部で実行中の処理を終了させて、ロックを解除します。ボタンは、ロック解除時に点灯、ロック時に消灯します。ロックを解除したあと10秒以内にI/Eトレイを開けなかった場合は、再びI/Eトレイがロックされます。

③ ALARM インジケータ

エラー、ワーニングの発生時に点滅します。

赤点滅：エラー

オレンジ点滅：ワーニング

④ ACCESS インジケータ

内蔵HDDへのアクセス時に点灯します。

⑤ ディスプレイ

本機の状態や設定メニュー、メッセージなどを表示します。通常時は、上段に本機のID、下段にI/EトレイA、I/EトレイBに挿入されているカートリッジの枚数が表示されます。

ID:****
TRAY A:5 B:3

⑥ MENU ボタン

押すと、ディスプレイにメニューを表示します。

⑦ 矢印ボタン

ディスプレイ上のメニューのスクロール、入力値の設定を行います。

⑧ ENTER ボタン

メニュー操作時に、次のページへ移動したり、入力値を確定します。

⑨ ESC ボタン

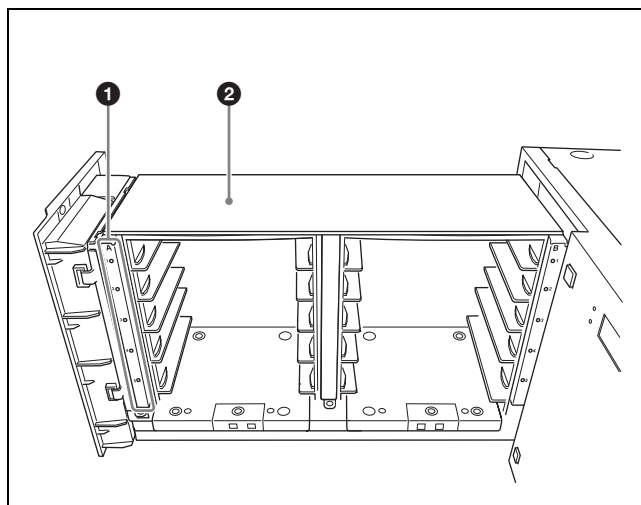
メニュー操作時に、前のページへ移動したり、設定を取り消します。

⑩ オン/スタンバイボタンとインジケータ

背面の主電源スイッチが入のときに、本機のオン/スタンバイを切り換えます。スタンバイにするときには、ボタンを2秒以上押します。

インジケータは、オンのときに緑色に点灯し、スタンバイのときに赤色に点灯します。シャットダウン処理時は、緑色に点滅します。

I/Eトレイ



① LED

I/Eトレイ A、I/Eトレイ Bの各スロット（上からスロット1～スロット5）の状態を表示します。また、上位アプリケーションから指定したスロットを点灯／点滅させて、該当するスロットがどれかをわかりやすく表示することもできます。

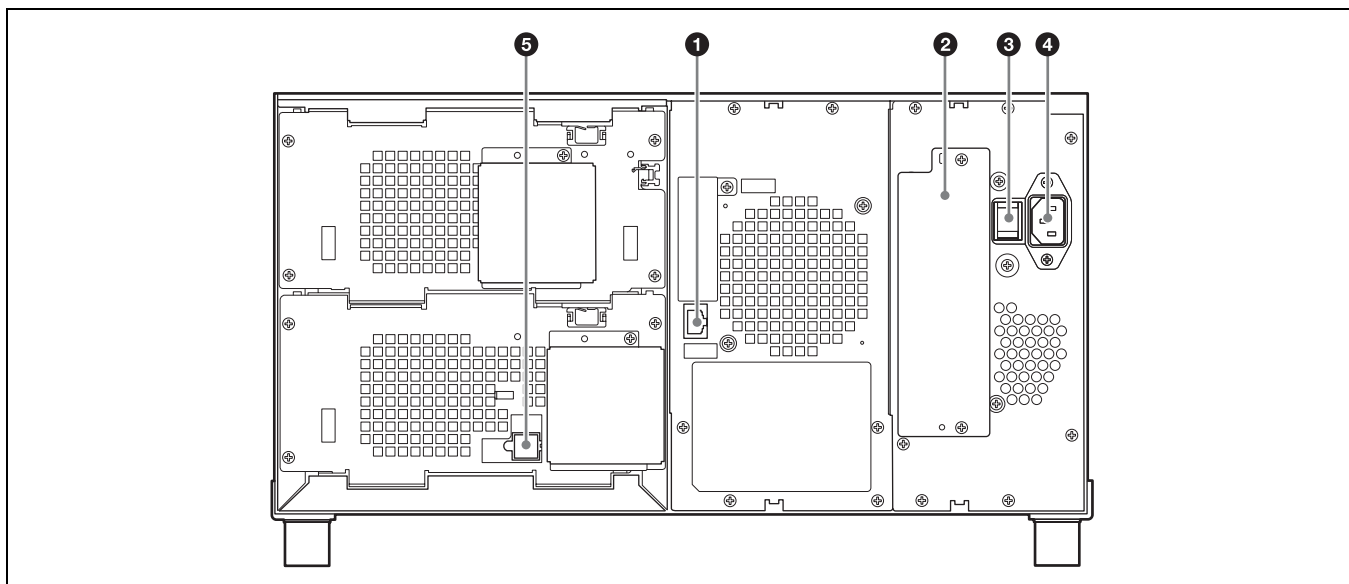
② I/Eトレイ A、I/Eトレイ B

I/Eトレイ A、I/Eトレイ Bに、カートリッジを5巻ずつ格納できます。

各I/Eトレイのスロットには上から1～5の番号が付いています。

背面パネル

次図は、ODS-L10 の下側スロットに別売のドライブユニット ODS-D55U を 1 台装着した状態です。ODS-D77U を装着した場合は、ドライブユニット背面の形状が異なります。詳しくは、インストレーションマニュアルをご覧ください。



① 品(ネットワーク) 端子

コンピューターにインストールされたファイルマネージャーソフトウェアを使って本機を操作するために、ネットワークケーブルを接続します。

ご注意

- 安全のために、周辺機器を接続する際は、過大電圧を持つ可能性があるコネクタをこの端子に接続しないでください。
接続については本書の指示に従ってください。
- ネットワークケーブルご使用の際は、輻射ノイズによる誤動作を防ぐため、シールドタイプのケーブルを使用してください。

② 冗長電源ユニット装着部

別売のオプションパワーサプライ XDBK-101 を装着することによって、電源を二重化することができます。信頼性が要求されるシステムで本機を使用するとき、一方の電源ユニットが故障しても運用の継続が可能です。

- ◆ 電源ユニットの追加または交換については、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご連絡ください。

③ 主電源スイッチ

主電源を入 / 切します。本機使用時は、通常このスイッチを入にしておき、前面のオン / スタンバイボタンで本機の可動状態とスタンバイ状態を切り換えます。

ご注意

主電源を切るときは、必ず前面パネルのオン / スタンバイボタンでスタンバイ状態にしてから、このスイッチを押してください。

④ AC IN 端子

電源コードを挿入して、電源コンセントに接続します。

⑤ USB 端子 (SuperSpeed USB (USB 3.0) 対応)

USB ケーブルを使って、本機に搭載されたドライブユニット (別売) をコンピューターに接続します。

起動と停止

で注意

起動または停止するときは、必ず I/E トレイを閉じてください。I/E トレイを開けた状態で起動または停止することはできません。

起動する

- 1 電源コードが接続されていることを確認して、本機背面の主電源スイッチを入れる。
- 2 本機前面のオン / スタンバイボタンを押す。

ボタンを押すと、オン / スタンバイボタンのインジケーターが緑色に点灯します。

本体の初期化が終了し、ディスプレイの文字が点滅から点灯に変わると、本機を使用できます。

停止する

- 1 オン / スタンバイボタンを 2 秒以上押す。
- 2 ディスプレイにシャットダウンの確認メッセージが表示されるので、矢印ボタンで Y を選択して、ENTER ボタンを押す。
- 3 オン / スタンバイボタンのインジケーターが緑点滅から赤点灯に変わったのを確認して、背面の主電源スイッチを切る。

カートリッジの出し入れ

I/E トレイを引き出す

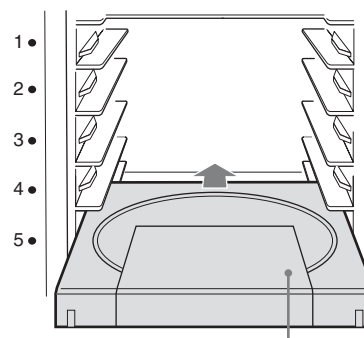
I/E トレイを引き出すには、前面パネルの RELEASE ボタンを押して、I/E トレイのロックを解除する必要があります。RELEASE ボタンを押すと、ボタンが点滅し、ロック解除処理が行われます。ロックが解除されると、ボタンが点灯します。

で注意

ボタンが点灯するのを待って I/E トレイを引き出してください。

カートリッジを出し入れする

スロットにカートリッジを挿入し、スロットの奥に突き当たるまで差し込みます。



ラベル貼り付け部を上

カートリッジを取り出すときは、手前に水平に引き出します。

I/E トレイを閉じる

I/E トレイを本体の奥に突き当たるまでゆっくり押し込み、RELEASE ボタンが消灯したことを確認してください。

で注意

- RELEASE ボタンが点灯している場合は、I/E トレイが完全に閉まっていません。
- 3 分以上 I/E トレイを引き出したままにすると、警告音が鳴ります。

データベースへの登録

カートリッジを挿入して I/E トレイを閉めると、各カートリッジの情報が本機内のデータベースに自動的に登録されます。多数のカートリッジを交換した場合は、登録に時間がかかることがあります。

データベースへの登録が終了すると、上位アプリケーションからカートリッジを操作することができます。

緊急時のカートリッジ取り出し

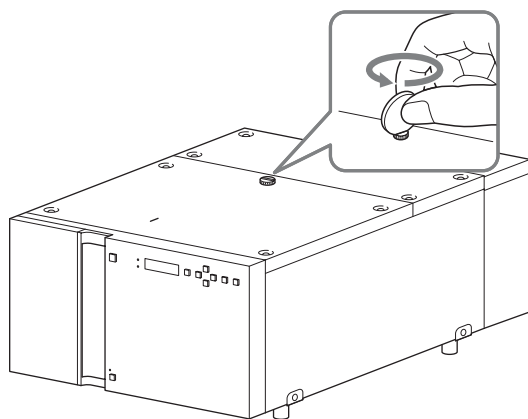
本機の電源がオフのときにカートリッジを取り出すときは、次の手順で行ってください。

- 1 電源がオフになっていることを確認する。

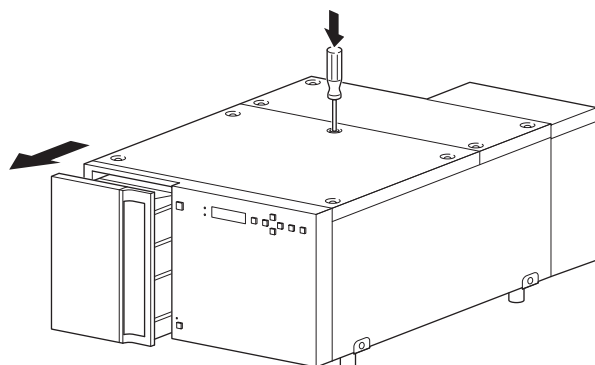
ご注意

電源がオンのときに下記の作業を行うと、カートリッジ搬送部が破損するおそれがあります。

- 2 コインなどを使用して、本機上面のネジを取りはずす。



- 3 ネジ穴にドライバーなどを挿入して、下に押し込みながら、I/E トレイを引き出す。



- 4 カートリッジを取り出す。
- 5 はずしたネジを元のネジ穴に取り付ける。

ネットワークの設定

ファイルマネージャーソフトウェアを使って本機を操作するために、本機とファイルマネージャーソフトウェアがインストールされたコンピューターをネットワークケーブルで接続します。

接続後、本機の IP アドレスを設定します。

IP アドレスの設定

IP アドレス、サブネットマスク、およびデフォルトゲートウェイを設定します。工場出荷時には、次の値が設定されています。

IP アドレス：192.168.1.10

サブネットマスク：255.255.255.0

デフォルトゲートウェイ：0.0.0.0

IP アドレスなどの設定には、本機前面のディスプレイおよびボタンを使用します。

- 1 MENU ボタンを押す。

ディスプレイがメニュー表示に切り換わります。

IP SETTING

- 2 上下ボタンでメニューをスクロールさせて IP SETTING を選択し、ENTER ボタンを押す。

IP ADDRESS 画面が表示されます。

IP ADDRESS
192.168.001.010

- 3 ENTER ボタンを押す。

IP アドレスの最初の桁が点滅し、アドレスを変更できるようになります。

IP ADDRESS
192.168.001.010

- 4 IP アドレスを入力する。

左右ボタンで桁を移動し、上下ボタンで数値を変更します。

5 入力完了したら、ENTER ボタンを押す。

設定したアドレスが確定します。

IP ADDRESS 192.168.001.010

6 隣のボタンでSUBNET MASK画面を表示し、ENTER ボタンを押す。

SUBNET MASK 255.255.255.000

7 IPアドレスと同様にサブネットマスクを入力し、完了したら ENTER ボタンを押す。

8 隣のボタンでDEFAULT GATEWAY画面を表示し、ENTER ボタンを押す。

DEFAULT GATEWAY 000.000.000.000

9 同様にデフォルトゲートウェイを入力し、完了したら ENTER ボタンを押す。

10 MENU ボタンまたはESC ボタンを2回押して、メニュー操作を終了する。

本機を再起動すると、変更した IP アドレスが有効になります。

IP アドレスは、Web 画面でも変更できます。

- ◆ Web 画面での変更方法については、ODS-L10 Software のヘルプをご覧ください。

Web 画面の表示

本機の設定操作は、Web 画面を使って行えます。

推奨環境

Web ブラウザー：Microsoft Internet Explorer 8
(Windows の場合)、Safari 5.1 (Mac OS の場合)
モニターサイズ：横幅 1280 ピクセル以上

ご注意

Internet Explorer 8 を使用する場合、表示モードは「IE8 Standard Mode」を使用してください。

Web 画面を表示するには、Web ブラウザーのアドレス欄に「http:// (本機の IP アドレス) /」を入力します。

例：http://192.168.1.10/



Web ブラウザーが本機に接続すると、認証画面が表示されます。下記のユーザー名およびパスワードを入力してください。

ユーザー名：admin、パスワード：ods-l10

認証されると、Setup Menu (セットアップメニュー) 画面が表示されます。

- ◆ Web 画面の操作については、ODS-L10 Software のヘルプをご覧ください。

ご注意

- ネットワークの設定内容については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
プロキシサーバーの設定によっては、ネットワークに接続できない場合があります。
- 本機に同時に接続できる Web クライアントは、1 台のみです。
- Web 画面への同時接続数 (http セッション数) は、3 です。2 セッション以上接続している場合、登録操作が重くなるとエラーになる場合があります。この場合は、再度登録操作を行ってください。

メニュー操作

本機前面のディスプレイに表示されるメニューで、本機の基本設定を行ったり、本機のステータスを表示することができます。メニューの操作には、本機前面のボタンを使用します。

メニューの基本操作

警告音の設定を例に、メニューの基本的な操作を説明します。

1 MENU ボタンを押す。

メニュー項目を選択するモードになります。

IP SETTING

2 上下ボタンでメニュー項目をスクロールし、ENTER ボタンを押す。

選択した項目の現在の状態が表示されます。

BUZZER
ON

3 ENTER ボタンを押す。

カーソルが点滅し、変更可能な状態になります。

BUZZER
[ON]

4 矢印 (左右) 上下ボタンで設定を切り換える。

BUZZER
[OFF]

5 ENTER ボタンを押して、設定を確定する。

点滅していたカーソルが消えると、設定が確定されます。

BUZZER
OFF

6 MENU ボタンまたは ESC ボタンを押すと、メニュー項目の選択画面に戻ります。

7 もう一度 MENU ボタンを押すと、メニュー操作を終了します。

メニュー一覧

メニュー	説明
IP SETTING	ネットワークの設定を行います。 詳しくは、「IP アドレスの設定」(13 ページ)をご覧ください。 IP ADDRESS : IP アドレスを設定します。 SUBNET MASK : サブネットマスクを設定します。 DEFAULT GATEWAY : デフォルトゲートウェイを設定します。
BUZZER	警告音をオン / オフします。
LCD LIGHT	ディスプレイのバックライトを常時点灯するか、操作しないときに自動的に消灯するかを切り換えます。OFF を設定した場合、RELEASE ボタン以外のボタンが一定時間操作されないと、バックライトが消灯します。オートオフで消灯した状態で RELEASE ボタン以外のいずれかのボタンを操作すると、バックライトが点灯します。 推奨 : OFF
SILENT MODE	動作音を低減させるモードをオン / オフします。
SERIAL NUMBER	本機および搭載ドライブのシリアルナンバーを表示します。 SERIAL NUMBER : 本機のシリアルナンバーを表示します。
VERSION	SOFTWARE VERSION : 本機の内蔵ソフトウェアのバージョンを表示します。
ERROR STATUS	エラー / ワーニングが発生したときにエラーコード、またはメッセージを表示します。 上下ボタンで画面をスクロールします。 メッセージが表示された場合の対処については、「メッセージ」(16 ページ)をご覧ください。 xx-xxx という形式のエラーコードが表示された場合は、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご連絡ください。
HDD FORMAT	本機の内蔵 HDD をフォーマットします。 Yes を選択して、ENTER ボタンを押すとフォーマットを開始します。
SHUTDOWN	本機をシャットダウンします。 操作を実行中の場合は、実行中の操作が表示されます。Y を選択して、ENTER ボタンを押すと、シャットダウンします。
ACCOUNT RESET	アカウントの設定を工場出荷時の状態 (ユーザー名 : admin、パスワード : ods-l10) に戻します。 Yes を選択して、ENTER ボタンを押すと、アカウントをリセットします。

メッセージ

本機のハードウェアや設定などに異常がある場合は、本機前面の ALARM インジケーターが赤（エラー）またはオレンジ（ワーニング）で点滅します。メニューの ERROR STATUS を選択すると、エラーコード（Error xx-xxx）またはメッセージがディスプレイに表示されます。

主にハードウェアを原因とする異常が発生した場合は、エラーコードが表示されます。エラーコードが表示された場合は、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご連絡ください。

メッセージが表示された場合は、下記の説明に従って原因を取り除いてください。メッセージが繰り返し表示される場合は、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご連絡ください。

メッセージ	説明
FAN1 Warning	ファンの回転数が低下しています。 本機は動作しますが、このまま使用を継続すると本体内部またはドライブ内部の温度が上昇し、故障や火災につながるおそれがあります。 ソニーのサービス担当者または営業担当者にご連絡ください。
FAN2 Warning	
FAN1 Error	ファンが回転していません。 本機は動作しますが、このまま使用を継続すると本体内部またはドライブ内部の温度が上昇し、故障や火災につながるおそれがあります。 ソニーのサービス担当者または営業担当者にご連絡ください。
FAN2 Error	
High TEMP!	本体内部の温度が高すぎます。 本機は動作しますが、このまま使用を継続すると本体内部またはドライブ内部の温度がさらに上昇し、故障や火災につながるおそれがあります。 ソニーのサービス担当者または営業担当者にご連絡ください。
Low TEMP!	本体内部の温度が低すぎます。 本機は動作しますが、HDD の性能が低下するため、読み込み / 書き出しに支障が出るおそれがあります。
PowerUnit(A) Err	電源ユニットの異常を検出しました。 ソニーのサービス担当者または営業担当者にご連絡ください。
PowerUnit(B) Err	
DC Power Warning	本体内部の DC 電圧値が異常です。 本機は動作しますが、このまま使用を継続すると本体内部またはドライブ内部の温度が上昇し、故障や火災につながるおそれがあります。 ソニーのサービス担当者または営業担当者にご連絡ください。
ILL. SETUP!	セットアップメニューの設定値に異常があります。 セットアップをやり直してください。その後も同じエラーが発生する場合は、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご連絡ください。
JM Com Error	本機を再起動してください。その後も同じエラーが発生する場合は、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご連絡ください。
CC Com Error	
SV Com Error	
HDD1 Warning	HDD の読み出し / 書き込みエラーが多発しています。HDD を交換する必要があります。 ソニーのサービス担当者または営業担当者にご連絡ください。
HDD2 Warning	
HDD1 Fail	HDD に異常があり、使用できません。HDD を交換する必要があります。 ソニーのサービス担当者または営業担当者にご連絡ください。
HDD2 Fail	
Rebuilding xx%	データのリビルドを実行しています。 リビルドが終了するまで電源を切らないでください。
Update Err!	ソフトウェアのアップデートが正常に行われませんでした。 もう一度アップデートを行ってください。その後も同じエラーが表示される場合は、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご連絡ください。
Turn off/on PWR!	設定の変更を有効にするために、本機を再起動してください。

メッセージ	説明
DIPSW Error	ディップスイッチの設定が読み込めませんでした。 本機を再起動してください。その後も同じエラーが発生する場合は、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご連絡ください。
RCX Pos Error	本機を再起動してください。その後も同じエラーが発生する場合は、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご連絡ください。
RCY Pos Error	
RCZ Pos Error	
PSU detect	冗長電源ユニットが装着されています。 Setup Menu 画面の設定を確認してください。
Unknown USB	未対応 USB デバイスを検出しました。
LCD Com Error	LCD との通信ができません。
Door is Opening	I/E トレイのドアが開いています。
NO SYSINFO	機種設定ファイルが失われました。 Setup Menu 画面でシリアルナンバーを再設定してください。
NO ODS CONF	本機の設定ファイルが失われました。 Setup Menu 画面で再設定を行ってください。
NO NETWORK CFG	ネットワーク設定ファイルが失われました。 ネットワークの再設定を行ってください。
Exchg battl	バッテリーの交換時期です。 ソニーのサービス担当者または営業担当者にご連絡ください。

使用上のご注意

安全にご使用いただくために、「安全のために」(2 ページ)、「 警告」(4 ページ)、「 注意」(5 ページ)、「その他の安全上のご注意」(7 ページ)と併せてご覧ください。

取り扱い・保管上のご注意

強い衝撃を与えない

内部構造や外観の変形などの損傷を受けることがあります。また、内蔵ストレージが故障するおそれがあります。

動作中は布などで包まないでください

内部の温度が上がり、故障することがあります。

使い終わったら

オン／スタンバイボタンをオフにしてください。
長時間使わないときは、さらに後面の主電源スイッチも切ってください。

輸送

- ・内蔵ストレージの故障を防ぐため、必ず電源を切ってください。
- ・トラック、船、航空機など、本機を貨物として扱う輸送では、お買い上げ時の梱包材をご使用ください。
- ・ SHIPPING をしないで輸送すると、内部の部品が損傷を受けます。
付属のインストラクションマニュアルに従って、必ず SHIPPING ネジおよび SHIPPING 金具の取り付けを行ってください。
- ・ドライブを取り外さないで輸送を行うと、本機とドライブが損傷を受けます。必ずドライブを本機から取り外して、本機の輸送を行ってください。

お手入れ

外装の汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ります。ひどい汚れは、中性洗剤液を少し含ませた布で拭いた後、カラ拭きします。アルコール、ベンジン、シンナーなどの薬品類は、表面が変質したり、塗料がはげることがありますので、使わないでください。

万一、異常が生じたときは

ソニーのサービス担当者または営業担当者にご相談ください。

使用場所・保管場所

水平な場所、空調のある場所に保管してください。

次のような場所での使用・保管は避けてください。

- ・ 極端に寒い所、暑い所（使用温度は 5℃～35℃）。
真夏、窓を閉め切った自動車内は 50℃を越えることがあります。
- ・ 湿気・ほこりの多い所。
- ・ 雨が当たる所。
- ・ 激しく振動する所。
- ・ 強い磁気を発生するものの近く。
- ・ 強力な電波を発生するテレビやラジオの送信所の近く。
- ・ 直射日光が長時間当たる場所や暖房器具の近く。

携帯電話などによる電波障害を防止するために

携帯電話などを本機の近くで使用すると、誤動作を引き起こすことがあります。

本機の近くでは、携帯電話などの電源はできるだけ切ってください。

結露について

本機を冷たい場所から暖かい場所へ移したり、湿気の多い場所で使用したりすると、空気中に含まれる水蒸気が、光学ピックアップに水滴となって付着することがあります。これを結露といい、このような状態で本機を使用すると、記録・再生が正常に行われない可能性があります。結露の可能性がある状況で本機を移動するときは、あらかじめカートリッジを挿入しておいてください。

HDD 搭載機器に対する注意事項

本機には、ハードディスクドライブ（以下、HDD）が搭載されています。HDD は精密部品であり、衝撃・振動・静電気・温度・湿度が原因で故障したり、HDD 内のデータが破損するおそれがあります。本機を設置・使用するときは、以下の注意事項をよくお読みのうえ、慎重に取り扱ってください。

衝撃・振動を与えない

衝撃・振動が加わると HDD が故障あるいは HDD 内のデータが破壊されるおそれがあります。

- ・ 本機を搬送する場合は、指定の梱包材料で梱包してください。台車などで搬送する場合は、振動の少ない台車を使用してください。過度な衝撃・振動が加わると HDD が故障するおそれがあります。
- ・ 通電中は本機を移動しないでください。
- ・ ラック内にあるすべての HDD 搭載機器に衝撃を与えないでください。
- ・ 本機をラックから出し入れするとき、ラック内に通電中の HDD 搭載機器がある場合は、必ずその機器の電源をオフにしてください。

- 本機を床などに置くときは、水平で安定した場所に置いてください。
- 振動を発生する機器の近くに置かないでください。

静電気を付加しない

静電気を発生するプラスチック類（エアーキャップなど）は作業範囲から取り除いてください。また、HDD を扱うときは、必ずグラウンドアースをとったアースバンドを着用してください。

電源オフ後 30 秒間は作業しない

電源をオフにした後もしばらくの間は、HDD 内のディスクは慣性で回転しており、ヘッドは不安定な状態にあります。この期間は、通電中以上に衝撃・振動に弱い状態です。電源オフ後、最低 30 秒間は軽い衝撃も与えないようにご注意ください。30 秒以上経過すれば、（ディスクが静止するので）作業を開始できます。

温度・湿度に関するご注意

適正範囲内の温度・湿度にある場所で、保管・使用してください。また、外装をはずした状態では通電しないでください。

動作温度：5℃～35℃

動作湿度：20%～90%（結露のないこと）

保存温度：-20℃～+60℃

HDD に不良症状が現れた場合

万一、本機の HDD が故障した（不良症状が現れた）と思われる場合でも、本機の取り扱い、上記と同様に行ってください。不良内容の確認や不良解析を行うまでの損傷の拡大を防ぎます。

HDD の交換

HDD の交換時期については、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご確認ください。

商標ならびにライセンス表記について

オープンソースソフトウェアのライセンスについて

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されています。当該ソフトウェアの著作権者の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。ライセンスの内容に関しては、ヘルプの「Open Source Software License List」をご覧ください。

GPL/LGPL/GPL V3 適用ソフトウェアの入手について

本製品は GPL version 2、LGPL version 2.1、GPL version 3 適用のソフトウェアを使用しており、お客様には、これらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせします。

これらのソースコードはインターネットのサーバーからダウンロードすることが可能です。以下の URL にアクセスすれば、具体的なダウンロードの方法がわかるようになっています。

<http://oss.sony.net/Products/Linux/common/search.html>

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

仕様

一般

電源	AC 100 V ~ 240 V、50 Hz/60 Hz
消費電力	170 W
動作温度	5 °C ~ 35 °C
保存温度	-20 °C ~ +60 °C
動作湿度	20% ~ 90% (相対湿度)
保存湿度	75% 以下
質量	27 kg (ドライブユニット、カートリッジ 含まず)
外形寸法	424 × 220 × 830 mm (幅 / 高さ / 奥行 き) (突起部含まず)

入出力

品 (ネットワーク)

RJ-45 型モジュージャック (1)
1000BASE-T : IEEE 802.3ab 準拠
100BASE-TX : IEEE 802.3u 準拠

内蔵ストレージ

ハードディスクドライブ

500 GB HDD 2 台 (ミラー構成 (Raid 1))

付属品

- インストールマニュアル (1)
- オペレーションマニュアル (1)
- ファイルマネージャー用シリアルナンバーシート (1)

別売品

オプションパワーサプライ XDBK-101

オプション光学ディスクアーカイブカートリッジ

- ODC300R (300 GB、ライトワンス型)
- ODC300RE (300 GB、リライタブル型)
- ODC600R (600 GB、ライトワンス型)
- ODC600RE (600 GB、リライタブル型)
- ODC1200RE (1.2 TB、リライタブル型)
- ODC1500R (1.5 TB、ライトワンス型)

オプション光学ディスクアーカイブドライブユニット ODS-D55U

オプション光学ディスクアーカイブドライブユニット ODS-D77U

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

本機は「高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品」です。

- 必ず事前に記録テストを行い、正常に記録されていることを確認してください。本機や記録メディア、外部ストレージなどを使用中、万一これらの不具合により記録されなかった場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。
- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。

ソフトウェアについて

本機を PC と接続して使用する際は、ファイルマネージャーソフトウェアをソニープロフェッショナル / 業務用製品サイトからダウンロードしてお使いください。ファイルマネージャーを使用するためには、本機に同梱のシリアルナンバーを入力して認証を行う必要があります。認証方法について詳しくは、ファイルマネージャーのインストールガイドをご覧ください。

ソニープロフェッショナル / 業務用製品サイトホームページ：

アメリカ合衆国	http://pro.sony.com
カナダ	http://www.sonybiz.ca
ラテンアメリカ	http://sonypro-latin.com
ヨーロッパ	http://www.pro.sony.eu/pro/
中東、アフリカ	http://sony-psmea.com
ロシア	http://sony.ru/pro/
ブラジル	http://sonypro.com.br
オーストラリア	http://pro.sony.com.au
ニュージーランド	http://pro.sony.co.nz
日本	http://www.sonybsc.com
アジア	http://pro.sony-asia.com
韓国	http://bp.sony.co.kr
中国	http://pro.sony.com.cn
インド	http://pro.sony.co.in

Sony Creative Software 社のソフトウェアダウンロードページ

http://www.sonycreativesoftware.com/download/software_for_sony_equipment

Before operating the unit, please read this manual thoroughly and retain it for future reference.

WARNING

To reduce the risk of fire or electric shock, do not expose this apparatus to rain or moisture.

To avoid electrical shock, do not open the cabinet. Refer servicing to qualified personnel only.

THIS APPARATUS MUST BE EARTHED.

Attention-when the product is installed in Rack:

1. Prevention against overloading of branch circuit

When this product is installed in a rack and is supplied power from an outlet on the rack, please make sure that the rack does not overload the supply circuit.

2. Providing protective earth

When this product is installed in a rack and is supplied power from an outlet on the rack, please confirm that the outlet is provided with a suitable protective earth connection.

3. Internal air ambient temperature of the rack

When this product is installed in a rack, please make sure that the internal air ambient temperature of the rack is within the specified limit of this product.

4. Prevention against achieving hazardous condition due to uneven mechanical loading

When this product is installed in a rack, please make sure that the rack does not achieve hazardous condition due to uneven mechanical loading.

5. Install the equipment while taking the operating temperature of the equipment into consideration

For the operating temperature of the equipment, refer to the specifications of the Operation Manual.

6. When performing the installation, keep the following space away from walls in order to obtain proper exhaust and radiation of heat.

Right, Left : 4 cm (1.6 inches) or more

Rear : 10 cm (4 inches) or more

When installing the installation space must be secured in consideration of the ventilation and service operation.

- Do not block the ventilation slots at the left side and right side panels, and vents of the fans.
- Leave a space around the unit for ventilation.

- Leave more than 50 cm (19 ³/₄ inches) of space in the rear of the unit to secure the operation area.

When the unit is installed on the desk or the like, leave at least 4 cm (1 ⁵/₈ inches) of space in the left and right sides. Leaving 40 cm (16 inches) or more of space above the unit is recommended for service operation.

WARNING: THIS WARNING IS APPLICABLE FOR USA ONLY.

If used in USA, use the UL LISTED power cord specified below.

DO NOT USE ANY OTHER POWER CORD.

Plug Cap	Parallel blade with ground pin (NEMA 5-15P Configuration)
Cord	Type SJT, three 16 or 18 AWG wires
Length	Minimum 1.5 m (4 ft 11 in), Less than 2.5 m (8 ft 3 in)
Rating	Minimum 10A, 125V

Using this unit at a voltage other than 120V may require the use of a different line cord or attachment plug, or both. To reduce the risk of fire or electric shock, refer servicing to qualified service personnel.

WARNING: THIS WARNING IS APPLICABLE FOR OTHER COUNTRIES.

1. Use the approved Power Cord (3-core mains lead) / Appliance Connector / Plug with earthing-contacts that conforms to the safety regulations of each country if applicable.
2. Use the Power Cord (3-core mains lead) / Appliance Connector / Plug conforming to the proper ratings (Voltage, Ampere).

If you have questions on the use of the above Power Cord / Appliance Connector / Plug, please consult a qualified service personnel.

For kundene i Norge

Dette utstyret kan kobles til et IT-strømfordelingssystem.

For the customers in the U.S.A.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.

You are cautioned that any changes or modifications not expressly approved in this manual could void your authority to operate this equipment.

All interface cables used to connect peripherals must be shielded in order to comply with the limits for a digital device pursuant to Subpart B of part 15 of FCC Rules.

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

For the customers in Canada

This Class A digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

For the customers in Europe, Australia and New Zealand

WARNING

This is a Class A product. In a domestic environment, this product may cause radio interference in which case the user may be required to take adequate measures.

For the customers in Europe

This product has been manufactured by or on behalf of Sony Corporation, 1-7-1 Konan Minato-ku Tokyo, 108-0075 Japan. Inquiries related to product compliance based on European Union legislation shall be addressed to the authorized representative, Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Germany. For any service or guarantee matters, please refer to the addresses provided in the separate service or guarantee documents.

This apparatus shall not be used in the residential area.



For the customers in Europe

Hereby, Sony Corporation, declares that ODS-L10 is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of the Directive 1999/5/EC. For details, please access the following URL: <http://www.compliance.sony.de/>

Voor de klanten in Europa

Hierbij verklaart Sony Corporation dat het toestel ODS-L10 in overeenstemming is met de essentiële eisen en de andere relevante bepalingen van richtlijn 1999/5/EG. Nadere informatie kunt u vinden op: <http://www.compliance.sony.de/>

För kunder i Europa

Härmed intygar Sony Corporation att denna ODS-L10 står i överensstämmelse med de väsentliga egenskapskrav och övriga relevanta bestämmelser som framgår av direktiv 1999/5/EG.

För ytterligare information gå in på följande hemsida: <http://www.compliance.sony.de/>

Para clientes na Europa

Sony Corporation declara que este ODS-L10 está conforme com os requisitos essenciais e outras disposições da Directiva 1999/5/CE.

Para mais informacoes, por favor consulte a seguinte URL: <http://www.compliance.sony.de/>

Til europæiske kunder

Undertegnede Sony Corporation erklærer herved, at følgende udstyr ODS-L10 overholder de væsentlige krav og øvrige relevante krav i direktiv 1999/5/EF. For yderligere information gå ind på følgende hjemmeside: <http://www.compliance.sony.de/>

Asiakkaille Euroopassa

Sony Corporation vakuuttaa täten että ODS-L10 tyyppinen laite on direktiivin 1999/5/EY oleellisten vaatimusten ja sitä koskevien direktiivin muiden ehtojen mukainen.

Halutessasi lisätietoja, käy osoitteessa: <http://www.compliance.sony.de/>

For kunder i Europa

Sony Corporation erklærer herved at utstyret ODS-L10 er i samsvar med de grunnleggende krav og øvrige relevante krav i direktiv 1999/5/EF.

For flere detaljer, vennligst se: <http://www.compliance.sony.de/>

Για τους πελάτες που διαμένουν σε χώρες της Ευρώπης

Με την παρούσα η Sony Corporation δηλώνει ότι ODS-L10 συμμορφώνεται προς της ουσιαστικές απαιτήσεις και τις λοιπές σχετικές διατάξεις της οδηγίας 1999/5/EK.

Για λεπτομέρειες παρακαλούμε όπως ελέγξετε την ακόλουθη σελίδα του διαδικτύου: <http://www.compliance.sony.de/>

За клиентите в Европа

С настоящето Сони Корпорация декларира, че този ODS-L10 отговаря на основните изисквания и другите съответстващи клаузи на Директива 1999/5/EC.

Подробности може да намерите на Интернет страницата : <http://www.compliance.sony.de/>

Pro zákazníky v Evropě

Sony Corporation tímto prohlašuje, že tento ODS-L10 je ve shodě se základními požadavky a dalšími příslušnými ustanoveními směrnice 1999/5/ES. Podrobnosti lze získat na následující URL: <http://www.compliance.sony.de/>

Klientidele Euroopas

Sony Corporation kinnitab käesolevaga seadme ODS-L10 vastavust 1999/5/EÜ direktiivi põhinõuetele ja nimetatud direktiivist tulenevatele teistele asjakohastele sätetele. Üksikasjalikum info: <http://www.compliance.sony.de/>

Európai ügyfeleinknek

Alulírott, Sony Corporation nyilatkozom, hogy a(z) ODS-L10 megfelel a vonatkozó alapvető követelményeknek és az 1999/5/EC irányelv egyéb előírásainak.

További információkat a következő weboldalon találhat: <http://www.compliance.sony.de/>

Klientiem Eiropā

Ar šo Sony Corporation deklarē, ka ODS-L10 atbilst Direktīvas 1999/5/EK būtiskajām prasībām un citiem ar to saistītajiem noteikumiem.

Plašāka informācija ir pieejama:

<http://www.compliance.sony.de/>

Europos klientams

Šiuo Sony Corporation deklaruoją, kad šis ODS-L10 atitinka esminius reikalavimus ir kitas 1999/5/EB Direktyvos nuostatas.

Susipažinti su visu atitikties deklaracijos turiniu Jūs galite interneto tinklalapyje: <http://www.compliance.sony.de/>

Dla klientów w Europie

Niniejszym Sony Corporation oświadcza, że ODS-L10 jest zgodne z zasadniczymi wymaganiami oraz innymi stosownymi postanowieniami Dyrektywy 1999/5/WE. Szczegółowe informacje znaleźć można pod następującym adresem URL:

<http://www.compliance.sony.de/>

Pentru clienții din Europa

Prin prezenta, Sony Corporation declară că acest ODS-L10 respectă cerințele esențiale și este în conformitate cu prevederile Directivei 1995/5/EC. Pentru detalii, vă rugăm accesați următoarea adresă: <http://www.compliance.sony.de/>

Pre zákazníků v Evropě

Sony Corporation tímto vyhlasuje, že ODS-L10 splňuje základné požiadavky a všetky príslušné ustanovenia Smernice 1999/5/ES.

Podrobnosti získate na nasledovnej webovej adrese: <http://www.compliance.sony.de/>

Za stranke v Evropi

Sony Corporation izjavlja, da je ta ODS-L10 v skladu z bistvenimi zahtevami in ostalimi relevantnimi določili direktive 1999/5/ES.

Za podrobnosti vas naprošamo, če pogledate na URL: <http://www.compliance.sony.de/>

For the State of California, USA only

Perchlorate Material - special handling may apply, See www.dtsc.ca.gov/hazardouswaste/perchlorate
Perchlorate Material : Lithium battery contains perchlorate.

For the customers in Taiwan only



廢電池請回收

Інформація для споживачів в Україні.

Обладнання відповідає вимогам:

– Технічного регламенту обмеження використання деяких небезпечних речовин в електричному та електронному обладнанні (постанова КМУ від 03/12/2008 № 1057).

Türkiye'deki müşteriler için

AEEE Yönetmeliğine Uygundur

For the customers in the U.S.A.

SONY LIMITED WARRANTY - Please visit <http://www.sony.com/psa/warranty> for important information and complete terms and conditions of Sony's limited warranty applicable to this product.

For the customers in Canada

SONY LIMITED WARRANTY - Please visit <http://www.sonybiz.ca/solutions/Support.do> for important information and complete terms and conditions of Sony's limited warranty applicable to this product.

For the customers in Europe

Sony Professional Solutions Europe - Standard Warranty and Exceptions on Standard Warranty. Please visit <http://www.pro.sony.eu/warranty> for important information and complete terms and conditions.

For the customers in Korea

SONY LIMITED WARRANTY - Please visit <http://bpeng.sony.co.kr/handler/BPAS-Start> for important information and complete terms and conditions of Sony's limited warranty applicable to this product.

Table of Contents

Overview.....	25
System Configuration Example	25
Name and Function of Parts	26
Front Panel	26
I/E Tray	27
Rear Panel	28
Starting and Stopping	29
Starting	29
Stopping	29
Inserting and Removing Cartridges.....	29
Opening the I/E Tray.....	29
Inserting and Removing a Cartridge	29
Registering in the Database.....	30
Removing a Cartridge in an Emergency	30
Configuring the Network.....	31
Setting the IP Address	31
Displaying the Web Screen.....	31
Menu Operation	32
Basic Menu Operation.....	32
Menu List	33
Messages	34
Important Notes on Operation.....	36
Condensation.....	36
Precautions for products with built-in HDD	36
Trademarks and Licenses	37
Open software licenses.....	37
Obtaining GPL/LGPL/GPL V3 licensed software.....	37
Specifications	38

Overview

The ODS-L10 Optical Disc Archive 10Slot Library is a library apparatus that can be equipped with up to two optional drive units (such as the ODS-D55U or ODS-D77U) and up to 10 Optical Disc Archive Cartridges. It provides an efficient means to read and write data from and to multiple Optical Disc Archive Cartridges, ensuring efficiency in archiving material data and retrieving archived material data (by uploading data to a server). The ODS-L10 is equipped with HDDs in a RAID 1¹⁾ (mirroring) configuration, and installation of an optional XDBK-101 Power Supply provides it with redundant

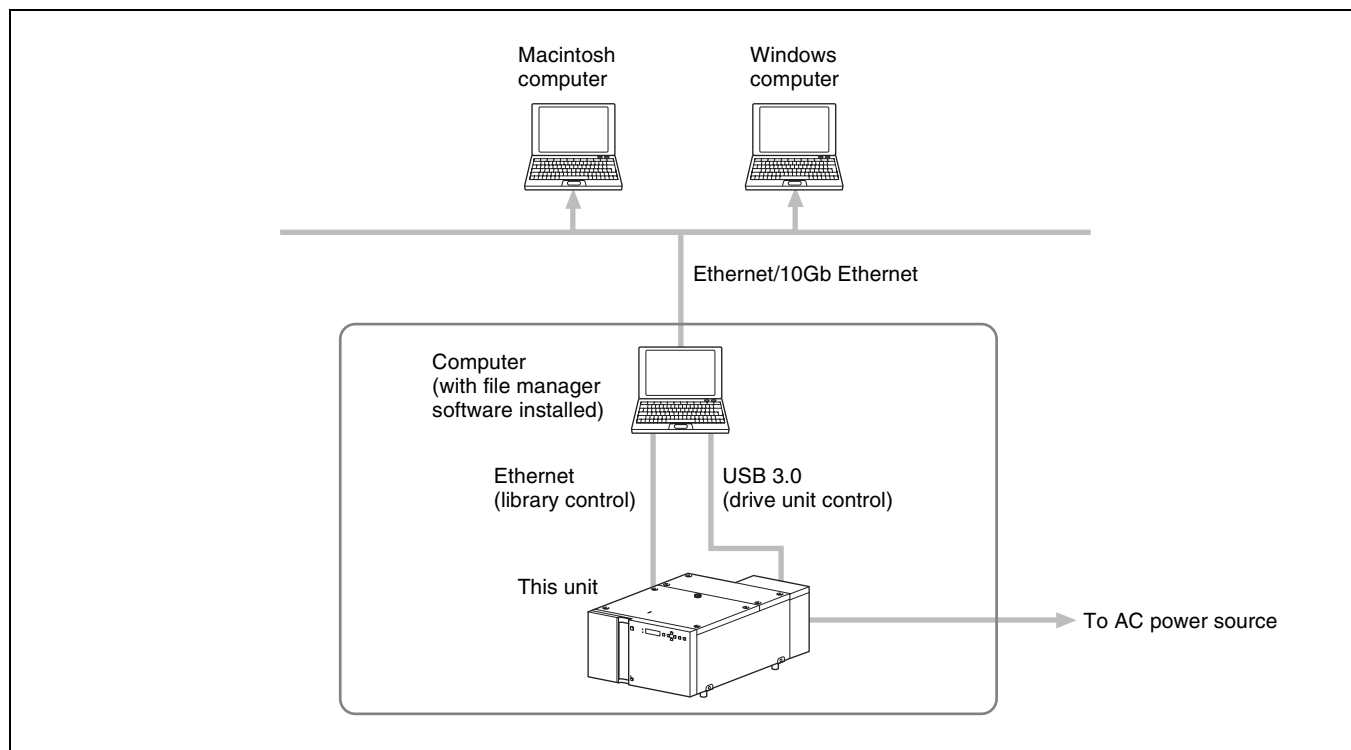
power supply functionality. Because continuous operation is ensured even if one of the HDDs or the power supplies fails, the ODS-L10 is most useful for systems that require high reliability.

1) RAID 1 (Redundant Arrays of Inexpensive Disks 1): An exact copy of a set of data is written to two disks to increase reliability.

In this manual, the ODS-L10 when equipped with a drive unit is called “this unit,” and an Optical Disc Archive Cartridge is called a “cartridge.”

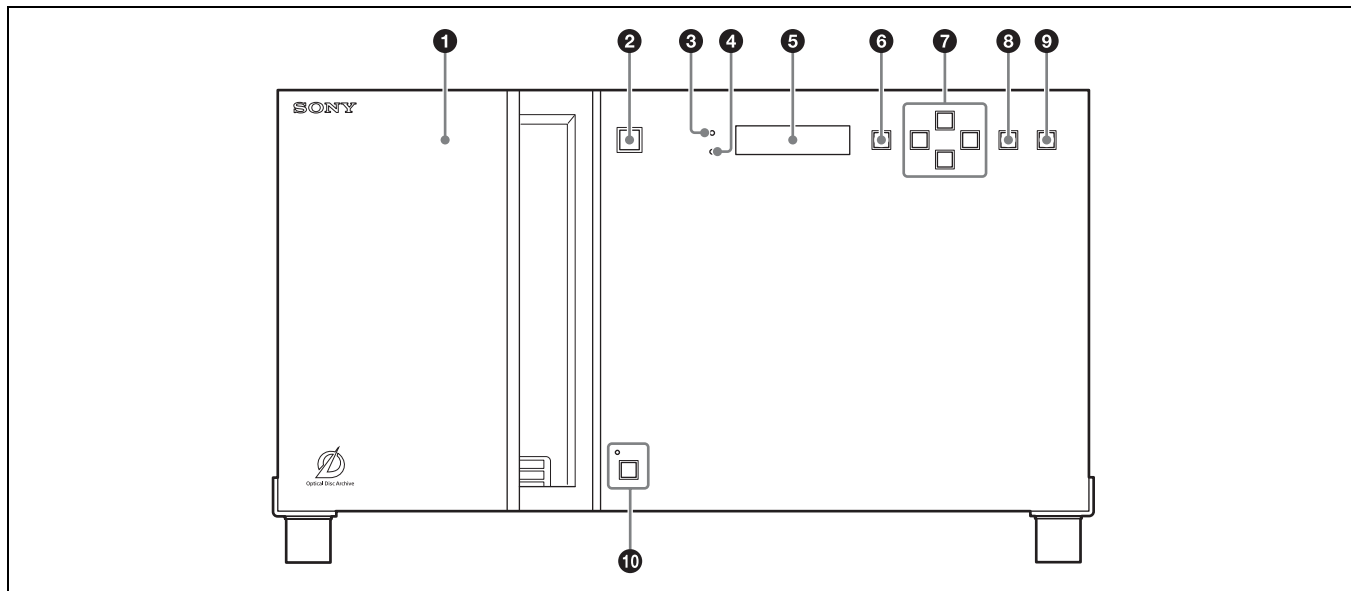
System Configuration Example

The following types of systems can be constructed using the library in combination with related equipment.



Name and Function of Parts

Front Panel



❶ I/E tray door

❷ RELEASE button

Releases the I/E tray lock. Pressing the button stops any internal processes in progress and releases the lock. The button indicator is lit when the lock is released, and is off when the I/E tray is locked.

The tray is automatically locked if the I/E tray is not opened within 10 seconds after releasing the lock.

❸ ALARM indicator

Flashes when an error or warning occurs.

Flashing red: Error

Flashing orange: Warning

❹ ACCESS indicator

Lights up when the library is accessing the internal HDD.

❺ Display

Displays the library status, settings menus, and messages.

Under normal conditions, the library ID is shown on the top line and the number of cartridges inserted in slots in I/E trays A and B are shown on the bottom line.

```
ID:****  
TRAY A:5 B:3
```

❻ MENU button

Displays the menu on the display.

❼ Arrow buttons

Scrolls the menu on the display and sets input values.

❽ ENTER button

Switches to the next page or confirms input values when performing menu operations.

❾ ESC button

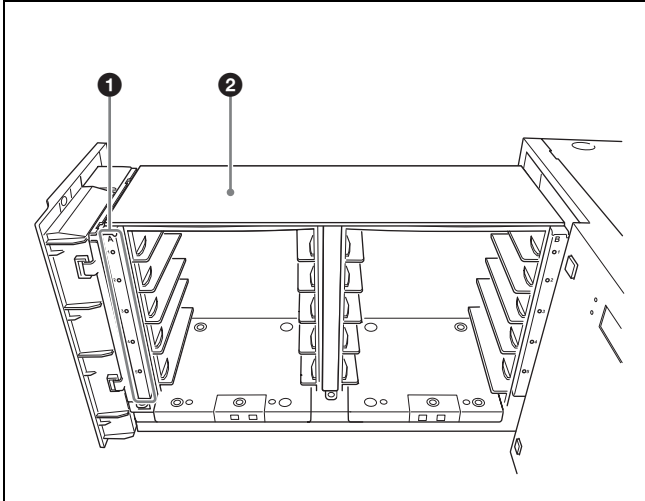
On menu screens, switches to the previous page.

❿ On/Standby button and indicator

Switches the library between On and Standby, if the main power switch on the rear panel is turned On. Press and hold for two seconds or longer when switching to Standby.

The indicator lights up in green when On, and in red when in Standby. It flashes green when shutting down.

I/E Tray



❶ LEDs

These LEDs indicate the status of the slots (1 to 5 from top to bottom) in I/E trays A and B. You can make settings in a web screen to make these LEDs turn on or flash to enable easy identification of the status of the corresponding slots.

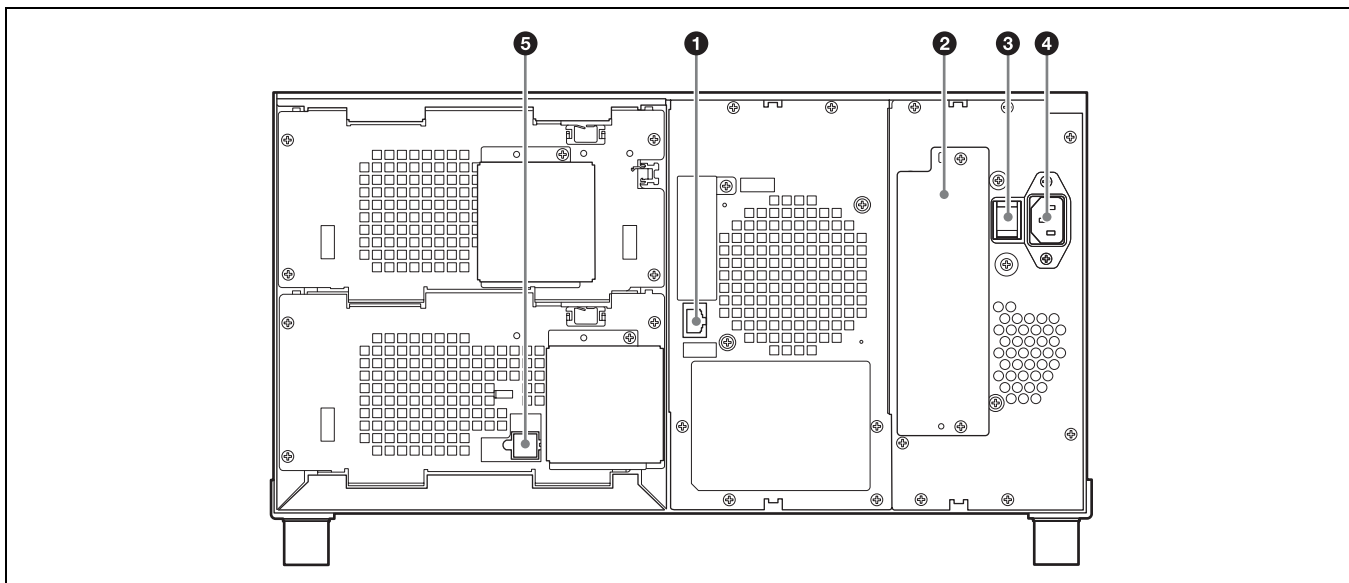
❷ I/E tray A and I/E tray B

Both I/E tray A and I/E tray B can store up to 5 cartridges. The slots of each I/E tray are numbered 1 to 5 from top to bottom.

Rear Panel

The following figure shows the ODS-L10 when an ODS-D55U optional drive unit is installed in the lower slot. The appearance of the rear panel of the drive unit is

different when an ODS-D77U optional drive unit is installed. For details, refer to the Installation Manual.



① (Network) connector

Connect a network cable to enable this unit to be operated from a web screen using file manager software installed in a computer.

CAUTION

- For safety, do not connect the connector for peripheral device wiring that might have excessive voltage to this port. Follow the instructions for this port.
- When you connect the network cable of the unit to peripheral device, use a shielded-type cable to prevent malfunction due to radiation noise.

② Redundant power supply unit slot

An optional XDBK-101 power supply can be installed to provide redundant power supply functionality. This provides continuous operation in the event the main power supply unit fails in systems that require a high degree of reliability.

For details about adding or exchanging a power supply, consult your local Sony representative.

③ Main power switch

Turns the main power supply On/Off. During normal operation, the switch is left in the On position, and the library is switched between operating state and standby state using the On/Standby button on the front panel.

Note

Always switch to standby state using the On/Standby button on the front panel before turning Off the main power switch.

④ AC IN connector

Connects to a power supply outlet using the power supply cord.

⑤ USB connector (SuperSpeed USB (USB 3.0))

Connects the drive unit (optional) installed in this unit to a computer using a USB cable.

Starting and Stopping

Note

Always close the I/E tray when starting and stopping the library. The library cannot be started or stopped while the I/E tray is in the open position.

Starting

- 1 Check that the power supply cord is connected, then turn on the main power switch on the rear panel of the library.

- 2 Press the On/Standby switch on the front panel.

When the button is pressed, the On/Standby button indicator is lit green.

Initialization ends and the library is ready for use when the text on the library display stops flashing.

Stopping

- 1 Press the On/Standby switch for two seconds or longer.
- 2 A shutdown confirmation message appears on the display. Use the arrow buttons to select [Y], then press the [ENTER] button.
- 3 Wait until the On/Standby button indicator changes from flashing green to lit in red, then turn off the main power switch on the rear panel.

Inserting and Removing Cartridges

Opening the I/E Tray

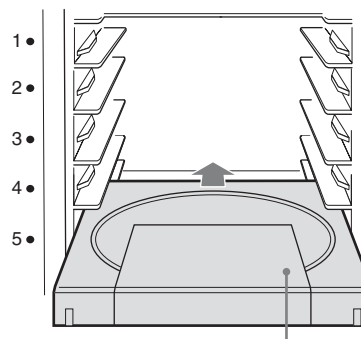
Press the RELEASE button on the front panel to release the I/E tray lock. When the RELEASE button is pressed, the button indicator flashes and the unlocking process starts. When the lock is released, the button indicator is lit solid.

Note

Wait until the button indicator is lit solid, then open the I/E tray.

Inserting and Removing a Cartridge

Insert a cartridge into a slot, and push the cartridge in all the way until it stops.



Label attachment point facing up

When removing a cartridge, pull the cartridge out while keeping it horizontal.

Closing the I/E tray

Slowly push the I/E tray all the way in to the library, and check that the RELEASE button light goes Off.

Notes

- The I/E tray is not completely closed if the RELEASE button light is On.
- Warning tone sounds if the I/E tray is left open for three minutes or longer.

Registering in the Database

After inserting a cartridge and closing the I/E tray, information about each cartridge is automatically registered in the library database. The database registration may take some time to complete if inserting multiple cartridges.

Once the cartridges have been registered in the database, they can be accessed for operations from the upper-level application.

Removing a Cartridge in an Emergency

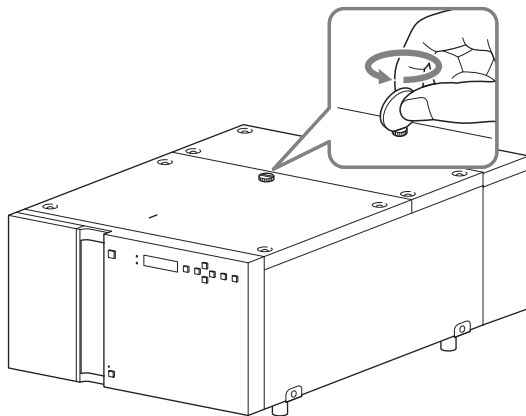
Use the following procedure to remove a cartridge when the library power supply is off.

- 1 Check that the power supply is turned off.

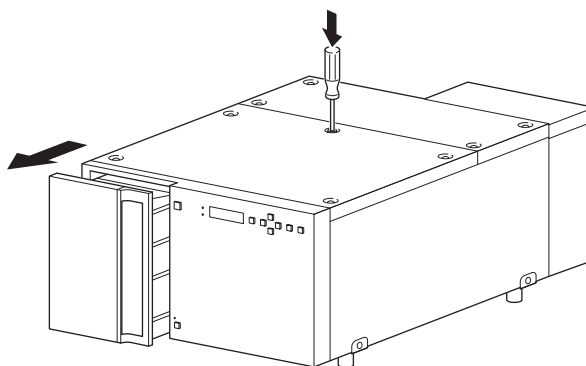
Note

If the following procedure is performed with the power supply turned on, the cartridge transport mechanism may be damaged.

- 2 Remove the screw from the top panel of the library using a coin or similar object.



- 3 Insert a screwdriver or other thin object in the screw hole, push down on the release lever, and pull the I/E tray out.



- 4 Remove the cartridge.
- 5 Reattach the screw that you removed in the top panel.

Configuring the Network

To enable this unit to be operated using file manager software, connect this unit to a computer in which file manager software is installed via a network cable. After connecting to the network, set the IP address of the library.

Setting the IP Address

The IP address, subnet mask, and default gateway settings are required. The following values are the factory default values.

IP address: 192.168.1.10
Subnet mask: 255.255.255.0
Default gateway: 0.0.0.0

You use the display and the buttons on the front panel of the library to set the network settings.

- 1 Press the MENU button.

The display changes to a menu display.

IP SETTING

- 2 Scroll using the $\uparrow\downarrow$ buttons to select IP SETTING, then press the ENTER button.

The IP ADDRESS screen appears.

IP ADDRESS
192.168.001.010

- 3 Press the ENTER button.

The first digit in the IP address starts flashing to indicate the address is in edit mode.

IP ADDRESS
192.168.001.010

- 4 Enter the IP address.

Move between digits using the $\leftarrow\rightarrow$ buttons, and change the value using the $\uparrow\downarrow$ buttons.

- 5 When finished, press the ENTER button.

Check the entered address.

IP ADDRESS
192.168.001.010

- 6 Display the SUBNET MASK screen using the $\uparrow\downarrow$ buttons, then press the ENTER button.

SUBNET MASK
255.255.255.000

- 7 Enter the subnet mask in the same way as the IP address, and press the ENTER button when finished.

- 8 Display the DEFAULT GATEWAY screen using the $\uparrow\downarrow$ buttons, then press the ENTER button.

DEFAULT GATEWAY
000.000.000.000

- 9 Enter the default gateway, then press the ENTER button when finished.

- 10 Press the MENU button or the ESC button twice to exit the menu.

The updated IP address takes affect when the library is rebooted.

You can change the IP address using the web screen.

For details about using the web screen to make changes, refer to the Help for the ODS-L10 Software.

Displaying the Web Screen

A web screen can be used to perform setting operations for this unit.

Recommended operating environment

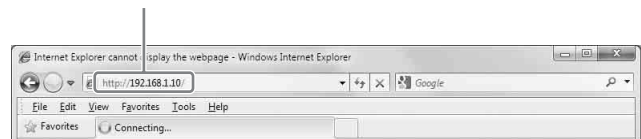
Web browser: Microsoft Internet Explorer 8 (Windows), Safari 5.1 (Mac OS)
Monitor size: 1,280 pixels or wider

Note

If using Internet Explorer 8, set the display mode to “IE8 Standard Mode.”

To display the web screen, enter the URL `http://(ip_address)/` into a web browser.

Example: `http://192.168.1.10/`



The web browser opens a connection to the library and a confirmation screen appears. Enter the following user name and password.

User: admin, Password: ods-110

After authentication, the Setup Menu screen appears.

For details about web screen operation, refer to the Help for the ODS-L10 Software.

Notes

- Consult your network administrator about the required network settings.
PCs may not connect to the library on a network, depending on the browser proxy server settings.
- Only one web client can be connected to the library at any one time.
- The web screen supports up to three simultaneous connections (http sessions). If two or more sessions are open at the same time, an error occurs if the recording operations conflict with one another. In such cases, the operation should be issued a second time.

Menu Operation

You set basic settings of the library and display the library status using the menu displayed on the front panel of the library. Use the buttons on the front panel to operate the menu.

Basic Menu Operation

This section describes the basic menu operation, using the warning tone setting as an example.

- 1 Press the MENU button.

The display changes to a menu display.



IP SETTING

- 2 Scroll the menu items using the $\uparrow\downarrow$ buttons, then press the ENTER button.

The current state for the selected item is displayed.



BUZZER
ON

- 3 Press the ENTER button.

The cursor starts blinking and the display changes to edit mode.



BUZZER
[ON]

- 4 Press the $\leftarrow\rightarrow\uparrow\downarrow$ buttons to change the setting.



BUZZER
[OFF]

- 5 Press the ENTER button to confirm the setting.

The blinking cursor disappears, and the setting is confirmed.



BUZZER
OFF

- 6 Press the MENU button or the ESC button to return to the menu item select screen.

- 7 Press the MENU button again to exit the menu.

Menu List

Menu	Description
IP SETTING	Configures the network settings. <i>For details, see "Setting the IP Address" (page 31).</i> IP ADDRESS: Sets the IP address. SUBNET MASK: Sets the subnet mask. DEFAULT GATEWAY: Sets the default gateway.
BUZZER	Turns the warning tone on/off.
LCD LIGHT	Selects whether the display backlight is always on or whether it turns off automatically when there is no current operation in progress. When set to OFF, the backlight turns off automatically if no button, other than the RELEASE button, is pressed for a certain period of time. If the backlight turns off automatically, the backlight will turn on again when any button, other than the RELEASE button, is pressed. Recommendation: OFF
SILENT MODE	Turns silent mode running on/off.
SERIAL NUMBER	Displays the serial number of the library or the mounted drive units. SERIAL NUMBER: Displays the serial number of the library.
VERSION	SOFTWARE VERSION: Displays the version number of the library software.
ERROR STATUS	Displays an error code or message when an error/warning occurs in the library. Scroll the screen using the $\uparrow\downarrow$ buttons. <i>For details about resolving error messages, see "Messages" (page 34).</i> If an "xx-xxx" format error code appears, consult your local Sony representative.
HDD FORMAT	Formats the library's built-in HDDs. Select Yes and press the ENTER button to start formatting.
SHUTDOWN	Shuts down the library. If an operation is in progress, a prompt is displayed for the operation. Select Yes and press the ENTER button to shut down.
ACCOUNT RESET	Resets the account settings to their factory defaults (User: admin, Password: ods-l10). Select Yes and press the ENTER button to reset the account.

Messages

The alarm indicator on the front panel of the library flashes red (error) or orange (warning) if there is a problem with the library hardware or configuration settings. Selecting ERROR STATUS from the menu will display the error code (Error xx-xxx) or warning message.

Error codes are displayed predominantly for errors due to hardware problems. If an error code is displayed, consult your local Sony representative.

If a message appears, refer to the following error description to resolve the issue. If the message display persists, consult your local Sony representative.

Message	Description
FAN1 Warning	The speed of the fan has dropped. The library continues to operate, however extended use will cause the temperature inside the library and the drives to increase, risking failure or even fire. Consult your local Sony representative.
FAN2 Warning	
FAN1 Error	The fan is not turning. The library continues to operate, however extended use will cause the temperature inside the library and the drives to increase, risking failure or even fire. Consult your local Sony representative.
FAN2 Error	
High TEMP!	The temperature inside the library is too high. The library continues to operate, however extended use will cause the temperature inside the library and the drives to increase even further, risking failure or even fire. Consult your local Sony representative.
Low TEMP!	The temperature inside the library is too low. The library continues to operate, however the HDD performance has deteriorated and may experience difficulty reading and writing.
PowerUnit(A) Err	An error was detected in the power supply unit. Consult your local Sony representative.
PowerUnit(B) Err	
DC Power Warning	A DC voltage error occurred in the library. The library continues to operate, however extended use will cause the temperature inside the library and the drives to increase, risking failure or even fire. Consult your local Sony representative.
ILL. SETUP!	An error occurred when setting a value in the setup menu. Reconfigure the setup item. If the same error persists, consult your local Sony representative.
JM Com Error	Reboot the library. If the same error persists, consult your local Sony representative.
CC Com Error	
SV Com Error	
HDD1 Warning	An HDD read/write error has occurred repeatedly. The HDD must be replaced. Consult your local Sony representative.
HDD2 Warning	
HDD1 Fail	An HDD error occurred, and the drive cannot be accessed. The HDD must be replaced. Consult your local Sony representative.
HDD2 Fail	
Rebuilding xx%	A data rebuild is in progress. Do not turn off the power until after the rebuild finishes.
Update Err!	The software update was not successful. Reinstall the update. If the same error persists, consult your local Sony representative.
Turn off/on PWR!	Restart the library to activate the changed settings.
DIPSW Error	Could not read the DIP switch setting. Reboot the library. If the same error persists, consult your local Sony representative.
RCX Pos Error	Reboot the library. If the same error persists, consult your local Sony representative.
RCY Pos Error	
RCZ Pos Error	
PSU detect	A redundant power supply unit is installed. Check the settings in the Setup Menu screen.

Message	Description
Unknown USB	An unsupported USB device was detected.
LCD Com Error	Cannot communicate with the LCD panel.
Door is Opening	The I/E tray door is open.
NO SYSINFO	The system configuration file cannot be found. Reconfigure the serial number using the Setup Menu screen.
NO ODS CONF	The library configuration file cannot be found. Reconfigure the library using the Setup Menu screen.
NO NETWORK CFG	The network configuration file cannot be found. Reconfigure the network settings.
Exchg batt!	Time to replace the battery. Contact your Sony service or sales representative.

Important Notes on Operation

Use and storage

Do not subject the unit to severe shocks

The internal mechanism may be damaged or the body warped. Shocks may also damage the internal storage.

Do not cover the unit while operating

Doing so will cause temperatures to rise inside the unit, possibly resulting in failure.

After use

Turn off the on/standby button.

If you plan not to use the unit for a long time, turn off the main power switch on the rear panel as well.

Shipping

- To prevent damage to the internal storage, always power the unit off.
- If sending the unit by truck, ship, air or other transportation service, pack it in the shipping carton of the unit.
- If the unit is shipped without being properly packed and protected. Its Internal parts may be damaged. Referring to the supplied Installation Manual, be sure to mount the screws and fittings to ensure safe transportation.
- If the unit is transported with the drive unit not removed, the unit and the drive unit may be damaged during transportation. Be sure to remove the drive unit from this unit before proceeding to transportation.

Care of the unit

If the body of the unit is dirty, clean it with a soft, dry cloth. In extreme cases, use a cloth steeped in a little neutral detergent, then wipe dry. Do not use organic solvents such as alcohol or thinners, as these may cause discoloration or other damage to the finish of the unit.

In the event of operating problems

If you should experience problems with the unit, contact your Sony service or sales representative.

Use and storage locations

Store in a level, ventilated place. Avoid using or storing the unit in the following places.

- In excessive heat or cold (operating temperature range: 5 °C to 35 °C (41 °F to 95 °F))
Remember that in summer or in warm climates the temperature inside a car with the windows closed can easily exceed 50 °C (122 °F).
- In damp or dusty locations
- Locations where the unit may be exposed to rain

- Locations subject to violent vibration
- Near strong magnetic fields
- Close to radio or TV transmitters producing strong electromagnetic fields.
- In direct sunlight or close to heaters for extended periods

To prevent electromagnetic interference from portable communications devices

The use of portable telephones and other communications devices near this unit can result in malfunctions.

It is recommended that the portable communications devices near this unit be powered off.

Condensation

If you move the unit from a very cold place to a warm place, or use it in a damp location, condensation may form on the optical pickup.

Then, if the unit is operated in this state, recording and playback may not be performed properly.

When you move or operate the unit in an environment where condensation may form, be sure to insert a cartridge in advance.

Precautions for products with built-in HDD

This unit has built-in hard disk drives (HDD). A HDD is a precision device. If subject to shock, vibration, static electricity, high temperature or humidity, data corruption can occur. When installing and using the unit, closely observe the following precautions.

Protect from shocks and vibrations

When subject to shocks or vibrations, the HDD can be damaged and corruption of data on the HDD can occur.

- When transporting the unit, use the specified packing material. When transporting on a dolly or similar, use a type which does not transmit excessive vibrations. Excessive shocks and vibrations can damage the HDD.
- Never move the unit while it is powered.
- Protect all HDD-equipped devices in the rack from shocks.
- Before removing or inserting the unit in a rack, make sure that power to any other HDD-equipped devices in the rack is also switched OFF.
- Place the unit on a level and stable location.
- Do not place the unit near other devices that may become a source of vibrations.

Do not expose to static electricity

Remove any plastic items that can produce static electricity (bubble wrap, etc.) from the work area. Also,

when handling the HDD, make sure to wear a grounded antistatic strap.

Wait for 30 seconds after turning the power off

For a brief interval after the power is turned off, the platters inside the HDD will still keep spinning and the heads will be in an insecure position. During this interval, the unit is more susceptible to shocks and vibrations than during normal operation. For a period of at least 30 seconds after turning the power off, avoid subjecting the unit even to very light shocks. After this period, the hard disk will be fully stopped and the unit can be manipulated.

Temperature and humidity related precautions

Use and store the unit only in locations where the specified temperature and humidity ranges are not exceeded. Also, do not power the unit on while its outer case is removed.

Temperature range for operation: 5 °C to 35 °C (41 °F to 95 °F)

Humidity range for operation: 20% to 90% relative humidity (no condensation)

Temperature range for storage: -20 °C to +60 °C (-4 °F to +140 °F)

When HDD seems to be faulty

Even if the HDD is showing signs of malfunction, be sure to observe all the above precautions. This will prevent further damage from occurring until the problem can be diagnosed and corrected.

HDD replacement

Contact your Sony service or sales representative about periodic replacement of the HDD.

Trademarks and Licenses

Open software licenses

On the basis of license contracts between Sony and the software copyright holders, this product uses open software.

To meet the requirements of the software copyright holders, Sony is obligated to inform you of the content of these licenses.

For the content of these licenses, see “*Open Source Software License List*” in the *software Help*.

Obtaining GPL/LGPL/GPL V3 licensed software

This product uses software licensed under GPL version 2 / LGPL version 2.1 / GPL version 3. You have the right to obtain, change, and distribute the source code of this software.

You can download the source code of this software from Sony Internet servers. For more information about how to download it, access the following URL.

<http://oss.sony.net/Products/Linux/common/search.html>

We cannot respond to inquiries regarding the content of the source code.

Specifications

General

Power supply	100 V to 240 V AC, 50 Hz/60 Hz
Power consumption	170 W
Operating temperature	5 °C to 35 °C (41 °F to 95 °F)
Storage temperature	–20 °C to +60 °C (–4 °F to 140 °F)
Operating humidity	20% to 90% (relative humidity)
Storage humidity	Less than 75%
Weight	27 kg (59 lb 8.4 oz) (not including drive units and cartridges)
Dimensions (W × H × D)	424 × 220 × 830 mm (16 ³ / ₄ × 8 ³ / ₄ × 32 ³ / ₄ inches) (excluding protrusions)

Input/output

⏏ (Network)	RJ-45 type modular jack (1)
	1000BASE-T: IEEE 802.3ab standard
	100BASE-Tx: IEEE 802.3u standard

Internal storage

Hard disc drive	500 GB HDD (2), (mirror configuration (RAID 1))
-----------------	---

Accessories

Installation manual (1)
Operation manual (1)
Serial number sheet for file manager (1)

Options

XDBK-101 Power Supply
Optical Disc Archive Cartridge
• ODC300R (300 GB, write-once type)
• ODC300RE (300 GB, rewritable type)
• ODC600R (600 GB, write-once type)
• ODC600RE (600 GB, rewritable type)
• ODC1200RE (1.2 TB, rewritable type)
• ODC1500R (1.5 TB, write-once type)
ODS-D55U Optical Disc Archive Drive Unit
ODS-D77U Optical Disc Archive Drive Unit

Design and specifications are subject to change without notice.

Notes

- Always make a test recording, and verify that it was recorded successfully.
SONY WILL NOT BE LIABLE FOR DAMAGES OF ANY KIND INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, COMPENSATION OR REIMBURSEMENT ON ACCOUNT OF FAILURE OF THIS UNIT OR ITS RECORDING MEDIA, EXTERNAL STORAGE SYSTEMS OR ANY OTHER MEDIA OR STORAGE SYSTEMS TO RECORD CONTENT OF ANY TYPE.
- Always verify that the unit is operating properly before use. SONY WILL NOT BE LIABLE FOR DAMAGES OF ANY KIND INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, COMPENSATION OR REIMBURSEMENT ON ACCOUNT OF THE LOSS OF PRESENT OR PROSPECTIVE PROFITS DUE TO FAILURE OF THIS UNIT, EITHER DURING THE WARRANTY PERIOD OR AFTER EXPIRATION OF THE WARRANTY, OR FOR ANY OTHER REASON WHATSOEVER.

Notes on Software

When the unit is used with a PC connection, download file manager software from the Sony Professional products web site.

In order to use file manager software, authentication by entering the serial number supplied with the unit is required. For details about authentication, refer to the Installation Guide for the file manager software.

Sony Professional products website:

U.S.A.	http://pro.sony.com
Canada	http://www.sonybiz.ca
Latin America	http://sonypro-latin.com
Europe	http://www.pro.sony.eu/pro
Middle East, Africa	http://sony-psmea.com
Russia	http://sony.ru/pro/
Brazil	http://sonypro.com.br
Australia	http://pro.sony.com.au
New Zealand	http://pro.sony.co.nz
Japan	http://www.sonybsc.com
Asia Pacific	http://pro.sony-asia.com
Korea	http://bp.sony.co.kr
China	http://pro.sony.com.cn
India	http://pro.sony.co.in

Sony Creative Software, software download page:
http://www.sonycreativesoftware.com/download/software_for_sony_equipment

Avant d'utiliser l'appareil, veuillez lire attentivement ce manuel et le conserver pour future référence.

AVERTISSEMENT

Afin de réduire les risques d'incendie ou d'électrocution, ne pas exposer cet appareil à la pluie ou à l'humidité.

Afin d'écartier tout risque d'électrocution, garder le coffret fermé. Ne confier l'entretien de l'appareil qu'à un personnel qualifié.

CET APPAREIL DOIT ÊTRE RELIÉ À LA TERRE.

AVERTISSEMENT

1. Utilisez un cordon d'alimentation (câble secteur à 3 fils)/fiche femelle/fiche mâle avec des contacts de mise à la terre conformes à la réglementation de sécurité locale applicable.
2. Utilisez un cordon d'alimentation (câble secteur à 3 fils)/fiche femelle/fiche mâle avec des caractéristiques nominales (tension, ampérage) appropriées.

Pour toute question sur l'utilisation du cordon d'alimentation/fiche femelle/fiche mâle ci-dessus, consultez un technicien du service après-vente qualifié.

Pour les clients au Canada

Cet appareil numérique de la classe A est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

Pour les clients en Europe, Australie et Nouvelle-Zélande**AVERTISSEMENT**

Il s'agit d'un produit de Classe A. Dans un environnement domestique, cet appareil peut provoquer des interférences radio, dans ce cas l'utilisateur peut être amené à prendre des mesures appropriées.

Pour les clients en Europe

Ce produit a été fabriqué par ou pour le compte de Sony Corporation, 1-7-1 Konan Minato-ku Tokyo, 108-0075 Japon. Toutes les questions relatives à la conformité des produits basées sur la législation européenne doivent être adressées à son représentant, Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Allemagne. Pour toute question relative au Service Après-Vente ou à la Garantie, merci de bien vouloir vous référer aux coordonnées qui vous sont communiquées dans les documents « Service (SAV) » ou Garantie.

Ne pas utiliser cet appareil dans une zone résidentielle.

**Pour les clients en Europe**

Par la présente Sony Corporation déclare que l'appareil ODS-L10 est conforme aux exigences essentielles et aux autres dispositions pertinentes de la directive 1999/5/CE. Pour toute information complémentaire, veuillez consulter l'URL suivante: <http://www.compliance.sony.de/>

Pour les clients au Canada

GARANTIE LIMITÉE DE SONY - Rendez-vous sur <http://www.sonybiz.ca/solutions/Support.do> pour obtenir les informations importantes et l'ensemble des termes et conditions de la garantie limitée de Sony applicable à ce produit.

Table des matières

Généralités	41
Exemple de configuration système	41
Nom et fonction des pièces	42
Panneau avant.....	42
Plateau I/E	43
Panneau arrière	44
Lancement et arrêt	45
Lancement	45
Arrêt	45
Insertion et retrait de cartouches.....	45
Ouverture du plateau I/E	45
Insertion et retrait d'une cartouche	45
Enregistrement dans la base de données	46
Retrait d'une cartouche en urgence	46
Configuration du réseau	47
Réglage de l'adresse IP	47
Affichage de l'écran web	47
Opération de menus.....	48
Opération de base des menus	48
Liste des menus	49
Messages	50
Remarques importantes relatives à l'utilisation.....	52
Condensation.....	52
Précautions concernant les produits avec disques durs intégrés.....	52
Marques commerciales et licences	54
Licences de logiciels libres	54
Obtention de logiciel sous licence GPL/LGPL/GPL V3	54
Spécifications	54

Généralités

La bibliothèque 10 fentes d'archive de disques optiques ODS-L10 est un appareil de bibliothèque qui peut être équipé de deux unités de lecture facultatives (comme l'ODS-D55U ou ODS-D77U) et de jusqu'à 10 cartouches d'archive de disques optiques. Il fournit des moyens efficaces pour lire et écrire des données à partir et vers plusieurs cartouches d'archive de disques optiques, en garantissant l'efficacité dans l'archive des données matérielles et la récupération des données matérielles archivées (en téléchargeant les données sur un serveur). L'ODS-L10 est équipé de disques durs dans une configuration RAID 1¹⁾ (mise en miroir), et l'installation d'une alimentation XDBK-101 facultative lui fournit une fonctionnalité d'alimentation redondante. Étant donné que

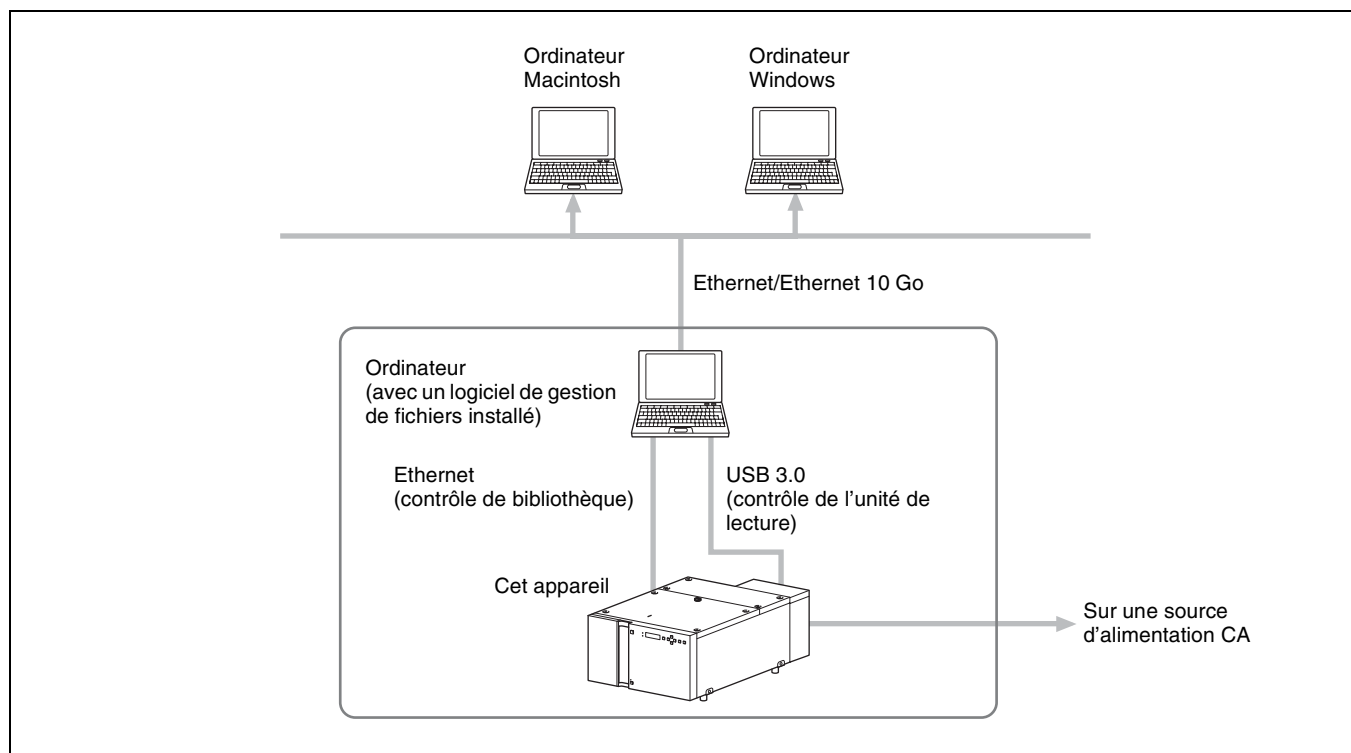
le fonctionnement continu est garanti même en cas d'échec de l'un des disques durs ou de l'une des alimentations, l'ODS-L10 est le plus efficace pour les systèmes qui nécessitent une fiabilité élevée.

1) RAID 1 (Redundant Arrays of Inexpensive Disks 1 - ensemble redondant de disques durs indépendants 1) : une copie exacte d'un ensemble de données est écrite sur au moins deux disques pour améliorer la fiabilité.

Dans ce manuel, l'ODS-L10, quand il est équipé d'une unité de lecture, est appelé « cet appareil » et une cartouche d'archive de disques optiques est appelée une « cartouche ».

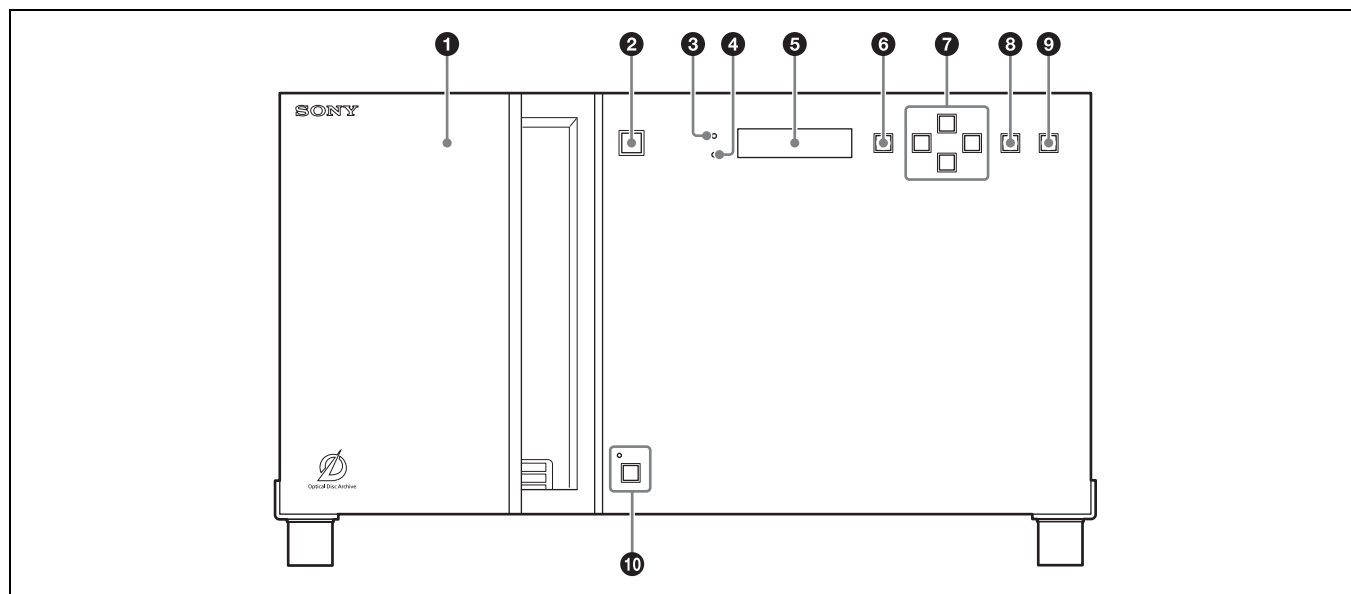
Exemple de configuration système

Les types de systèmes suivants peuvent être construits à l'aide d'une bibliothèque ainsi que de l'équipement lié.



Nom et fonction des pièces

Panneau avant



❶ Clapet de plateau I/E

❷ Bouton RELEASE

Relâche le verrou du plateau I/E. Une pression sur ce bouton arrête tout processus interne en cours et relâche le verrou.

Le voyant du bouton est allumé lorsque le verrou est relâché et est éteint lorsque le plateau I/E est verrouillé.

Le plateau est automatiquement verrouillé si le plateau I/E n'est pas ouvert dans les 10 secondes suivant le relâchement du verrou.

❸ Voyant ALARM

Clignote lorsqu'une erreur ou un avertissement se produit.

Clignote en rouge : Erreur

Clignote en orange : Avertissement

❹ Voyant ACCESS

S'allume lorsque la bibliothèque accède au disque dur interne.

❺ Affichage

Affiche l'état de la bibliothèque, les menus de réglages et les messages.

Dans des conditions normales, l'ID de la bibliothèque s'affiche sur la ligne supérieure et le nombre de cartouches insérées dans les fentes des plateaux I/E A et B s'affiche sur la ligne inférieure.

ID:****
TRAY A:5 B:3

❻ Bouton MENU

Affiche le menu sur l'écran.

❼ Boutons flèches

Fait défiler le menu sur l'écran et définit les valeurs d'entrée.

❽ Bouton ENTER

Passes à la page suivante ou confirme les valeurs d'entrée lors de l'exécution d'opérations de menu.

❾ Bouton ESC

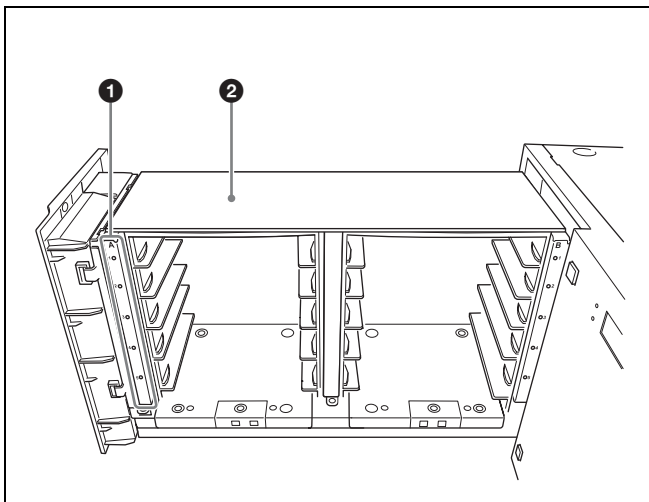
Sur les écrans de menu, revient à la page précédente.

❿ Bouton et voyant de mise sous tension/mise en veille

Met la bibliothèque sous tension et en veille, si l'interrupteur d'alimentation sur le panneau arrière est réglé sur On. Appuyez sur ce bouton et maintenez-le enfoncé deux secondes ou plus quand vous passez en veille.

Le voyant s'allume en vert lorsque la bibliothèque est sous tension et en rouge lorsqu'elle est en veille. Il clignote en vert pendant l'arrêt.

Plateau I/E



❶ LED

Ces LED indiquent l'état des fentes (1 à 5 du haut vers le bas) dans les plateaux I/E A et B. Vous pouvez procéder aux réglages dans un écran Web pour que ces LED s'allument ou clignotent pour permettre une identification facile de l'état des fentes correspondantes.

❷ Plateau I/E A et plateau I/E B

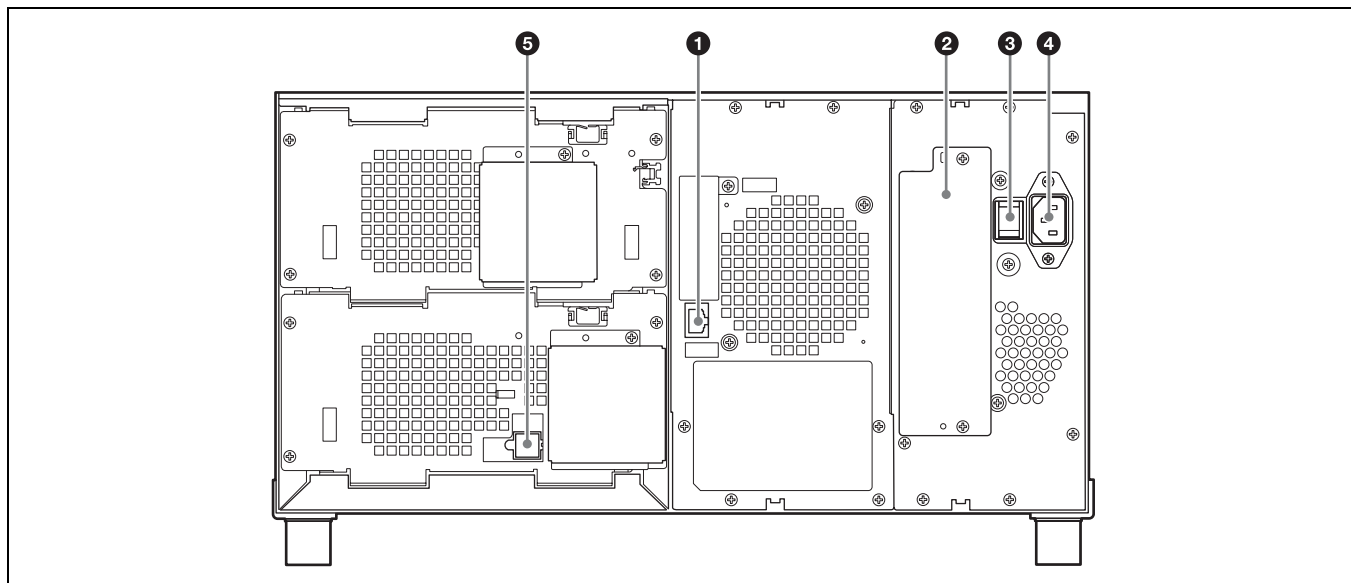
Le plateau I/E A et le plateau I/E B peut stocker jusqu'à 5 cartouches.

Les fentes de chaque plateau I/E sont numérotées de 1 à 5 de haut en bas.

Panneau arrière

La figure suivante montre l'ODS-L10 lorsqu'une unité de lecture facultative ODS-D55U est installée dans la fente du bas. L'apparence du panneau arrière de l'unité de lecture

est différente lorsqu'une unité de lecture facultative ODS-D77U est installée. Pour les détails, reportez-vous au manuel d'installation.



❶ Connecteur (réseau)

Connectez un câble réseau pour permettre à cet appareil d'être contrôlé à partir d'un écran web, grâce au logiciel de gestion de fichiers installé sur un ordinateur.

ATTENTION

- Par mesure de sécurité, ne raccordez pas le connecteur pour le câblage de périphériques pouvant avoir une tension excessive à ce port. Suivez les instructions pour ce port.
- Lors de la connexion du câble réseau de l'appareil au périphérique, utilisez un câble blindé afin d'empêcher tout dysfonctionnement dû au bruit de rayonnement.

❷ Fente d'unité d'alimentation redondante

Une alimentation XDBK-101 facultative peut être installée pour fournir une fonctionnalité d'alimentation redondante. Cela fournit un fonctionnement continu dans le cas où l'unité d'alimentation principale échoue dans les systèmes qui nécessitent une grande fiabilité.

Pour des détails sur l'ajout ou l'échange d'une alimentation, consultez votre représentant Sony le plus proche.

❸ Interrupteur d'alimentation

Met l'alimentation principale sous/hors tension. En fonctionnement normal, l'interrupteur est laissé en position On et la bibliothèque bascule entre l'état de fonctionnement et l'état de veille à l'aide du bouton de mise sous tension/mise en veille sur le panneau avant.

Remarque

Avant de couper l'alimentation principale, passez toujours en état de veille à l'aide du bouton de mise sous tension/mise en veille sur le panneau avant.

❹ Connecteur CA IN

Connecte à une alimentation secteur à l'aide du cordon d'alimentation.

❺ Connecteur USB (USB SuperSpeed (USB 3.0))

Connecte l'unité de lecture (facultative) installée dans cet appareil à un ordinateur grâce à un câble USB.

Lancement et arrêt

Remarque

Fermez toujours le plateau I/E lors du lancement et de l'arrêt de la bibliothèque. La bibliothèque ne peut pas être lancée ou arrêtée lorsque le plateau I/E est en position ouverte.

Lancement

- 1 Vérifiez que le cordon d'alimentation est connecté, puis réglez l'interrupteur d'alimentation sur On sur le panneau arrière de la bibliothèque.
- 2 Appuyez sur l'interrupteur de mise sous tension/mise en veille sur le panneau avant.

Lorsque le bouton est enfoncé, le voyant du bouton de mise sous tension/mise en veille est allumé en vert. L'initialisation est terminée et la bibliothèque est prête à être utilisée lorsque le texte sur l'écran de la bibliothèque arrête de clignoter.

Arrêt

- 1 Appuyez sur l'interrupteur de mise sous tension/mise en veille pendant au moins deux secondes.
- 2 Un message de confirmation d'arrêt apparaît sur l'écran. Utilisez les boutons flèches pour sélectionner [Y], puis appuyez sur le bouton [ENTER].
- 3 Attendez que le voyant du bouton de mise sous tension/mise en veille cesse de clignoter en vert et s'allume en rouge fixe, puis réglez l'interrupteur d'alimentation sur Off sur le panneau arrière.

Insertion et retrait de cartouches

Ouverture du plateau I/E

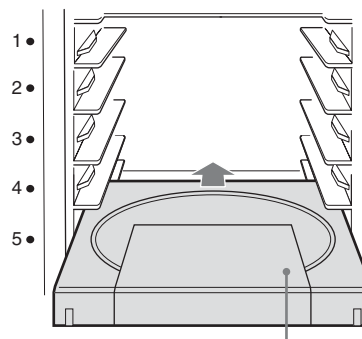
Appuyez sur le bouton RELEASE sur le panneau avant pour relâcher le verrou du plateau I/E. Lorsque le bouton RELEASE est enfoncé, le voyant du bouton clignote et le processus de déverrouillage commence. Lorsque le verrou est relâché, le voyant du bouton est fixement allumé.

Remarque

Attendez que le voyant du bouton soit fixement allumé, puis ouvrez le plateau I/E.

Insertion et retrait d'une cartouche

Insérez une cartouche dans une fente, puis poussez la cartouche tout du long jusqu'à ce qu'elle s'arrête.



Point de fixation de l'étiquette vers le haut

Lorsque vous retirez une cartouche, sortez la cartouche tout en la maintenant à l'horizontale.

Fermeture du plateau I/E

Poussez lentement le plateau I/E tout entier dans la bibliothèque et vérifiez que l'éclairage du bouton RELEASE s'éteint.

Remarques

- Le plateau I/E n'est pas complètement fermé si l'éclairage du bouton RELEASE est allumé.
- Une tonalité d'avertissement sonne si le plateau I/E est laissé ouvert pendant trois minutes ou plus.

Enregistrement dans la base de données

Après l'insertion d'une cartouche et la fermeture du plateau I/E, des informations sur chaque cartouche sont automatiquement enregistrées dans la base de données de la bibliothèque. L'enregistrement de la base de données peut prendre un peu de temps en cas d'insertion de plusieurs cartouches.

Une fois que les cartouches ont été enregistrées dans la base de données, il est possible d'y accéder à partir d'une application de niveau supérieur afin d'effectuer des opérations.

Retrait d'une cartouche en urgence

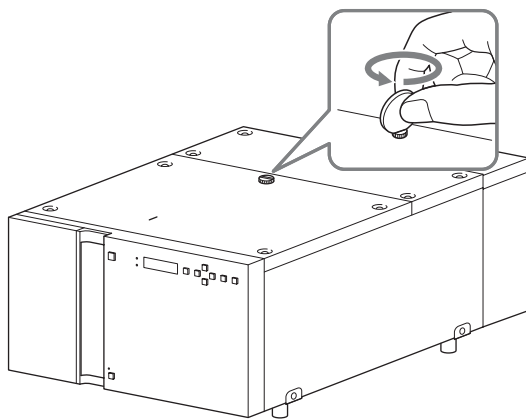
Utilisez la procédure suivante pour retirer une cartouche lorsque l'alimentation de la bibliothèque est éteinte.

- 1 Vérifiez que l'alimentation est coupée.

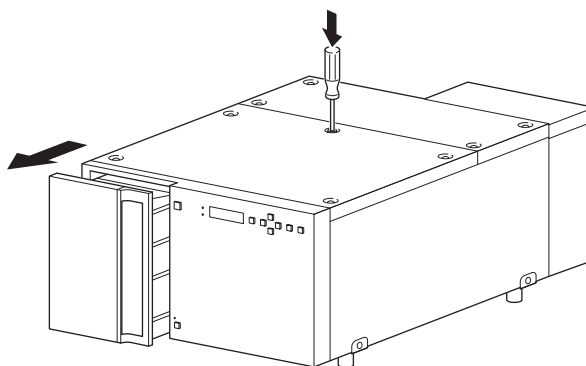
Remarque

Si la procédure suivante est effectuée alors que l'alimentation est sur On, le mécanisme de transport de la cartouche peut être endommagé.

- 2 Retirez la vis du panneau supérieur de la bibliothèque avec une pièce ou un objet similaire.



- 3 Insérez un tournevis ou un autre objet fin dans l'orifice de la vis, appuyez sur le levier de déverrouillage et sortez le plateau I/E.



- 4 Retirez la cartouche.

- 5 Réinstallez la vis que vous avez retirée sur le panneau supérieur.

Configuration du réseau

Pour permettre à cet appareil d'être contrôlé en utilisant le logiciel de gestion de fichiers, connectez cet appareil, grâce à un câble réseau, à un ordinateur sur lequel le logiciel de gestion de fichiers est installé.

Après la connexion au réseau, définissez l'adresse IP de la bibliothèque.

Réglage de l'adresse IP

Les réglages de l'adresse IP, du masque de sous-réseau et de la passerelle par défaut sont nécessaires. Les valeurs suivantes sont les valeurs d'usine par défaut.

Adresse IP : 192.168.1.10

Masque de sous-réseau : 255.255.255.0

Passerelle par défaut : 0.0.0.0

Vous utilisez l'écran et les boutons sur le panneau avant de la bibliothèque pour définir les réglages du réseau.

- 1 Appuyez sur le bouton MENU.

L'écran passe à l'affichage du menu.

IP SETTING

- 2 Faites défiler à l'aide des boutons $\uparrow\downarrow$ pour sélectionner IP SETTING, puis appuyez sur le bouton ENTER.

L'écran IP ADDRESS apparaît.

IP ADDRESS
192.168.001.010

- 3 Appuyez sur le bouton ENTER.

Le premier chiffre de l'adresse IP commence à clignoter, indiquant ainsi que l'adresse est en mode d'édition.

IP ADDRESS
192.168.001.010

- 4 Entrez l'adresse IP.

Déplacez-vous parmi les chiffres à l'aide des boutons $\leftarrow\rightarrow$ et modifiez la valeur avec les boutons $\uparrow\downarrow$.

- 5 Une fois terminé, appuyez sur le bouton ENTER.

Vérifiez l'adresse entrée.

IP ADDRESS
192.168.001.010

- 6 Affichez l'écran SUBNET MASK à l'aide des boutons $\uparrow\downarrow$, puis appuyez sur le bouton ENTER.

SUBNET MASK
255.255.255.000

- 7 Entrez le masque de sous-réseau de la même façon que l'adresse IP, puis appuyez sur le bouton ENTER une fois terminé.

- 8 Affichez l'écran DEFAULT GATEWAY à l'aide des boutons $\uparrow\downarrow$, puis appuyez sur le bouton ENTER.

DEFAULT GATEWAY
000.000.000.000

- 9 Entrez la passerelle par défaut, puis appuyez sur le bouton ENTER une fois terminé.

- 10 Appuyez deux fois sur le bouton MENU ou sur le bouton ESC pour quitter le menu.

L'adresse IP mise à jour devient effective lorsque la bibliothèque est redémarrée.

Vous pouvez modifier l'adresse IP à l'aide de l'écran web.

Pour des détails sur l'utilisation de l'écran web pour effectuer des modifications, référez-vous l'aide du logiciel ODS-L10.

Affichage de l'écran web

Un écran web peut être utilisé pour effectuer des opérations de réglage pour cet appareil.

Environnement d'exploitation recommandé

Navigateur Web : Microsoft Internet Explorer 8 (Windows), Safari 5.1 (Mac OS)

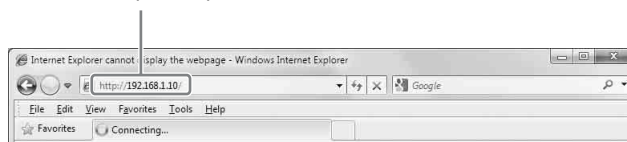
Taille du moniteur : 1 280 pixels ou plus grand

Remarque

Si vous utilisez Internet Explorer 8, réglez le mode d'affichage sur « IE8 Standard Mode ».

Pour afficher l'écran web, entrez l'URL `http://(ip_address)/` dans un navigateur web.

Exemple : `http://192.168.1.10/`



Le navigateur web ouvre une connexion à la bibliothèque et un écran de confirmation apparaît. Saisissez le nom d'utilisateur et le mot de passe suivants.

Utilisateur : admin, Mot de passe : ods-110

Après l'authentification, l'écran Setup Menu apparaît.

Pour des détails sur l'opération de l'écran web, référez-vous l'aide du logiciel ODS-L10.

Remarques

- Consultez votre administrateur réseau au sujet des réglages réseau requis.
Les ordinateurs ne peuvent pas connecter la bibliothèque sur un réseau, en fonction des réglages du serveur proxy du navigateur.
- Seul un client web peut être connecté à la bibliothèque à tout moment.
- L'écran web prend en charge jusqu'à trois connexions simultanées (sessions http). Si plusieurs sessions sont ouvertes en même temps, une erreur se produit en cas de conflit entre les opérations d'enregistrement. Dans ce cas, l'opération doit être réalisée une seconde fois.

Opération de menus

Vous réglez les réglages de base de la bibliothèque et affichez l'état de la bibliothèque à l'aide du menu affiché sur le panneau avant de la bibliothèque. Utilisez les boutons sur le panneau avant pour utiliser le menu.

Opération de base des menus

Cette section décrit l'opération de base des menus, avec le réglage de la tonalité d'avertissement en tant qu'exemple.

1 Appuyez sur le bouton MENU.

L'écran passe à l'affichage du menu.



IP SETTING

2 Faites défiler les éléments de menu à l'aide des boutons $\uparrow/\downarrow$, puis appuyez sur le bouton ENTER.

L'état actuel pour l'élément sélectionné s'affiche.



BUZZER
ON

3 Appuyez sur le bouton ENTER.

Le curseur commence à clignoter et l'affichage passe en mode d'édition.



BUZZER
[ON]

4 Appuyez sur les boutons $\leftarrow/\rightarrow$ $\uparrow/\downarrow$ pour modifier le réglage.



BUZZER
[OFF]

5 Appuyez sur le bouton ENTER pour confirmer le réglage.

Le curseur clignotant disparaît et le réglage est confirmé.



BUZZER
OFF

6 Appuyez sur le bouton MENU ou sur le bouton ESC pour revenir à l'écran de sélection de l'élément de menu.

7 Appuyez à nouveau sur le bouton MENU pour quitter le menu.

Liste des menus

Menu	Description
IP SETTING	Configure les réglages réseau. <i>Pour plus de détails, voir « Réglage de l'adresse IP » (page 47).</i> IP ADDRESS : Définit l'adresse IP. SUBNET MASK : Définit le masque de sous-réseau. DEFAULT GATEWAY : Définit la passerelle par défaut.
BUZZER	Active/désactive la tonalité d'avertissement.
LCD LIGHT	Sélectionne si le rétroéclairage reste toujours allumé ou s'il s'éteint automatiquement lorsqu'aucune opération n'est en cours. Lorsqu'il est réglé sur OFF, le rétroéclairage s'éteint automatiquement si aucun bouton, autre que le bouton RELEASE, n'est enfoncé pendant un certain temps. Si le rétroéclairage s'éteint automatiquement, le rétroéclairage se rallume lorsqu'un bouton, autre que le bouton RELEASE, est enfoncé. Recommandation : OFF
SILENT MODE	Active/désactive le mode silencieux.
SERIAL NUMBER	Affiche le numéro de série de la bibliothèque ou des unités de lecture installées. SERIAL NUMBER : Affiche le numéro de série de la bibliothèque.
VERSION	SOFTWARE VERSION : Affiche le numéro de version du logiciel de bibliothèque.
ERROR STATUS	Affiche un code d'erreur ou un message lorsqu'une erreur/un avertissement se produit dans la bibliothèque. Faites défiler à l'aide des boutons   . <i>Pour plus de détails sur la résolution des messages d'erreur, voir « Messages » (page 50).</i> Si un code d'erreur au format « xx-xxx » apparaît, consultez votre représentant Sony le plus proche.
HDD FORMAT	Formate les disques durs intégrés dans la bibliothèque. Sélectionnez Yes et appuyez sur le bouton ENTER pour commencer le formatage.

Menu	Description
SHUTDOWN	Arrête la bibliothèque. Si une opération est en cours, une requête s'affiche pour l'opération. Sélectionnez Yes et appuyez sur le bouton ENTER pour arrêter.
ACCOUNT RESET	Rétablit les réglages du compte à leurs valeurs par défaut (Utilisateur : admin, Mot de passe : ods-l10). Sélectionnez Yes et appuyez sur le bouton ENTER pour réinitialiser le compte.

Messages

Le voyant d'alarme sur le panneau avant de la bibliothèque clignote en rouge (erreur) ou en orange (avertissement) s'il y a un problème avec le matériel de la bibliothèque ou les réglages de configuration. Sélectionner ERROR STATUS à partir du menu affichera le code d'erreur (Error xx-xxx) ou message d'avertissement.

Les codes d'erreur sont principalement affichés pour des erreurs dues à des problèmes matériels. Si un code d'erreur s'affiche, consultez votre représentant Sony le plus proche. Si un message apparaît, référez-vous à la description d'erreur suivante pour résoudre le problème. Si l'affichage du message persiste, consultez votre représentant Sony le plus proche.

Message	Description
FAN1 Warning	La vitesse du ventilateur a chuté. La bibliothèque continue à fonctionner, cependant, une utilisation prolongée causera une augmentation de la température à l'intérieur de la bibliothèque et des lecteurs, ce qui peut causer une défaillance ou un incendie. Consultez votre représentant Sony le plus proche.
FAN2 Warning	
FAN1 Error	Le ventilateur ne tourne pas. La bibliothèque continue à fonctionner, cependant, une utilisation prolongée causera une augmentation de la température à l'intérieur de la bibliothèque et des lecteurs, ce qui peut causer une défaillance ou un incendie. Consultez votre représentant Sony le plus proche.
FAN2 Error	
High TEMP!	La température à l'intérieur de la bibliothèque est trop élevée. La bibliothèque continue à fonctionner, cependant, une utilisation prolongée causera une augmentation supplémentaire de la température à l'intérieur de la bibliothèque et des lecteurs, ce qui peut causer une défaillance ou un incendie. Consultez votre représentant Sony le plus proche.
Low TEMP!	La température à l'intérieur de la bibliothèque est trop faible. La bibliothèque continue à fonctionner, cependant, la performance du disque dur est détériorée, et la lecture et l'écriture peuvent être difficiles.
PowerUnit(A) Err	Une erreur a été détectée dans l'unité d'alimentation. Consultez votre représentant Sony le plus proche.
PowerUnit(B) Err	
DC Power Warning	Une erreur de tension CC s'est produite dans la bibliothèque. La bibliothèque continue à fonctionner, cependant, une utilisation prolongée causera une augmentation de la température à l'intérieur de la bibliothèque et des lecteurs, ce qui peut causer une défaillance ou un incendie. Consultez votre représentant Sony le plus proche.
ILL. SETUP!	Une erreur s'est produite lors du réglage d'une valeur dans le menu de configuration. Reconfigurez l'élément de configuration. Si la même erreur persiste, consultez votre représentant Sony le plus proche.
JM Com Error	Redémarrez la bibliothèque. Si la même erreur persiste, consultez votre représentant Sony le plus proche.
CC Com Error	
SV Com Error	
HDD1 Warning	Une erreur de lecture/écriture du disque dur s'est produite de manière répétée. Le disque dur peut être remplacé. Consultez votre représentant Sony le plus proche.
HDD2 Warning	
HDD1 Fail	Une erreur de disque dur s'est produite et vous ne pouvez pas accéder au lecteur. Le disque dur peut être remplacé. Consultez votre représentant Sony le plus proche.
HDD2 Fail	
Rebuilding xx%	Une restauration de données est en cours. Ne coupez pas l'alimentation avant que la restauration soit terminée.
Update Err!	La mise à jour du logiciel n'a pas réussi. Réinstallez la mise à jour. Si la même erreur persiste, consultez votre représentant Sony le plus proche.
Turn off/on PWR!	Redémarrez la bibliothèque pour activer les réglages modifiés.
DIPSW Error	Impossible de lire le réglage du commutateur DIP. Redémarrez la bibliothèque. Si la même erreur persiste, consultez votre représentant Sony le plus proche.

Message	Description
RCX Pos Error	Redémarrez la bibliothèque. Si la même erreur persiste, consultez votre représentant Sony le plus proche.
RCY Pos Error	
RCZ Pos Error	
PSU detect	Une unité d'alimentation redondante est installée. Vérifiez les réglages sur l'écran Setup Menu.
Unknown USB	Un appareil USB non pris en charge a été détecté.
LCD Com Error	Impossible de communiquer avec le panneau LCD.
Door is Opening	Le clapet de plateau I/E est ouvert.
NO SYSINFO	Le fichier de configuration du système ne peut pas être détecté. Reconfigurez le numéro de série avec l'écran Setup Menu.
NO ODS CONF	Le fichier de configuration de la bibliothèque ne peut pas être détecté. Reconfigurez la bibliothèque avec l'écran Setup Menu.
NO NETWORK CFG	Le fichier de configuration réseau ne peut pas être détecté. Reconfigurez les réglages réseau.
Exchg batt!	Il faut remplacer la batterie. Contactez votre service après-vente ou votre revendeur Sony.

Remarques importantes relatives à l'utilisation

Utilisation et stockage

Ne soumettez pas l'appareil à des chocs violents

Ils pourraient endommager les mécanismes internes ou déformer le boîtier. Les chocs peuvent également endommager le stockage interne.

Ne couvrez pas l'appareil pendant son fonctionnement

Cela causera une hausse des températures à l'intérieur de l'appareil, ce qui peut engendrer une défaillance.

Après utilisation

Éteignez le bouton de mise sous tension/mise en veille. Si vous prévoyez de ne pas utiliser l'appareil pour un long moment, réglez également l'interrupteur d'alimentation sur Off sur le panneau arrière.

Transport

- Pour éviter tout dommage au stockage interne, coupez toujours l'alimentation de l'appareil.
- En cas de transport par camion, bateau, avion ou par d'autres services de transport, emballez l'appareil dans son emballage d'expédition.
- Si l'appareil est expédié sans être correctement emballé et protégé. Ses pièces internes peuvent être endommagées.
Consultez le manuel d'installation fourni pour vous assurer de monter les vis et les adaptateurs afin de garantir un transport sûr.
- Si l'appareil est transporté avec l'unité de lecture toujours insérée, cet appareil et l'unité de lecture risquent d'être endommagés pendant le transport. Assurez-vous de retirer l'unité de lecture de cet appareil avant de procéder au transport.

Entretien de l'appareil

Si le boîtier de l'appareil est sale, nettoyez-le au moyen d'un chiffon sec et doux.

Dans des cas extrêmes, utilisez un chiffon imprégné d'une petite quantité de détergent neutre, puis essuyez. N'utilisez pas de produits organiques tels que de l'alcool ou des solvants qui peuvent provoquer une décoloration ou d'autres dommages de la finition de l'appareil.

En cas de problèmes de fonctionnement

En cas de problèmes avec l'appareil, contactez votre revendeur ou service après-vente Sony.

Emplacements d'utilisation et de stockage

Rangez le caméscope dans un endroit aéré plat. Évitez d'utiliser ou de stocker l'appareil dans les lieux suivants.

- excessivement chauds ou froids (plage de température de fonctionnement : 5 °C à 35 °C (41 °F à 95 °F))
N'oubliez pas qu'en été ou dans les climats chauds, la température à l'intérieur d'un véhicule à vitres fermées peut facilement dépasser 50 °C (122 °F).
- humides ou poussiéreux
- où l'appareil pourrait recevoir la pluie
- soumis à de violentes vibrations
- à proximité de champs magnétiques puissants
- à proximité d'émetteurs radio ou télévision produisant des champs électromagnétiques puissants.
- en plein soleil ou à proximité d'équipements de chauffage pendant de longues périodes

Pour éviter les interférences électromagnétiques des dispositifs de communication portables

L'emploi de téléphones portables et d'autres dispositifs de communication à proximité de cet appareil peut engendrer des anomalies de fonctionnement.

Il est recommandé de mettre hors tension les dispositifs de communication portables près de cet appareil.

Condensation

Si vous déplacez l'appareil d'un endroit très froid à un endroit très chaud, ou si vous l'utilisez dans un lieu humide, de la condensation peut se former sur le capteur optique.

Ensuite, si l'appareil est utilisé dans cet état, l'enregistrement et la lecture peuvent ne pas fonctionner correctement.

Lorsque vous déplacez ou utilisez l'appareil dans un environnement où la condensation peut se former, veillez à insérer une cartouche.

Précautions concernant les produits avec disques durs intégrés

Cet appareil dispose de disques durs intégrés. Un disque dur est un appareil de précision. S'il est soumis aux chocs, aux vibrations, à l'électricité statique, à une température élevée ou à l'humidité, les données peuvent être corrompues. Pendant l'installation et l'utilisation de l'appareil, suivez attentivement les précautions suivantes.

Protection contre les chocs et les vibrations

Lorsqu'il est soumis aux chocs ou aux vibrations, le disque dur peut être endommagé et les données sur le disque dur peuvent être corrompues.

- Lorsque vous transportez l'appareil, utilisez le matériel d'emballage spécifié. En cas de transport sur un chariot ou autre, utilisez un type de chariot qui ne transmet pas

de vibrations excessives. Des vibrations et des chocs excessifs peuvent endommager le disque dur.

- Ne déplacez pas l'appareil lorsqu'il est allumé.
- Protégez des chocs tous les appareils équipés de disque dur dans le support.
- Avant de retirer ou d'insérer l'appareil dans un support, assurez-vous que l'alimentation des appareils équipés de disque dur dans le support est également réglée sur OFF.
- Placez l'appareil dans un endroit stable et de niveau.
- Ne placez pas l'appareil près d'autres appareils qui peuvent être une source de vibrations.

N'exposez jamais l'appareil à l'électricité statique

Retirez de la zone de travail tout élément en plastique qui peut produire de l'électricité statique (papier-bulles, etc.). De même, lorsque vous manipulez le disque dur, veillez à porter un bracelet de mise à la terre antistatique.

Attendez 30 secondes après avoir coupé l'alimentation

Brièvement après que l'alimentation soit coupée, les disques à l'intérieur du disque dur continueront à tourner et les têtes seront dans une position peu sûre. Pendant cet intervalle, l'appareil est plus susceptible d'être soumis aux chocs et aux vibrations que pendant un fonctionnement normal. Pour une période d'au moins 30 secondes après avoir coupé l'alimentation, évitez de soumettre l'appareil même à des chocs très légers. Après cette période, le disque dur sera totalement arrêté et l'appareil peut être manipulé.

Précautions relatives à la température et l'humidité

Utilisez et stockez l'appareil uniquement dans des endroits où les plages de température et d'humidité spécifiées ne sont pas dépassées. De même, ne mettez pas l'appareil sous tension lorsque son boîtier extérieur est retiré.

Plage de température pour le fonctionnement : 5 °C à 35 °C (41 °F à 95 °F)

Plage d'humidité pour le fonctionnement : 20 % à 90 % d'humidité relative (pas de condensation)

Plage de température pour le stockage : -20 °C à +60 °C (-4 °F à +140 °F)

Lorsque le disque dur semble être défectueux

Même si le disque dur montre des signes de dysfonctionnement, veillez à respecter toutes les précautions ci-dessus. Cela évitera qu'il y ait davantage de dommages jusqu'à ce que le problème puisse être diagnostiqué et corrigé.

Remplacement du disque dur

Contactez votre revendeur ou service après-vente Sony pour des informations sur le remplacement du disque dur.

Marques commerciales et licences

Licences de logiciels libres

En vertu d'un contrat de licence entre Sony et les détenteurs des droits du logiciel, ce produit utilise un logiciel libre.

Afin de satisfaire les exigences des détenteurs des droits du logiciel, Sony est obligé de vous informer du contenu de ces licences.

Pour le contenu de ces licences, consultez « *Open Source Software License List* » dans l'aide du logiciel.

Obtention de logiciel sous licence GPL/LGPL/GPL V3

Ce produit utilise un logiciel sous licence sous GPL version 2 / LGPL version 2.1 / GPL version 3. Vous avez le droit d'obtenir, de modifier et de distribuer le code source de ce logiciel.

Vous pouvez télécharger le code source de ce logiciel à partir des serveurs Internet de Sony. Pour plus d'informations sur la façon de le télécharger, accédez à l'URL suivant.

<http://oss.sony.net/Products/Linux/common/search.html>

Nous ne pouvons pas répondre aux requêtes concernant le contenu du code source.

Spécifications

Caractéristiques générales

Alimentation 100 V à 240 V CA, 50 Hz/60 Hz

Consommation électrique
170 W

Température de fonctionnement
5 °C à 35 °C (41 °F à 95 °F)

Température de stockage
-20 °C à +60 °C (-4 °F à 140 °F)

Humidité de fonctionnement
20 % à 90 % (humidité relative)

Humidité de stockage
Moins de 75 %

Poids
27 kg (59 lb 8,4 oz) (sans les unités de lecture et ni cartouches)

Dimensions (L × H × P)
424 × 220 × 830 mm (16 3/4 × 8 3/4 × 32 3/4 pouces) (sans les protubérances)

Entrée/sortie

⌘ (Réseau) Prise modulaire de type RJ-45 (1)
1000BASE-T : norme IEEE 802.3ab
100BASE-Tx : norme IEEE 802.3u

Stockage interne

Disque dur Disque dur de 500 Go (2), (configuration en miroir (RAID 1))

Accessoires

Manuel d'installation (1)

Manuel d'utilisation (1)

Fiche de numéro de série pour le gestionnaire de fichiers (1)

Options

Alimentation XDBK-101

Cartouche d'archive de disques optiques

- ODC300R (300 Go, type à écriture unique)
- ODC300RE (300 Go, type réinscriptible)
- ODC600R (600 Go, type à écriture unique)
- ODC600RE (600 Go, type réinscriptible)
- ODC1200RE (1,2 To, type réinscriptible)
- ODC1500R (1,5 To, type à écriture unique)

Unité de lecture d'archive de disques optiques ODS-D55U

Unité de lecture d'archive de disques optiques ODS-D77U

La conception et les caractéristiques techniques sont sujettes à modification sans préavis.

Remarques

- Effectuez toujours un essai d'enregistrement pour vérifier que l'enregistrement s'est fait correctement. **Sony n'assumera pas de responsabilité pour les dommages de quelque sorte qu'ils soient, incluant mais ne se limitant pas à la compensation ou au remboursement, suite au manquement de cet appareil ou de son support d'enregistrement, de systèmes de mémoire extérieurs ou de tout autre support ou système de mémoire à enregistrer un contenu de tout type.**
- Vérifiez toujours que l'appareil fonctionne correctement avant l'utilisation. **Sony n'assumera pas de responsabilité pour les dommages de quelque sorte qu'ils soient, incluant mais ne se limitant pas à la compensation ou au remboursement, à cause de la perte de profits actuels ou futurs suite à la défaillance de cet appareil, que ce soit pendant la période de garantie ou après son expiration, ou pour toute autre raison quelle qu'elle soit.**

Remarques sur le logiciel

Lorsque l'appareil est utilisé avec une connexion PC, téléchargez le logiciel de gestion de fichiers à partir du site internet des produits professionnels Sony.

Pour pouvoir utiliser le logiciel de gestion de fichiers, une authentification par la saisie de numéro de série est requise. Pour les détails sur cette authentification, reportez-vous au guide d'installation du logiciel de gestion de fichiers.

Site internet Sony produits professionnels :

Etats-Unis	http://pro.sony.com
Canada	http://www.sonybiz.ca
Amérique latine	http://sonypro-latin.com
Europe	http://www.pro.sony.eu/pro
Moyen-Orient, Afrique	http://sony-psmea.com
Russie	http://sony.ru/pro/
Brésil	http://sonypro.com.br
Australie	http://pro.sony.com.au
Nouvelle Zélande	http://pro.sony.co.nz
Japon	http://www.sonybsc.com
Asie pacifique	http://pro.sony-asia.com
Corée	http://bp.sony.co.kr
Chine	http://pro.sony.com.cn
Inde	http://pro.sony.co.in

Logiciels créatifs Sony, page de téléchargement du logiciel :

http://www.sonycreativesoftware.com/download/software_for_sony_equipment

Bitte lesen Sie dieses Handbuch vor der Benutzung des Geräts sorgfältig durch und bewahren Sie es zum späteren Nachschlagen auf.

WARNUNG

Um die Gefahr von Bränden oder elektrischen Schlägen zu verringern, darf dieses Gerät nicht Regen oder Feuchtigkeit ausgesetzt werden.

Um einen elektrischen Schlag zu vermeiden, darf das Gehäuse nicht geöffnet werden. Überlassen Sie Wartungsarbeiten stets nur qualifiziertem Fachpersonal.

DIESES GERÄT MUSS GEERDET WERDEN.

WARNUNG

1. Verwenden Sie ein geprüftes Netzkabel (3-adriges Stromkabel)/einen geprüften Geräteanschluss/einen geprüften Stecker mit Schutzkontakten entsprechend den Sicherheitsvorschriften, die im betreffenden Land gelten.
2. Verwenden Sie ein Netzkabel (3-adriges Stromkabel)/einen Geräteanschluss/einen Stecker mit den geeigneten Anschlusswerten (Volt, Ampere).

Wenn Sie Fragen zur Verwendung von Netzkabel/ Geräteanschluss/Stecker haben, wenden Sie sich bitte an qualifiziertes Kundendienstpersonal.

Für Kunden in Europa, Australien und Neuseeland

WARNUNG

Dies ist eine Einrichtung, welche die Funk-Entstörung nach Klasse A besitzt. Diese Einrichtung kann im Wohnbereich Funkstörungen verursachen; in diesem Fall kann vom Betreiber verlangt werden, angemessene Maßnahmen durchzuführen und dafür aufzukommen.

Für Kunden in Europa

Dieses Produkt wurde von oder für Sony Corporation, 1-7-1 Konan Minato-ku Tokio, 108-0075 Japan hergestellt.

Bei Fragen zur Produktkonformität auf Grundlage der Gesetzgebung der Europäischen Union kontaktieren Sie bitte den Bevollmächtigten Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Deutschland. Für Kundendienst oder Garantieangelegenheiten wenden Sie sich bitte an die in den Kundendienst- oder Garantiedokumenten genannten Adressen.

Dieser Apparat darf nicht im Wohnbereich verwendet werden.



Für Kunden in Europa

Hiermit erklärt Sony Corporation, dass sich das Gerät ODS-L10 in Übereinstimmung mit den grundlegenden Anforderungen und den übrigen einschlägigen Bestimmungen der Richtlinie 1999/5/EG befindet.

Weitere Informationen erhältlich unter:

<http://www.compliance.sony.de/>

Inhaltsverzeichnis

Übersicht.....	58
Beispiel für eine Systemkonfiguration	58
Name und Funktion der Teile	59
Vorderseite	59
Kastenfach	60
Rückseite	61
Starten und Stoppen	62
Starten.....	62
Stoppen	62
Einsetzen und Entfernen von Kassetten.....	62
Öffnen des Kastenfachs	62
Einsetzen und Entfernen einer Kassette	62
Registrieren in der Datenbank	63
Entfernen einer Kassette im Notfall	63
Konfigurieren des Netzwerks	64
Einstellen der IP-Adresse	64
Anzeigen des Internetbildschirms	64
Verwenden des Menüs.....	65
Grundlegende Menüfunktionen	65
Menüliste	66
Meldungen	67
Wichtige Hinweise zum Betrieb	69
Kondensation	69
Sicherheitshinweise für Produkte mit eingebauter Festplatte	69
Marken und Lizenzen	71
Open-Software-Lizenzen.....	71
Erwerben lizenzierter GPL/LGPL/GPL V3-Software.....	71
Technische Daten.....	71

DE

Übersicht

Die Archivbibliothek für optische Discs ODS-L10 ist ein Bibliotheksgerät, das mit bis zu zwei optionalen Laufwerken (wie zum Beispiel ODS-D55U oder ODS-D77U) und bis zu 10 Archivkassetten für optische Discs ausgerüstet werden kann. Mit dem Gerät können Sie auf effiziente Weise Daten von bzw. auf mehrere(n) Archivkassetten für optische Discs lesen bzw. schreiben und so Materialdaten auf effiziente Weise archivieren und archivierte Materialdaten (durch Hochladen von Daten auf einen Server) laden.

Die ODS-L10 ist mit Wechselfestplatten in einer RAID 1¹⁾ (Spiegelung)-Konfiguration ausgestattet und bei Installation der optionalen Stromversorgung XDBK-101 stehen ihr redundante Stromversorgungsfunktionen zur

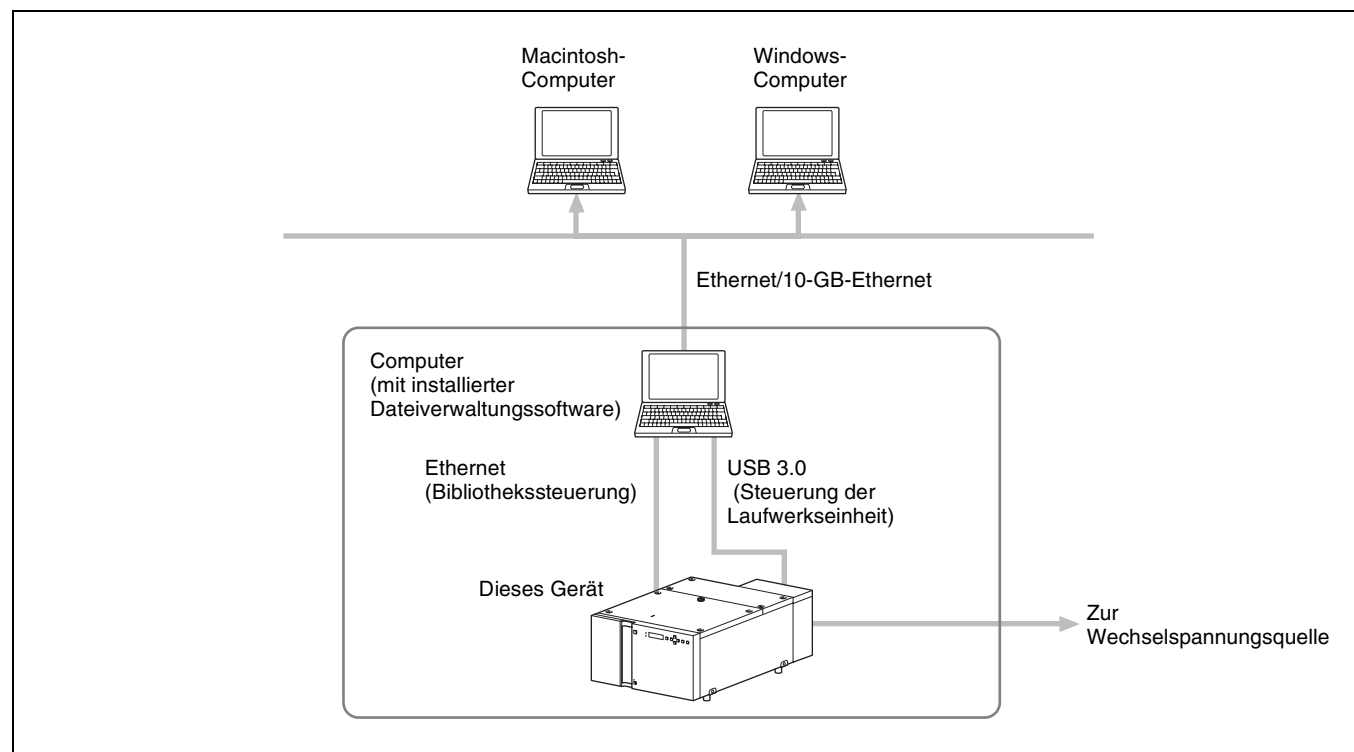
Verfügung. Weil ein fortlaufender Betrieb selbst dann sichergestellt ist, wenn eine der Festplatten oder die Stromversorgung ausfällt, ist die ODS-L10 äußerst nützlich für Systeme, die eine hohe Zuverlässigkeit erfordern.

1) RAID 1 (Redundant Arrays of Inexpensive Disks 1 - Redundante Anordnung kostengünstiger/unabhängiger Festplatten): Eine exakte Kopie eines Datensatzes wird für eine höhere Zuverlässigkeit auf zwei Festplatten geschrieben.

In diesem Handbuch wird die ODS-L10 „dieses Gerät“ genannt, wenn sie mit einer Laufwerkseinheit ausgestattet ist, und eine Archivkassette für optische Discs wird kurz „Kassette“ genannt.

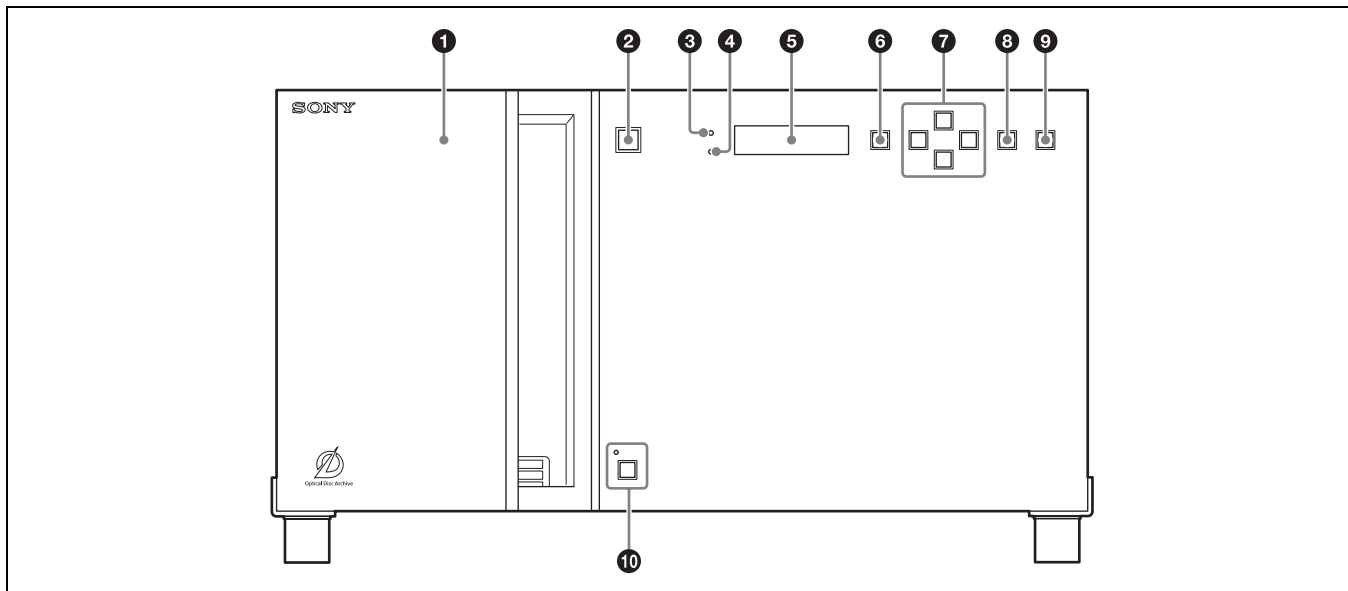
Beispiel für eine Systemkonfiguration

Die folgenden Arten von Systemen können mit der Bibliothek in Verbindung mit zugehörigen Geräten erstellt werden:



Name und Funktion der Teile

Vorderseite



❶ Kastenfachtüre

❷ RELEASE-Taste

Entriegelt das Kastenfach. Beim Drücken dieser Taste werden alle laufenden internen Prozesse angehalten und das Fach wird entriegelt.

Die Tastenanzeige leuchtet, wenn das Kastenfach entriegelt ist, sie erlischt, wenn das Fach verriegelt ist. Das Kastenfach wird automatisch wieder verriegelt, wenn es innerhalb von 10 Sekunden nach dem Entriegeln nicht geöffnet wird.

❸ ALARM-Anzeige

Blinkt, wenn ein Fehler oder eine Warnmeldung auftritt.

Blinkt rot: Fehler

Blinkt orange: Warnung

❹ ACCESS-Anzeige

Leuchtet, wenn die Bibliothek auf die interne Festplatte zugreift.

❺ Display

Zeigt den Bibliotheksstatus, Einstellungsmenüs und Meldungen an.

Unter normalen Bedingungen wird in der oberen Zeile die Bibliothekskennung und in der unteren Zeile die Anzahl der Kassetten angezeigt, die in die Kastenfächer A und B eingesetzt sind.

```
ID:****  
TRAY A:5 B:3
```

❻ Taste MENU

Zeigt das Menü auf dem Display an.

❼ Pfeiltasten

Dient zum Verschieben der Menüanzeige auf dem Display und zum Festlegen der Eingabewerte.

❽ ENTER-Taste

Wechselt zur nächsten Seite oder bestätigt die Eingabewerte bei der Menübedienung.

❾ ESC-Taste

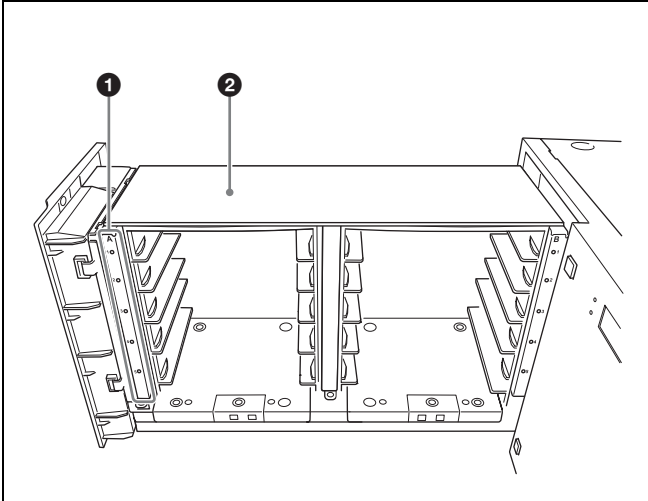
Wechselt auf Menübildschirmen zur vorherigen Seite.

❿ Einschalt-/Bereitschafts-Taste und Anzeige

Schaltet die Bibliothek zwischen Ein und Bereitschaft um, wenn der Hauptnetzschalter auf der Rückseite eingeschaltet ist. Drücken und halten Sie die Taste mindestens zwei Sekunden lang, um in den Bereitschaftsmodus zu wechseln.

Die Anzeige leuchtet im Betriebsmodus grün und im Bereitschaftsmodus rot. Sie blinkt grün beim Herunterfahren des Geräts.

Kastenfach



❶ LEDs

Diese LEDs zeigen den Status der Einsatzfächer (1 bis 5 von oben nach unten) in den Kastenfächern A und B an. Sie können über einen Internetbildschirm festlegen, dass diese LEDs leuchten oder blinken, um den Status der entsprechenden Einsatzfächer leichter erkennen zu können.

❷ Kastenfach A und Kastenfach B

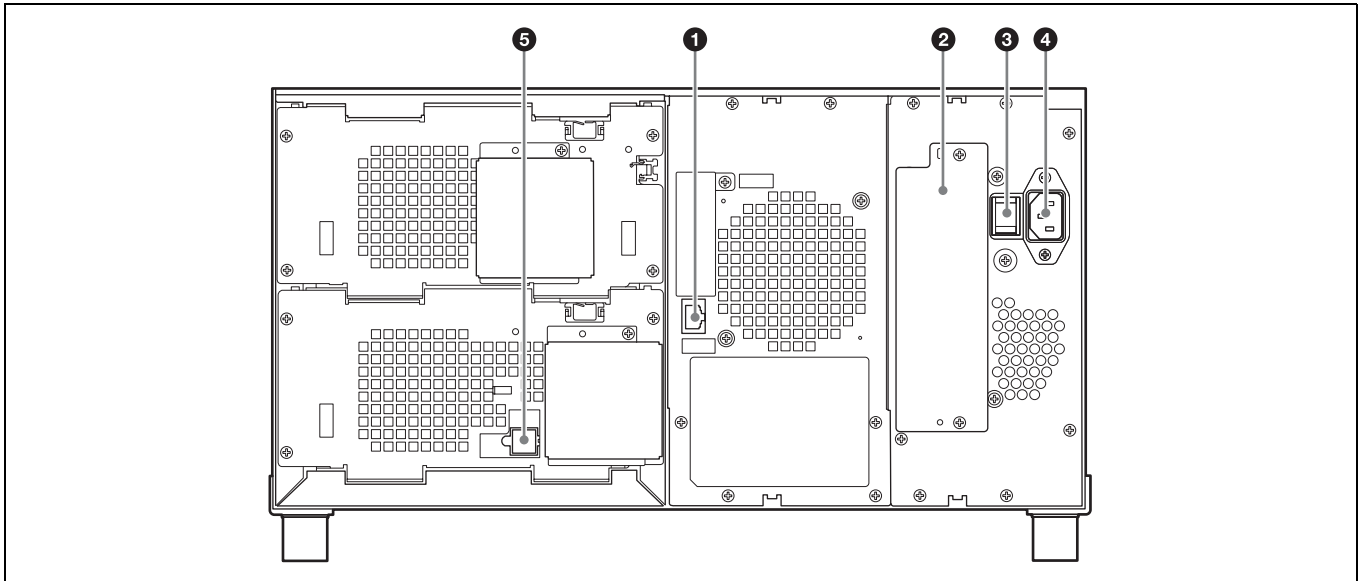
Kastenfach A und Kastenfach B können bis zu 5 Kassetten aufnehmen.

Die Kassettenfächer jedes Kastenfachs sind von oben nach unten mit 1 bis 5 nummeriert.

Rückseite

Die folgende Abbildung zeigt das Produkt ODS-L10, wenn eine optionale Laufwerkseinheit ODS-D55U im unteren Fach installiert ist. Wenn eine optionale

Laufwerkseinheit ODS-D77U installiert ist, weicht die Rückseite der Laufwerkseinheit von dieser Darstellung ab. Einzelheiten hierzu finden Sie im Installationshandbuch.



1 (Netzwerk-) Buchse

Schließen Sie ein Netzkabel an, um dieses Gerät mithilfe von Dateiverwaltungssoftware, die auf einem Computer installiert ist, über einen Internetbildschirm bedienen zu können.

VORSICHT

- Aus Sicherheitsgründen nicht mit einem Peripheriegerät-Anschluss verbinden, der zu starke Spannung für diese Buchse haben könnte. Folgen Sie den Anweisungen für diese Buchse.
- Verwenden Sie beim Anschließen des Netzkabels des Geräts an ein Peripheriegerät ein abgeschirmtes Kabel, um Fehlfunktionen aufgrund von Störungen zu vermeiden.

2 Schacht für redundante Stromversorgungseinheit

Die optionale Stromversorgung XDBK-101 kann installiert werden, um redundante Stromversorgungsfunktionen zur Verfügung zu stellen. Damit wird in Systemen, die eine hohe Zuverlässigkeit erfordern, ein kontinuierlicher Betrieb für den Fall gewährleistet, dass die Hauptstromversorgungseinheit ausfällt.

Ausführliche Informationen zum Hinzufügen oder Austauschen einer Stromquelle erhalten Sie von Ihrem örtlichen Sony-Vertreter.

3 Hauptnetzschalter

Schaltet die Hauptstromversorgung ein bzw. aus. Im Normalbetrieb ist dieser Schalter in der Position Ein, und mit der Einschalt-/Bereitschafts-Taste auf der Vorderseite

schalten Sie die Bibliothek zwischen Betriebsmodus und Bereitschaftsmodus um.

Hinweis

Bevor Sie den Hauptnetzschalter ausschalten, müssen Sie immer mit der Einschalt-/Bereitschafts-Taste auf der Vorderseite in den Bereitschaftsmodus wechseln.

4 Anschluss AC IN

Zum Verbinden mit einer Netzsteckdose mit dem Netzkabel.

5 USB-Anschluss (SuperSpeed USB (USB 3.0))

Verbindet die in diesem Gerät installierte (optionale) Laufwerkseinheit über ein USB-Kabel mit einem Computer.

Starten und Stoppen

Hinweis

Schließen Sie immer das Kastenfach, bevor Sie die Bibliothek starten oder stoppen. Die Bibliothek kann nicht gestartet oder gestoppt werden, wenn ein Kastenfach geöffnet ist.

Starten

- 1 Prüfen Sie, ob das Netzkabel angeschlossen ist, und schalten Sie dann den Hauptnetzschalter auf der Rückseite der Bibliothek ein.

- 2 Drücken Sie die Taste EIN/Bereitschaft auf der Vorderseite.

Wenn die Taste gedrückt ist, leuchtet die Anzeige der Einschalt-/Bereitschafts-Taste grün.

Die Initialisierung wird beendet und die Bibliothek kann verwendet werden, wenn der Text auf dem Bibliotheksdisplay nicht mehr blinkt.

Stoppen

- 1 Drücken Sie die Ein/Bereitschafts-Taste mindestens zwei Sekunden lang.
- 2 Auf dem Display wird die Meldung angezeigt, dass das Gerät heruntergefahren wird. Verwenden Sie die Pfeiltasten zum Auswählen von [Y], drücken Sie dann die Taste [ENTER].
- 3 Warten Sie, bis die Anzeige der Einschalt-/Bereitschafts-Taste nicht mehr grün blinkt, sondern rot leuchtet. Schalten Sie dann den Hauptnetzschalter auf der Rückseite aus.

Einsetzen und Entfernen von Kassetten

Öffnen des Kastenfachs

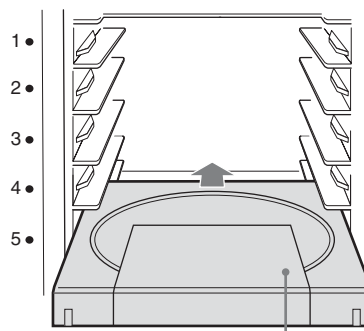
Drücken Sie die RELEASE-Taste auf der Vorderseite zum Entriegeln des Kastenfachs. Wenn die RELEASE-Taste gedrückt wird, blinkt die Tastenanzeige und der Entriegelungsvorgang wird gestartet. Wenn das Fach entriegelt ist, leuchtet die Tastenanzeige ständig.

Hinweis

Warten Sie, bis die Tastenanzeige durchgehend leuchtet, und öffnen Sie dann das Kastenfach.

Einsetzen und Entfernen einer Kassette

Setzen Sie eine Kassette in ein Fach ein, und schieben Sie sie ganz bis zum Anschlag ein.



Etikettenanbringungspunkt zeigt nach

Ziehen Sie beim Entfernen einer Kassette diese horizontal heraus.

Schließen des Kastenfachs

Schieben Sie das Kastenfach langsam ganz in die Bibliothek, und prüfen Sie, ob die Anzeige der RELEASE-Taste erlischt.

Hinweise

- Das Kastenfach ist nicht vollständig geschlossen, wenn die Anzeige der RELEASE-Taste leuchtet.
- Ein Warnton erklingt, wenn das Kastenfach mindestens drei Minuten lang geöffnet bleibt.

Registrieren in der Datenbank

Nach dem Einschieben einer Kassette und dem Schließen des Kastenfachs werden Daten zu den einzelnen Kassetten automatisch in der Bibliotheksdatenbank registriert. Nach dem Einschieben einer Kassette und dem Schließen des Fachs werden Daten zu den einzelnen Kassetten automatisch in der Bibliotheksdatenbank registriert. Nachdem die Kassetten in der Datenbank registriert wurden, können Sie über die obere Anwendung auf die Kassetten zugreifen.

Entfernen einer Kassette im Notfall

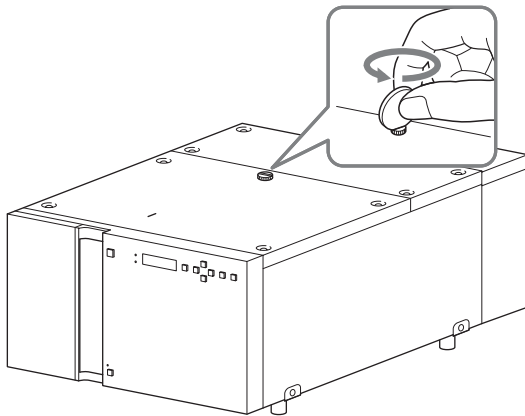
Entfernen Sie eine Kassette wie folgt, wenn die Stromversorgung der Bibliothek unterbrochen wird.

- 1 Stellen Sie sicher, dass die Stromversorgung ausgeschaltet ist.

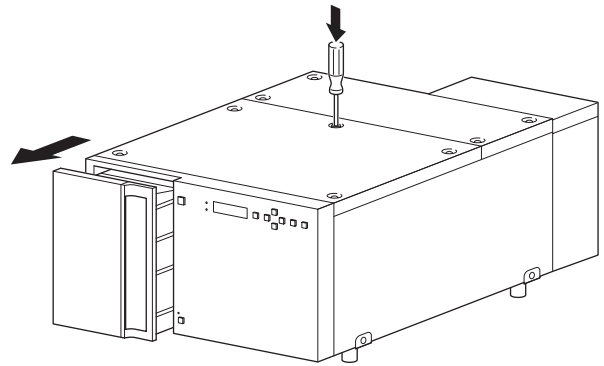
Hinweis

Wenn die folgenden Schritte bei eingeschalteter Stromversorgung durchgeführt werden, kann der Transportmechanismus der Kassette beschädigt werden.

- 2 Entfernen Sie die Schraube an der Oberseite der Bibliothek mit einer Münze oder einem ähnlichen Objekt.



- 3 Stecken Sie einen Schraubenzieher oder ein anderes dünnes Objekt in den Schraubenschlitz, drücken Sie den Entriegelungshebel nach unten und ziehen Sie das Kastenfach heraus.



- 4 Nehmen Sie die Kassette heraus.
- 5 Bringen Sie die Schraube, die Sie entfernt haben, an der Oberseite wieder an.

Konfigurieren des Netzwerks

Um dieses Gerät mit Dateiverwaltungssoftware betreiben zu können, verbinden Sie es über ein Netzkabel mit einem Computer, in dem Dateiverwaltungssoftware installiert ist.

Stellen Sie nach dem Anschließen an das Netzwerk die IP-Adresse der Bibliothek ein.

Einstellen der IP-Adresse

Die Einstellungen für die IP-Adresse, Subnet-Maske und das Standard-Gateway müssen angegeben werden. Die folgende Werte sind die Werksvorgaben.

IP address: 192.168.1.10

Subnet mask: 255.255.255.0

Default gateway: 0.0.0.0

Zum Festlegen der Netzwerkeinstellungen verwenden Sie das Display und die Tasten auf der Vorderseite der Bibliothek.

- 1 Drücken Sie die Taste MENU.

Jetzt wird ein Menü angezeigt.

IP SETTING

- 2 Verwenden Sie die Tasten $\uparrow\downarrow$ zum Auswählen von IP SETTING, und drücken Sie dann die ENTER-Taste.

Der Bildschirm IP ADDRESS wird eingeblendet.

IP ADDRESS
192.168.001.010

- 3 Drücken Sie die ENTER-Taste.

Die erste Ziffer in der IP-Adresse beginnt zu blinken, was anzeigt, dass die Adresse bearbeitet werden kann.

IP ADDRESS
192.168.001.010

- 4 Geben Sie die IP-Adresse ein.

Mit den Tasten $\leftarrow\rightarrow$ wechseln Sie von Ziffer zu Ziffer und mit den Tasten $\uparrow\downarrow$ ändern Sie den Wert.

- 5 Wenn Sie fertig sind, drücken Sie die ENTER-Taste.

Prüfen Sie die eingegebene Adresse.

IP ADDRESS
192.168.001.010

- 6 Blenden Sie den Bildschirm SUBNET MASK mit den Tasten $\uparrow\downarrow$ ein und drücken Sie dann die ENTER-Taste.

SUBNET MASK
255.255.255.000

- 7 Geben Sie die Subnet-Maske genauso wie die IP-Adresse ein und drücken Sie die ENTER-Taste, wenn Sie fertig sind.

- 8 Blenden Sie den Bildschirm DEFAULT GATEWAY mit den Tasten $\uparrow\downarrow$ ein und drücken Sie dann die ENTER-Taste.

DEFAULT GATEWAY
000.000.000.000

- 9 Geben Sie das Default Gateway ein, und drücken Sie dann die ENTER-Taste, wenn Sie fertig sind.

- 10 Drücken Sie die MENU-Taste oder die ESC-Taste zweimal zum Schließen des Menüs.

Die aktualisierte IP-Adresse wird wirksam, wenn die Bibliothek neu gestartet wird.
Sie können die IP-Adresse über den Internetbildschirm ändern.

Ausführliche Informationen dazu, wie Sie mit dem Internetbildschirm Änderungen vornehmen, finden Sie in der Hilfe für die ODS-L10-Software.

Anzeigen des Internetbildschirms

In einem Internetbildschirm können Sie Einstellungen für dieses Gerät vornehmen.

Empfohlene Betriebsumgebung

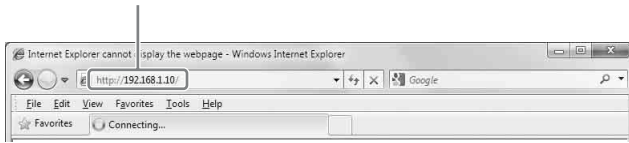
Webbrowser: Microsoft Internet Explorer 8 (Windows), Safari 5.1 (Mac OS)
Monitorgröße: 1.280 Pixel oder breiter

Hinweis

Bei Verwendung von Internet Explorer 8 setzen Sie den Anzeigemodus auf „IE8 Standard Mode“.

Geben Sie zum Anzeigen des Internetbildschirms die URL `http://(IP-Adresse)/` in einen Webbrowser ein.

Beispiel: <http://192.168.1.10/>



Der Webbrowser öffnet eine Verbindung mit der Bibliothek und ein Bestätigungsbildschirm wird angezeigt. Geben Sie den folgenden Benutzernamen und das folgende Passwort ein:

User: admin, Password: ods-110

Nach der Authentifizierung wird der Bildschirm Setup Menu eingeblendet.

Ausführliche Informationen zur Verwendung des Internetbildschirms finden Sie in der Hilfe für die ODS-L10-Software.

Hinweise

- Die erforderlichen Netzwerkeinstellungen erhalten Sie von Ihrem Netzwerkadministrator.
Je nach den Proxyservereinstellungen des Browsers kann möglicherweise keine Verbindung zwischen dem PC und der Bibliothek hergestellt werden.
- Es kann jeweils nur ein Webclient mit der Bibliothek verbunden werden.
- Der Internetbildschirm unterstützt bis zu drei gleichzeitige Verbindungen (http-Sitzungen). Wenn zwei oder mehr Sitzungen gleichzeitig geöffnet sind, tritt ein Fehler auf, wenn die Aufzeichnungsvorgänge miteinander in Konflikt stehen. In solchen Fällen sollte die Operation ein zweites Mal erstellt werden.

Verwenden des Menüs

Mit dem auf der Vorderseite der Bibliothek angezeigten Menü legen Sie grundlegende Einstellungen der Bibliothek fest und zeigen den Bibliotheksstatus an. Verwenden Sie die Tasten auf der Vorderseite zum Bedienen des Menüs.

Grundlegende Menüfunktionen

In diesem Abschnitt wird die Verwendung des Menüs am Beispiel des Warntons beschrieben.

1 Drücken Sie die Taste MENU.

Jetzt wird ein Menü angezeigt.

IP SETTING

2 Blättern Sie mit den Tasten $\uparrow$ $\downarrow$ durch die Menüpunkte und drücken Sie dann die ENTER-Taste.

Der aktuelle Status für das ausgewählte Element wird angezeigt.

BUZZER
ON

3 Drücken Sie die ENTER-Taste.

Der Cursor beginnt zu blinken und der Bearbeitungsmodus wird auf dem Display aktiviert.

BUZZER
[ON]

4 Drücken Sie die $\leftarrow$ $\rightarrow$ $\uparrow$ $\downarrow$ -Tasten zum Ändern der Einstellung.

BUZZER
[OFF]

5 Drücken Sie die ENTER-Taste zum Bestätigen der Einstellung.

Der blinkende Cursor wird ausgeblendet und die Einstellung ist bestätigt.

BUZZER
OFF

6 Drücken Sie die MENU-Taste oder die ESC-Taste, um zum Auswahlbildschirm der Menüpunkte zurückkehren.

- 7 Drücken Sie noch einmal die Taste MENU zum Beenden des Menüs.

Menüliste

Menü	Beschreibung
IP SETTING	Konfiguriert die Netzwerkeinstellungen. <i>Einzelheiten siehe „Einstellen der IP-Adresse“ (Seite 64).</i> IP ADDRESS: Legt die IP-Adresse fest. SUBNET MASK: Legt die Subnet-Maske fest. DEFAULT GATEWAY: Legt das Standard-Gateway fest.
BUZZER	Schaltet den Warnton ein/aus.
LCD LIGHT	Legt fest, ob die Bildschirmbeleuchtung ständig leuchten oder automatisch ausgeschaltet werden soll, wenn kein Vorgang abläuft. Bei Einstellung auf OFF wird die Bildschirmbeleuchtung automatisch ausgeschaltet, wenn eine bestimmte Zeit lang keine Taste außer der RELEASE-Taste gedrückt wird. Wenn die Bildschirmbeleuchtung automatisch ausgeschaltet wird, wird sie wieder eingeschaltet, wenn irgendeine Taste außer der RELEASE-Taste gedrückt wird. Empfehlung: OFF
SILENT MODE	Schaltet den Silent-Modus ein/aus.
SERIAL NUMBER	Zeigt die Seriennummer der Bibliothek oder der bereitgestellten Laufwerkseinheiten an. SERIAL NUMBER: Zeigt die Seriennummer der Bibliothek an.
VERSION	SOFTWARE VERSION: Zeigt die Version der Bibliothekssoftware an.
ERROR STATUS	Zeigt einen Fehlercode oder eine Mitteilung an, wenn ein Fehler/ eine Warnung in der Bibliothek auftritt. Verwenden Sie die Tasten $\uparrow\downarrow$ zum Durchblättern des Bildschirms. <i>Ausführliche Informationen zum Beheben von Fehlern finden Sie unter „Meldungen“ (Seite 67).</i> Wenn ein Fehlercode im Format „xx-xxx“ eingeblendet wird, wenden Sie sich an Ihren örtlichen Sony-Vertreter.

Menü	Beschreibung
HDD FORMAT	Formatiert die integrierten Festplatten der Bibliothek. Wählen Sie Yes aus und drücken Sie die ENTER-Taste, um die Formatierung auszuführen.
SHUTDOWN	Führt die Bibliothek herunter. Wenn eine Operation gerade ausgeführt wird, wird eine Eingabeaufforderung für die Operation angezeigt. Wählen Sie Yes aus und drücken Sie die ENTER-Taste zum Ausschalten.
ACCOUNT RESET	Setzt die Kontoeinstellungen auf die Werksvorgaben zurück (User: admin, Password: ods-I10). Wählen Sie Yes aus und drücken Sie die ENTER-Taste, um das Konto zurückzusetzen.

Meldungen

Die Alarmanzeige auf der Vorderseite der Bibliothek blinkt rot (Fehler) oder orange (Warnung), wenn ein Problem mit der Bibliothekshardware oder mit den Konfigurationseinstellungen vorliegt. Beim Auswählen von ERROR STATUS im Menü wird der Fehlercode (Fehler xx-xxx) oder die Warnmeldung angezeigt. Fehlercodes werden vorwiegend für Fehler wegen Hardwareproblemen angezeigt. Wenn ein Fehlercode

eingblendet wird, wenden Sie sich an Ihren örtlichen Sony-Vertreter.

Wenn eine Mitteilung eingblendet wird, suchen Sie in der folgenden Fehlerbeschreibung nach einer Lösung des Problems. Wenn die Meldung weiter angezeigt wird, wenden Sie sich an Ihren örtlichen Sony-Vertreter.

Meldung	Beschreibung
FAN1 Warning	Die Lüfterdrehzahl hat sich verringert. Die Bibliothek arbeitet zwar weiter, aber durch eine intensive Nutzung steigt die Temperatur in der Bibliothek und in den Laufwerken, was zu einer Fehlfunktion oder sogar einem Brand führen kann. Wenden Sie sich an Ihren örtlichen Sony-Vertreter.
FAN2 Warning	
FAN1 Error	Der Lüfter dreht sich nicht. Die Bibliothek arbeitet zwar weiter, aber durch eine intensive Nutzung steigt die Temperatur in der Bibliothek und in den Laufwerken, was zu einer Fehlfunktion oder sogar einem Brand führen kann. Wenden Sie sich an Ihren örtlichen Sony-Vertreter.
FAN2 Error	
High TEMP!	Die Temperatur in der Bibliothek ist zu hoch. Die Bibliothek arbeitet zwar weiter, aber durch eine intensive Nutzung steigt die Temperatur in der Bibliothek und in den Laufwerken noch weiter, was zu einer Fehlfunktion oder sogar einem Brand führen kann. Wenden Sie sich an Ihren örtlichen Sony-Vertreter.
Low TEMP!	Die Temperatur in der Bibliothek ist zu niedrig. Die Bibliothek arbeitet zwar weiter, aber die Leistung der Festplatte hat sich verringert und es können Problem beim Lesen und Schreiben auftreten.
PowerUnit(A) Err	Bei der Spannungsversorgung wurde ein Fehler erkannt. Wenden Sie sich an Ihren örtlichen Sony-Vertreter.
PowerUnit(B) Err	
DC Power Warning	Ein Gleichspannungsfehler ist in der Bibliothek aufgetreten. Die Bibliothek arbeitet zwar weiter, aber durch eine intensive Nutzung steigt die Temperatur in der Bibliothek und in den Laufwerken, was zu einer Fehlfunktion oder sogar einem Brand führen kann. Wenden Sie sich an Ihren örtlichen Sony-Vertreter.
ILL. SETUP!	Beim Einstellen eines Werts im Konfigurationsmenü ist ein Fehler aufgetreten. Legen Sie das Konfigurationselement neu fest. Wenn der Fehler weiter angezeigt wird, wenden Sie sich an Ihren örtlichen Sony-Vertreter.
JM Com Error	Starten Sie die Bibliothek neu. Wenn der Fehler weiter angezeigt wird, wenden Sie sich an Ihren örtlichen Sony-Vertreter.
CC Com Error	
SV Com Error	
HDD1 Warning	Ein Lese-/Schreib-Fehler ist bei der Festplatte wiederholt aufgetreten. Die Festplatte muss ersetzt werden. Wenden Sie sich an Ihren örtlichen Sony-Vertreter.
HDD2 Warning	
HDD1 Fail	Ein Festplattenfehler ist aufgetreten, und auf das Laufwerk kann nicht zugegriffen werden. Die Festplatte muss ersetzt werden. Wenden Sie sich an Ihren örtlichen Sony-Vertreter.
HDD2 Fail	
Rebuilding xx%	Die Daten werden gerade neu aufgebaut. Schalten Sie das Gerät erst aus, wenn der Neuaufbau abgeschlossen ist.
Update Err!	Die Softwareaktualisierung war nicht erfolgreich. Installieren Sie die Aktualisierung neu. Wenn der Fehler weiter angezeigt wird, wenden Sie sich an Ihren örtlichen Sony-Vertreter.
Turn off/on PWR!	Starten Sie die Bibliothek neu zum Aktivieren der geänderten Einstellungen.
DIPSW Error	Die Einstellung des DIP-Schalters konnte nicht gelesen werden. Starten Sie die Bibliothek neu. Wenn der Fehler weiter angezeigt wird, wenden Sie sich an Ihren örtlichen Sony-Vertreter.

Meldung	Beschreibung
RCX Pos Error	Starten Sie die Bibliothek neu. Wenn der Fehler weiter angezeigt wird, wenden Sie sich an Ihren örtlichen Sony-Vertreter.
RCY Pos Error	
RCZ Pos Error	
PSU detect	Eine redundante Stromversorgungseinheit ist installiert. Prüfen Sie die Einstellungen im Bildschirm Setup Menu.
Unknown USB	Es wurde ein nicht unterstütztes USB-Gerät erkannt.
LCD Com Error	Eine Kommunikation mit dem LCD-Bildschirm ist nicht möglich.
Door is Opening	Die Kastenfachtüre ist geöffnet.
NO SYSINFO	Die Systemkonfigurationsdatei kann nicht gefunden werden. Stellen Sie die Seriennummer mit dem Bildschirm Setup Menu neu ein.
NO ODS CONF	Die Bibliothekskonfigurationsdatei kann nicht gefunden werden. Stellen Sie die Bibliothek mit dem Bildschirm Setup Menu neu ein.
NO NETWORK CFG	Die Netzwerkkonfigurationsdatei kann nicht gefunden werden. Legen Sie die Netzwerkeinstellungen neu fest.
Exchg batt!	Die Batterie muss ersetzt werden. Wenden Sie sich an Ihren Sony-Kundendienst oder Handelsvertreter.

Wichtige Hinweise zum Betrieb

Verwendung und Lagerung

Schützen Sie das Gerät vor starken Stößen

Durch Stöße können mechanische Komponenten im Gerät beschädigt werden oder das Gehäuse kann sich verziehen. Durch Erschütterungen kann auch der interne Speicher beschädigt werden.

Das Gerät darf während des Betriebs nicht abgedeckt sein

Andernfalls steigt die Temperatur im Gerät, was wahrscheinlich zu einer Fehlfunktion führt.

Nach der Verwendung

Schalten Sie die EIN/Bereitschaft-Taste aus.

Wenn Sie das Gerät längere Zeit nicht verwenden wollen, schalten Sie es auch am Hauptnetzschalter auf der Rückseite aus.

Transport

- Um eine Beschädigung des internen Speichers zu verhindern, müssen Sie das Gerät beim Transport immer ausschalten.
- Wenn Sie das Gerät per Lkw, Schiff, Flugzeug oder einem anderen Transportsystem versenden, sollten Sie es in dem ursprünglich verwendeten Material verpacken.
- Wenn das Gerät transportiert wird, ohne dass es ordnungsgemäß verpackt und geschützt ist. Seine internen Teile können beschädigt werden.
Achten Sie darauf, dass die Schrauben und Halterungen angebracht werden, um einen sicheren Transport zu gewährleisten.
- Wenn die Laufwerkseinheit vor dem Transport des Geräts nicht entfernt wird, können das Gerät und die Laufwerkseinheit beim Transport beschädigt werden. Sie müssen die Laufwerkseinheit aus diesem Gerät entfernen, bevor Sie es transportieren können.

Pflege des Geräts

Wenn das Gehäuse verschmutzt ist, wischen Sie es mit einem weichen, trockenen Tuch ab.

Verwenden Sie in extremen Fällen ein leicht mit Reinigungsmittel angefeuchtetes Tuch und trocknen Sie das Gehäuse anschließend ab. Verwenden Sie keine Lösungsmittel wie Alkohol oder Verdünner, da diese Entfärbungen oder andere Schäden an der Geräteoberfläche hervorrufen können.

Bei Funktionsproblemen

Wenden Sie sich an Ihren Sony-Kundendienst oder -Vertreter, wenn Probleme mit dem Gerät auftreten.

Verwendungs- und Lagerort

Das Gerät sollte waagrecht und gut belüftet aufbewahrt werden. Folgende Bedingungen sind für die Verwendung und Lagerung des Geräts nicht geeignet:

- Starke Hitze oder Kälte (Betriebstemperatur: 5 °C bis 35 °C)
Beachten Sie, dass im Sommer bzw. in heißem Klima die Temperatur in Fahrzeugen bei geschlossenen Fenstern schnell 50 °C überschreiten kann.
- In feuchter oder staubiger Umgebung
- Einwirkung von Regen
- Starke Erschütterungen
- Nähe zu starken Magnetfeldern
- Nähe von Radio- oder TV-Übertragungsgeräten, die starke elektromagnetische Felder erzeugen.
- Direkte Sonneneinstrahlung oder Nähe zu Heizkörpern für einen längeren Zeitraum

So verhindern Sie elektromagnetische Interferenzen durch tragbare Kommunikationsgeräte

Die Verwendung von Mobiltelefonen und anderen Kommunikationsgeräten in der Nähe dieses Geräts kann zu Fehlfunktionen führen.

Es wird empfohlen, tragbare Kommunikationsgeräte in der Nähe dieses Geräts auszuschalten.

Kondensation

Wenn Sie das Gerät aus einer sehr kalten Umgebung in eine warme bringen oder in einer feuchten Umgebung verwenden, kann an der optischen Komponente Kondensation entstehen.

Wenn dann das Gerät in diesem Zustand verwendet wird, werden Aufnahme und Wiedergabe möglicherweise nicht fehlerlos durchgeführt.

Wenn Sie das Gerät in eine Umgebung bringen oder in einer Umgebung verwenden, in der Kondensation entstehen kann, müssen Sie die Kassette im Voraus einsetzen.

Sicherheitshinweise für Produkte mit eingebauter Festplatte

Dieses Gerät enthält eingebaute Festplattenlaufwerke. Eine Festplatte ist ein Präzisionsgerät. Wenn sie Stößen, Erschütterungen, elektrostatischen Ladungen, hohen Temperaturen oder einer hohen Luftfeuchtigkeit ausgesetzt wird, können darauf enthaltene Daten beschädigt werden. Beachten Sie beim Installieren und Verwenden des Geräts genau die folgenden Sicherheitshinweise.

Vor Stößen und Erschütterungen schützen

Wenn die Festplatte Stößen oder Erschütterungen ausgesetzt wird, können die Festplatte selbst und Daten auf der Festplatte beschädigt werden.

- Verwenden Sie beim Transportieren des Geräts das angegebene Verpackungsmaterial. Verwenden Sie beim Transportieren auf einem Wagen oder ähnlichen Gerät einen Gerätetyp, der keine starken Vibrationen überträgt. Starke Erschütterungen und Vibrationen können die Festplatte beschädigen.
- Bewegen Sie das Gerät niemals, wenn es eingeschaltet ist.
- Schützen Sie alle mit Festplatten ausgerüsteten Geräte im Rack vor Stößen.
- Vor dem Entfernen oder Einschieben des Geräts in ein Rack müssen Sie alle anderen mit Festplatten ausgerüsteten Geräte im Rack ebenfalls ausschalten.
- Stellen Sie das Gerät auf eine waagrechte und stabile Oberfläche.
- Stellen Sie das Gerät nicht in der Nähe möglicher Vibrationsquellen auf.

Nicht elektrostatischen Ladungen aussetzen

Entfernen Sie alle Plastikteile, die elektrostatische Ladungen erzeugen können (Blasenfolie usw.), aus dem Arbeitsbereich. Achten Sie beim Handhaben der Festplatte außerdem darauf, dass Sie einen geerdeten antistatischen Gurt tragen.

Nach dem Ausschalten 30 Sekunden warten

Nach dem Ausschalten drehen sich die Magnetplatten in der Festplatte für kurze Zeit weiter und die Köpfe sind in einer ungesicherten Position. In diesem Zeitraum ist das Gerät anfälliger für Erschütterungen und Vibrationen als im Normalbetrieb. In den ersten 30 Sekunden nach dem Ausschalten dürfen Sie das Gerät auch keinen sehr leichten Erschütterungen aussetzen. Anschließend sind die Bewegungen in der Festplatte vollkommen zum Stillstand gekommen und das Gerät kann jetzt manipuliert werden.

Sicherheitshinweise zur Temperatur und Luftfeuchtigkeit

Verwenden und lagern Sie das Gerät nur an Stellen, an denen die angegebenen Temperatur- und Luftfeuchtwerte nicht überschritten werden. Schalten Sie das Gerät nicht ein, wenn das äußere Gehäuse entfernt ist.

Temperaturbereich im Betrieb: 5 °C bis 35 °C

Relative Luftfeuchtigkeit im Betrieb: 20% bis 90%

Luftfeuchtigkeit (keine Kondensation)

Temperaturbereich bei Lagerung: –20 °C bis +60 °C

Wenn die Festplatte defekt zu sein scheint

Auch wenn die Festplatte defekt zu sein scheint, müssen Sie alle obigen Sicherheitshinweise beachten. Damit wird verhindert, dass weitere Beschädigungen auftreten, bis das Problem diagnostiziert und behoben werden kann.

Ersetzung der Festplatte

Informationen zum regelmäßigen Austausch der Festplatte erhalten Sie von Ihrem Händler oder einem Mitarbeiter des Sony-Kundendienstes.

Marken und Lizenzen

Open-Software-Lizenzen

Bei diesem Produkt wird Open-Software auf der Grundlage von Lizenzverträgen zwischen Sony und den Inhabern des Urheberrechts an der Software verwendet. Um die Bedingungen der Inhaber des Urheberrechts an der Software zu erfüllen, muss Sony Sie über den Inhalt dieser Lizenzen informieren.

Den Inhalt dieser Lizenzen finden Sie unter „*Open Source Software License List*“ in der *Software-Hilfe*.

Erwerben lizenzierter GPL/LGPL/ GPL V3-Software

Bei diesem Produkt wird Software verwendet, die unter GPL Version 2 / LGPL Version 2.1 / GPL Version 3 lizenziert ist. Sie haben das Recht, den Quellcode dieser Software zu erwerben, zu ändern und zu verteilen.

Sie können den Quellcode dieser Software von Internetservern von Sony herunterladen. Weitere Informationen zum Herunterladen finden Sie unter der folgenden URL:
<http://oss.sony.net/Products/Linux/common/search.html>

Wir können Anfragen zum Inhalt des Quellcodes nicht beantworten.

Technische Daten

Allgemein

Spannungsversorgung

100 V bis 240 V Wechselspannung,
50 Hz/60 Hz

Leistungsaufnahme

170 W

Betriebstemperatur

5 °C bis 35 °C

Lagertemperatur

–20 °C bis +60 °C

Relative Luftfeuchtigkeit im Betrieb

20% bis 90%

Relative Luftfeuchtigkeit bei Lagerung

Unter 75%

Gewicht

27 kg (ohne Laufwerkseinheiten und
Kassetten)

Abmessungen (B × H × T)

424 × 220 × 830 mm (ohne
herausragende Teile)

Eingang/Ausgang

 (Netzwerk) RJ-45-Modularstecker (1)

1000BASE-T: Standard IEEE 802.3ab

100BASE-Tx: Standard IEEE 802.3u

Interner Speicher

Festplattenlaufwerk

500-GB-Festplattenlaufwerk (2),
(Spiegelkonfiguration (RAID 1))

Zubehör

Installationsanleitung (1)

Bedienungsanleitung (1)

Bogen mit Seriennummer für Dateiverwaltungssoftware
(1)

Optionen

Stromversorgung XDBK-101

Archivkassette für optische Discs

- ODC300R (300 GB, einmal beschreibbar)
- ODC300RE (300 GB, wiederbeschreibbar)
- ODC600R (600 GB, einmal beschreibbar)
- ODC600RE (600 GB, wiederbeschreibbar)
- ODC1200RE (1,2 TB, wiederbeschreibbar)
- ODC1500R (1,5 TB, einmal beschreibbar)

Archivlaufwerkseinheit ODS-D55U für optische Discs

Archivlaufwerkseinheit ODS-D77U für optische Discs

Hinweise

- Führen Sie immer eine Probeaufnahme aus, und bestätigen Sie, dass die Aufnahme erfolgreich war. SONY KANN KEINE HAFTUNG FÜR SCHÄDEN JEDER ART, EINSCHLIESSLICH ABER NICHT BEGRENZT AUF KOMPENSATION ODER ERSTATTUNG, AUFGRUND VON FEHLFUNKTION DIESES GERÄTS ODER SEINER DATENTRÄGER, EXTERNEN SPEICHERSYSTEMEN ODER JEDWELCHEM ANDEREN DATENTRÄGER ODER SPEICHERSYSTEMEN ZUR AUFNAHME VON INHALTEN JEDER ART ÜBERNEHMEN.
- Bestätigen Sie vor dem Gebrauch immer, dass das Gerät richtig arbeitet. SONY KANN KEINE HAFTUNG FÜR SCHÄDEN JEDER ART, EINSCHLIESSLICH ABER NICHT BEGRENZT AUF KOMPENSATION ODER ERSTATTUNG, AUFGRUND VON VERLUST VON AKTUELLEN ODER ERWARTETEN PROFITEN DURCH FEHLFUNKTION DIESES GERÄTS ODER AUS JEDWELCHEM ANDEREN GRUND, ENTWEDER WÄHREND DER GARANTIEFRIST ODER NACH ABLAUF DER GARANTIEFRIST, ÜBERNEHMEN.

Hinweise zur Software

Wenn das Gerät mit einer PC-Verbindung verwendet wird, laden Sie Dateiverwaltungssoftware von der Sony-Website für professionelle Produkte herunter.

Um die Dateiverwaltungssoftware verwenden zu können, müssen Sie sich durch Eingeben der mit dem Gerät gelieferten Seriennummer authentifizieren. Einzelheiten zur Authentifizierung finden Sie im Installationshandbuch der Dateiverwaltungssoftware.

Sony-Website für professionelle Produkte:

USA	http://pro.sony.com
Kanada	http://www.sonybiz.ca
Lateinamerika	http://sonypro-latin.com
Europa	http://www.pro.sony.eu/pro
Naher Osten, Afrika	http://sony-psmea.com
Russland	http://sony.ru/pro/
Brasilien	http://sonypro.com.br
Australien	http://pro.sony.com.au
Neuseeland	http://pro.sony.co.nz
Japan	http://www.sonybsc.com
Asien-Pazifik	http://pro.sony-asia.com
Korea	http://bp.sony.co.kr
China	http://pro.sony.com.cn
Indien	http://pro.sony.co.in

Leggere attentamente questo manuale prima di utilizzare l'unità, e conservarlo per riferimenti futuri.

AVVERTENZA

Per ridurre il rischio di incendi o scosse elettriche, non esporre questo apparato alla pioggia o all'umidità.

Per evitare scosse elettriche, non aprire l'involucro. Per l'assistenza rivolgersi unicamente a personale qualificato.

QUESTO APPARECCHIO DEVE ESSERE COLLEGATO A MASSA.

AVVERTENZA

1. Utilizzare un cavo di alimentazione (a 3 anime)/connettore per l'apparecchio/spina con terminali di messa a terra approvati che siano conformi alle normative sulla sicurezza in vigore in ogni paese, se applicabili.
2. Utilizzare un cavo di alimentazione (a 3 anime)/connettore per l'apparecchio/spina conformi alla rete elettrica (voltaggio, ampere).

In caso di domande relative all'uso del cavo di alimentazione/connettore per l'apparecchio/spina di cui sopra, rivolgersi al personale qualificato.

Per i clienti in Europa, Australia e Nuova Zelanda

AVVERTENZA

Questo è un apparecchio di classe A e come tale, in un ambiente domestico, può causare interferenze radio. È necessario quindi che l'utilizzatore adotti gli accorgimenti adeguati.

Per i clienti in Europa

Questo prodotto è stato fabbricato da o per conto di Sony Corporation, 1-7-1 Konan Minato-ku Tokyo, 108-0075 Giappone. Eventuali richieste in merito alla conformità del prodotto in ambito della legislazione Europea, dovranno essere indirizzate al rappresentante autorizzato, Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Germania. Per qualsiasi informazione relativa al servizio o la garanzia, si prega di fare riferimento agli indirizzi riportati separatamente sui documenti relativi all'assistenza o sui certificati di garanzia.

L'apparecchio non deve essere utilizzato in aree residenziali.



Per i clienti in Europa

Con la presente Sony Corporation dichiara che questo ODS-L10 è conforme ai requisiti essenziali ed alle altre disposizioni pertinenti stabilite dalla direttiva 1999/5/CE. Per ulteriori dettagli, si prega di consultare il seguente URL: <http://www.compliance.sony.de/>

Tabella dei contenuti

Descrizione generale.....	75
Esempio di configurazione del sistema.....	75
Nome e funzione dei componenti	76
Pannello anteriore.....	76
Vassoio I/E	77
Pannello posteriore.....	78
Avvio e arresto.....	79
Avvio.....	79
Arresto.....	79
Inserimento e rimozione delle cartucce	79
Apertura del vassoio I/E.....	79
Inserimento e rimozione di un cartuccia	79
Registrazione nel database	80
Rimozione di una cartuccia in caso di emergenza	80
Configurazione della rete.....	81
Impostazione dell'indirizzo IP	81
Visualizzazione della schermata Web.....	81
Utilizzo dei menu	82
Operazioni di base dei menu	82
Elenco dei menu	83
Messaggi	84
Note importanti sul funzionamento	86
Condensazione	86
Precauzioni per i prodotti con dischi rigidi incorporati	86
Marchi di fabbrica e licenze.....	88
Licenze Open Source Software	88
Come ottenere software protetto da licenze GPL/LGPL/GPL	
V3	88
Specifiche.....	88

Descrizione generale

Il modello ODS-L10 Optical Disc Archive 10Slot Library è un'unità di libreria che può essere dotata di due unità opzionali di archiviazione ottica su dischi (ad esempio il modello ODS-D55U o ODS-D77U) e 10 cartucce di archiviazione ottica. Offre un'ottima soluzione per la scrittura e lettura di dati su più cartucce di archiviazione ottica su dischi, garantendo l'efficienza di archiviazione dei materiali e il recupero dei materiali archiviati (caricando i dati su un server).

Il modello ODS-L10 è dotato di dischi rigidi in configurazione RAID 1¹⁾ (mirroring), mentre l'installazione di un alimentatore XDBK-101 opzionale offre funzionalità di alimentazione ridondante. Dato che il

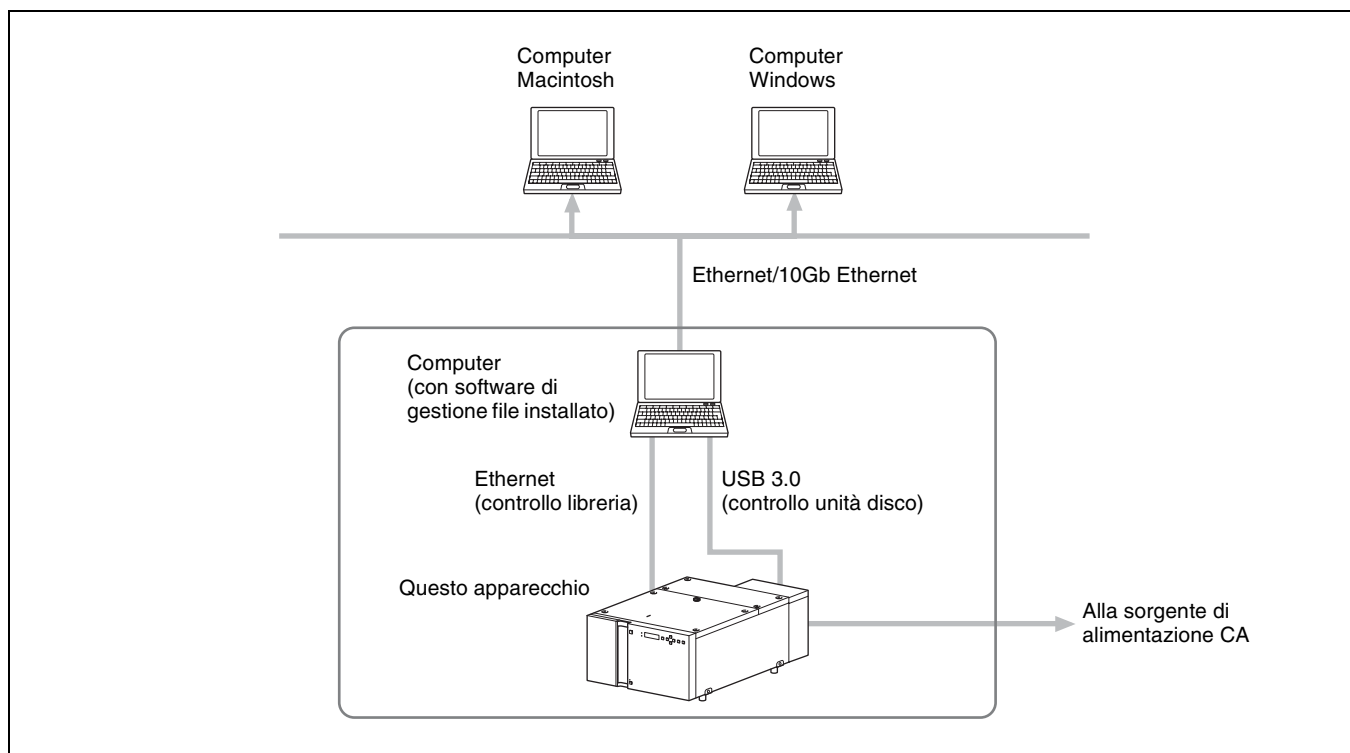
funzionamento continuato può essere garantito anche in caso di guasto a uno dei dischi rigidi, il modello ODS-L10 si rivela utilissimo per i sistemi che richiedono elevata affidabilità.

1) RAID 1 (Redundant Arrays of Inexpensive Disks 1): Una copia esatta dei dati viene scritta su due dischi per migliorare l'affidabilità.

Nel presente manuale, il modello ODS-L10 dotato di un'unità di archiviazione ottica su dischi viene denominato "questo apparecchio", mentre la cartuccia di archiviazione ottica su dischi è denominata "cartuccia".

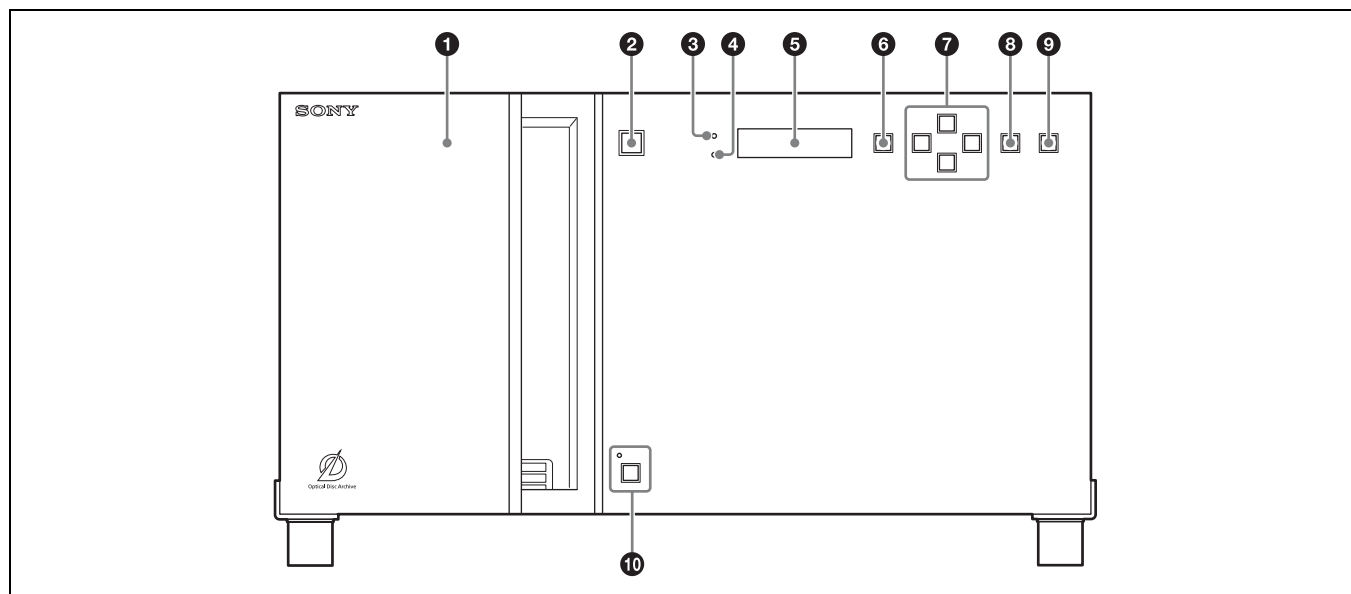
Esempio di configurazione del sistema

I seguenti tipi di sistema possono essere realizzati utilizzando la libreria e gli apparecchi collegati.



Nome e funzione dei componenti

Pannello anteriore



❶ Sportello vassoio I/E

❷ Pulsante RELEASE

Rilascia il blocco del vassoio I/E. Premendo questo pulsante, si arrestano gli eventuali processi interni in corso e si rilascia il blocco.

L'indicatore del pulsante è illuminato quando il blocco è rilasciato ed è spento quando il vassoio I/E è bloccato.

Il vassoio I/E viene bloccato automaticamente se non viene aperto entro 10 secondi dal rilascio del blocco.

❸ Indicatore ALARM

Lampeggia in caso di errore o avvertimento.

Rosso lampeggiante: Errore

Arancione lampeggiante: Avvertimento

❹ Indicatore ACCESS

Si illumina quando la libreria accede al disco rigido interno.

❺ Display

Visualizza lo stato della libreria, i menu di impostazione e i messaggi.

In condizioni normali, la prima riga visualizza l'ID della libreria mentre la seconda riga visualizza il numero di cartucce inserite negli slot dei vassoi I/E A e B.

```
ID:****  
TRAY A:5 B:3
```

❻ Pulsante MENU

Visualizza il menu sul display.

❼ Pulsanti freccia

Consentono di scorrere i menu sul display e impostare i valori delle opzioni.

❽ Pulsante ENTER

Passa alla pagina successiva oppure conferma i valori immessi nelle voci di menu.

❾ Pulsante ESC

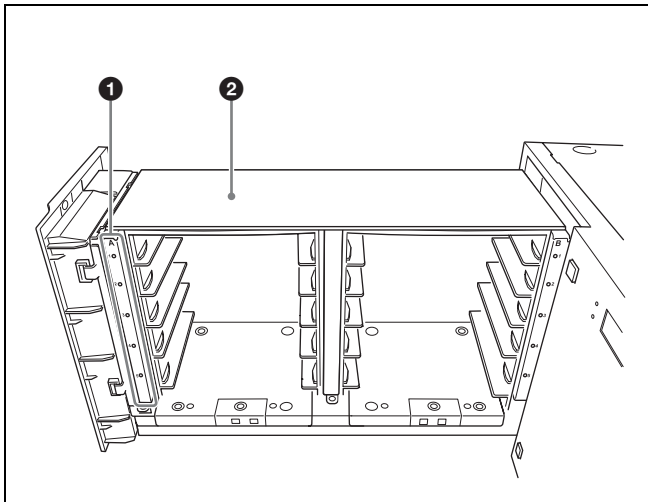
Nelle schermate dei menu passa alla pagina precedente.

❿ Pulsante e indicatore On/Standby

Accende (On) o mette in standby la libreria, se l'interruttore di alimentazione principale sul pannello posteriore si trova in posizione On. Per mettere la libreria in modalità standby, mantenere premuto per almeno due secondi.

L'indicatore è illuminato con luce verde quando la libreria è accesa (On) e con luce rossa quando la libreria si trova in standby. Lampeggia con luce verde durante lo spegnimento.

Vassoio I/E



❶ LED

Questi LED indicano lo stato degli slot (numerati da 1 a 5 a partire dall'alto) dei vassoi I/E A e B. Il funzionamento di questi LED può essere configurato tramite il menu Web per facilitare l'identificazione mediante luce fissa o lampeggiante dello stato degli slot corrispondenti.

❷ Vassoio I/E A e vassoio I/E B

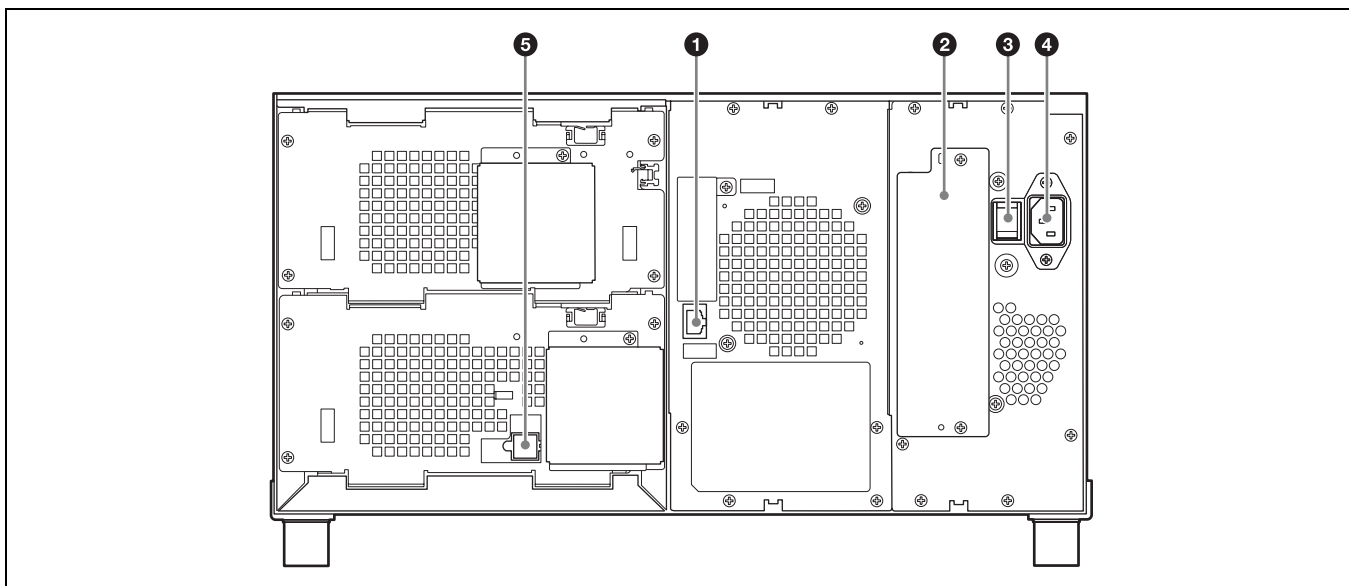
I vassoi I/E A e B possono alloggiare fino a 5 cartucce ciascuno.

Gli slot di ciascun vassoio I/E sono numerati da 1 a 5 a partire dall'alto verso il basso.

Pannello posteriore

La seguente figura mostra il modello ODS-L10 quando è installata un'unità di archiviazione ottica opzionale ODS-D55U nell'alloggiamento inferiore. L'aspetto del pannello posteriore dell'apparecchio è diverso quando è

installata un'unità di archiviazione opzionale ODS-D77U. Per ulteriori informazioni, fare riferimento al manuale di installazione.



❶ Connettore di rete

Collegare un cavo di rete per consentire il comando di questo apparecchio mediante la schermata Web del software di gestione file installato su un computer.

ATTENZIONE

- Per ragioni di sicurezza, non collegare il connettore per il cablaggio del dispositivo periferico che potrebbe avere una tensione eccessiva in questa porta. Seguire le istruzioni per questa porta.
- Quando si collega il cavo di rete dell'apparecchio al dispositivo periferico, utilizzare un cavo di tipo protetto per prevenire il malfunzionamento per rumore.

❷ Slot per unità di alimentazione ridondante

È possibile installare un'unità di alimentazione XDBK-101 opzionale per fornire funzionalità di alimentazione ridondante. Questo consente il funzionamento ininterrotto dell'apparecchio anche in caso di guasto dell'alimentazione principale, nei sistemi che richiedono elevata affidabilità.

Per maggiori dettagli su come aggiungere o sostituire un'unità di alimentazione, rivolgersi al proprio rappresentante Sony.

❸ Interruttore di alimentazione principale

Accende (ON) e spegne (OFF) l'alimentazione principale dell'apparecchio. Durante il funzionamento normale, questo interruttore viene lasciato in posizione On e la libreria passa dalla modalità di funzionamento normale

alla modalità standby premendo il pulsante On/Standby sul pannello anteriore.

Nota

Passare sempre alla modalità standby premendo il pulsante On/Standby sul pannello anteriore prima di spegnere l'interruttore di alimentazione principale.

❹ Connettore AC IN

Consente il collegamento a una presa di corrente tramite il cavo di alimentazione fornito.

❺ Connettore USB (SuperSpeed USB (USB 3.0))

Consente il collegamento dell'unità dischi (opzionale) installata in questo apparecchio a un computer mediante un cavo USB.

Avvio e arresto

Nota

Chiudere sempre il vassoio I/E prima di avviare o arrestare la libreria. La libreria non può essere avviata o arrestata mentre il vassoio I/E è aperto.

Avvio

- 1 Controllare che il cavo di alimentazione sia correttamente connesso, quindi accendere l'interruttore di alimentazione principale sul retro della libreria.
- 2 Premere il pulsante On/Standby sul pannello anteriore.
Quando il pulsante è premuto, l'indicatore On/Standby è illuminato con luce verde.
Quando il testo visualizzato sul display cessa di lampeggiare, la procedura di inizializzazione è terminata e la libreria sarà pronta per l'uso.

Arresto

- 1 Premere il pulsante On/Standby per almeno due secondi.
- 2 Sullo display viene visualizzato un messaggio di conferma dello spegnimento. Servendosi dei pulsanti freccia, selezionare [Y], quindi premere il pulsante [ENTER].
- 3 Attendere fino a quando l'indicatore del pulsante On/Standby cessa di lampeggiare con luce verde e rimane acceso con luce rossa, quindi spegnere l'interruttore principale sul pannello posteriore.

Inserimento e rimozione delle cartucce

Apertura del vassoio I/E

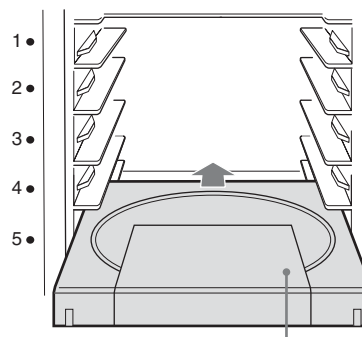
Premere il pulsante RELEASE sul pannello anteriore per rilasciare il blocco del vassoio I/E. Quando è stato premuto il pulsante RELEASE, l'indicatore lampeggia e si avvia la procedura di sblocco. Al termine della procedura di sblocco, l'indicatore rimane illuminato con luce fissa.

Nota

Attendere fino a quando l'indicatore del pulsante rimane illuminato con luce fissa prima di aprire il vassoio I/E.

Inserimento e rimozione di un cartuccia

Inserire la cartuccia in uno slot e spingerla completamente fino all'arresto.



La superficie di applicazione dell'etichetta è rivolta verso l'alto.

Per la rimozione, estrarre la cartuccia mantenendola orizzontale.

Chiusura del vassoio I/E

Spingere lentamente il vassoio I/E completamente fino all'arresto e controllare che l'indicatore del pulsante RELEASE si spenga.

Note

- Se il vassoio I/E non è completamente chiuso se l'indicatore del pulsante RELEASE rimane illuminato.
- Se il vassoio I/E rimane aperto per oltre tre minuti, l'apparecchio emette un segnale acustico di avvertimento.

Registrazione nel database

Dopo aver inserito una cartuccia e aver chiuso il vassoio I/E, le informazioni su ciascuna cartuccia sono automaticamente registrate nel database della libreria. Se sono state inserite più cartucce, la registrazione potrebbe richiedere un certo tempo.

Dopo la registrazione delle cartucce nel database, sarà possibile accedere ad esse mediante l'applicazione di livello superiore.

Rimozione di una cartuccia in caso di emergenza

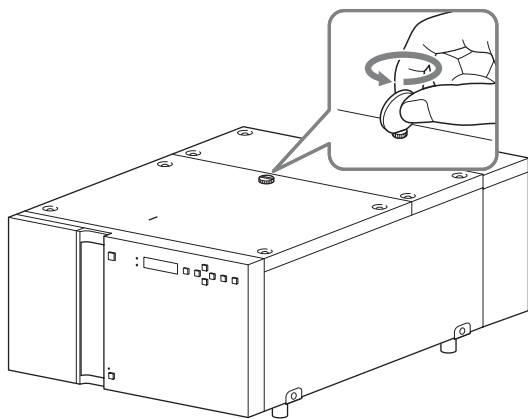
In caso di guasto dell'alimentazione della libreria, servirsi della seguente procedura per rimuovere una cartuccia.

- 1 Verificare che l'alimentazione sia effettivamente spenta.

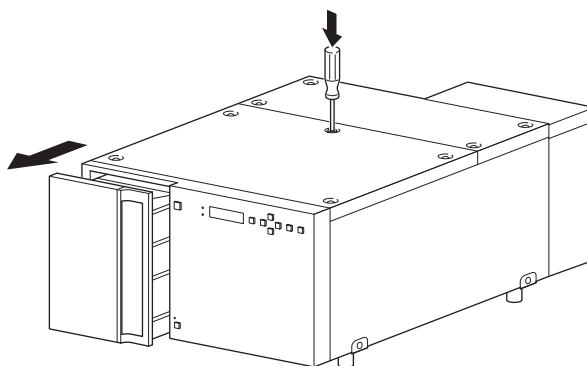
Nota

Se la seguente procedura viene eseguita mentre l'alimentazione è accesa, il meccanismo di trasporto della cartuccia potrebbe danneggiarsi.

- 2 Rimuovere la vite dal coperchio superiore della libreria servendosi di una moneta o di un oggetto analogo.



- 3 Inserire un cacciavite o un altro oggetto appuntito nel foro della vite e spingere verso il basso la leva di rilascio. Quindi estrarre il vassoio I/E.



- 4 Rimuovere la cartuccia.
- 5 Rimontare la vite rimossa dal coperchio superiore.

Configurazione della rete

Per consentire il comando di questo apparecchio con il software di gestione file, collegarlo a un computer su cui è installato il software di gestione file mediante un cavo di rete.

Dopo aver connesso la rete, impostare l'indirizzo IP della libreria.

Impostazione dell'indirizzo IP

È necessario impostare correttamente indirizzo IP, subnet mask e gateway predefinito. Di seguito di indicano i valori predefiniti:

Indirizzo IP: 192.168.1.10

Subnet mask: 255.255.255.0

Gateway predefinito: 0.0.0.0

Per configurare le impostazioni di rete, servirsi del display e dei pulsanti sul pannello anteriore della libreria.

1 Premere il pulsante MENU.

Sul display viene visualizzato il menu.

IP SETTING

2 Scorrere le voci di menu servendosi dei pulsanti $\uparrow\downarrow$ per selezionare IP SETTING, quindi premere il pulsante ENTER.

Viene visualizzata la schermata IP ADDRESS.

IP ADDRESS
192.168.001.010

3 Premere il pulsante ENTER.

La prima cifra dell'indirizzo IP comincia a lampeggiare per indicare che l'indirizzo può essere modificato.

IP ADDRESS
192.168.001.010

4 Immettere l'indirizzo IP.

Passare da una cifra all'altra con i pulsanti $\leftarrow\rightarrow$ e modificarne i valori con i pulsanti $\uparrow\downarrow$.

5 Al termine, premere il pulsante ENTER.

Controllare l'indirizzo inserito.

IP ADDRESS
192.168.001.010

6 Visualizzare la schermata SUBNET MASK servendosi dei pulsanti $\uparrow\downarrow$, quindi premere il pulsante ENTER.

SUBNET MASK
255.255.255.000

7 Immettere la subnet mask nello stesso modo in cui è stato immesso l'indirizzo IP, quindi premere il pulsante ENTER al termine.

8 Visualizzare la schermata DEFAULT GATEWAY servendosi dei pulsanti $\uparrow\downarrow$, quindi premere il pulsante ENTER.

DEFAULT GATEWAY
000.000.000.000

9 Immettere il gateway predefinito, quindi premere il pulsante ENTER al termine.

10 Premere il pulsante MENU o il pulsante ESC due volte per uscire dal menu.

Il nuovo indirizzo IP diventerà attivo solo dopo il riavvio della libreria.

L'indirizzo IP può essere modificato anche mediante la schermata Web.

Per maggiori dettagli su come utilizzare la schermata Web per eseguire modifiche, fare riferimento alla Guida del software ODS-L10.

Visualizzazione della schermata Web

È possibile configurare le varie impostazioni dell'apparecchio anche tramite una schermata Web.

Ambiente operativo consigliato

Browser Web: Microsoft Internet Explorer 8 (Windows), Safari 5.1 (Mac OS)

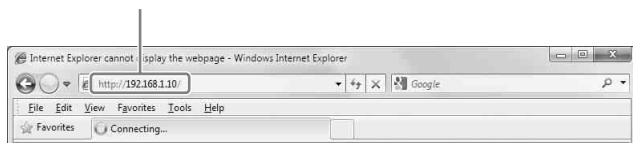
Dimensioni monitor: larghezza minima 1.280 pixel

Nota

Se si utilizza Internet Explorer 8, impostare la modalità di visualizzazione su "IE8 Standard Mode."

Per visualizzare la schermata Web, immettere il seguente URL `http://(indirizzo IP)/` nel browser Web.

Esempio: <http://192.168.1.10/>



Il browser Web apre una connessione con la libreria e viene visualizzata una schermata di conferma. Immettere il seguente nome utente e password.

Utente: admin, Password: ods-110

Dopo l'autenticazione, verrà visualizzato il Setup Menu.

Per maggiori dettagli su come utilizzare la schermata Web, fare riferimento alla Guida del software ODS-L10.

Note

- Per informazioni dettagliate sulle impostazioni di rete necessarie, rivolgersi al proprio amministratore di rete. Alcune impostazioni di server proxy del browser possono impedire il collegamento del PC alla libreria.
- Alla libreria può essere collegato un solo client Web alla volta.
- La schermata Web supporta un massimo di tre connessioni simultanee (sessioni http). Se sono aperte contemporaneamente due o più sessioni, si verificherà un errore se le operazioni di registrazione entrano in conflitto fra di loro. In tal caso, impartire il comando dell'operazione una seconda volta.

Utilizzo dei menu

Il menu visualizzato sul pannello anteriore della libreria consente di impostare varie impostazioni di base per la libreria e visualizzarne lo stato. Utilizzare i pulsanti del pannello anteriore per agire sul menu.

Operazioni di base dei menu

Questa sezione descrive le operazioni di base del menu, utilizzando come esempio l'impostazione del segnale acustico di avviso.

1 Premere il pulsante MENU.

Sul display viene visualizzato il menu.

IP SETTING

2 Scorrere le voci di menu servendosi dei pulsanti $\uparrow/\downarrow$, quindi premere il pulsante ENTER.

Viene visualizzato lo stato corrente della voce selezionata.

BUZZER
ON

3 Premere il pulsante ENTER.

Il cursore comincia a lampeggiare e il display passa alla modalità di modifica.

BUZZER
[ON]

4 Premere i pulsanti $\leftarrow/\rightarrow/\uparrow/\downarrow$ per modificare l'impostazione.

BUZZER
[OFF]

5 Premere il pulsante ENTER per confermare l'impostazione.

Il cursore lampeggiante scompare e l'impostazione è confermata.

BUZZER
OFF

6 Premere il pulsante MENU oppure il pulsante ESC per tornare alla schermata di selezione della voce di menu.

7 Premere nuovamente il pulsante MENU per uscire dal menu.

Elenco dei menu

Menu	Descrizione
IP SETTING	Configura le impostazioni di rete. <i>Per ulteriori dettagli, vedere "Impostazione dell'indirizzo IP" (pagina 81).</i> IP ADDRESS: Imposta l'indirizzo IP. SUBNET MASK: Imposta la Subnet mask DEFAULT GATEWAY: Imposta il gateway predefinito.
BUZZER	Attiva o disattiva il segnale acustico d'avviso.
LCD LIGHT	Seleziona se la retroilluminazione del display deve rimanere sempre accesa oppure se si deve spegnere automaticamente quando non è in corso nessuna operazione. Se impostata su OFF, la retroilluminazione si spegne automaticamente quando non viene premuto nessun pulsante (eccetto il pulsante RELEASE) durante un certo periodo di tempo. Se la retroilluminazione si spegne automaticamente, è sufficiente premere qualsiasi pulsante (eccetto il pulsante RELEASE) per riaccenderla. Raccomandazione: OFF
SILENT MODE	Attiva o disattiva la modalità di funzionamento silenzioso.
SERIAL NUMBER	Visualizza il numero di serie della libreria o delle unità montate. SERIAL NUMBER: Visualizza il numero di serie della libreria.
VERSION	SOFTWARE VERSION: Visualizza il numero di versione del software della libreria.
ERROR STATUS	Visualizza un messaggio o un codice d'errore qualora si verifichi un errore o un avvertimento nella libreria. Scorrere lo schermo servendosi dei pulsanti $\uparrow \downarrow$. <i>Per ulteriori informazioni su come risolvere i messaggi di errore, fare riferimento a "Messaggi" (pagina 84).</i> Qualora venga visualizzato un codice d'errore in formato "xx-xxx", rivolgersi al proprio rappresentante Sony.
HDD FORMAT	Formatta i dischi rigidi incorporati della libreria. Selezionare "Yes" quindi premere il pulsante ENTER per avviare la formattazione.

Menu	Descrizione
SHUTDOWN	Chiude la libreria. Se è in corso un'operazione, viene visualizzato un messaggio di conferma. Selezionare "Yes", quindi premere il pulsante ENTER per chiudere.
ACCOUNT RESET	Ripristina le impostazioni di account ai loro valori predefiniti (Utente: admin, Password: ods-l10). Selezionare "Yes" quindi premere il pulsante ENTER per eseguire il ripristino.

Messaggi

L'indicatore di allarme sul pannello anteriore della libreria lampeggia con luce rossa (errore) o arancio (avvertimento) qualora sia presente un problema con l'hardware della libreria o le impostazioni di configurazione. Selezionare ERROR STATUS nel menu per visualizzare il codice d'errore (Error xx-xxx) o il messaggio d'avvertimento.

I codici di errore sono visualizzati prevalentemente per errori dovuti a guasti hardware. Qualora sia visualizzato un codice d'errore, rivolgersi al proprio rappresentante Sony. Qualora sia visualizzato un messaggio, fare riferimento alle seguenti descrizioni per risolvere il problema. Se il messaggio d'avvertimento persiste, rivolgersi al proprio rappresentante Sony.

Messaggio	Descrizione
FAN1 Warning	La velocità del ventilatore è diminuita. La libreria continuerà a funzionare, ma il suo uso prolungato potrebbe causare l'aumento della temperatura interna della libreria e delle unità, con conseguente possibilità di guasto o persino di incendio. Rivolgersi al proprio rappresentante Sony.
FAN2 Warning	
FAN1 Error	Il ventilatore è fermo. La libreria continuerà a funzionare, ma il suo uso prolungato potrebbe causare l'aumento della temperatura interna della libreria e delle unità, con conseguente possibilità di guasto o persino di incendio. Rivolgersi al proprio rappresentante Sony.
FAN2 Error	
High TEMP!	La temperatura interna della libreria è eccessiva. La libreria continuerà a funzionare, ma il suo uso prolungato potrebbe causare l'ulteriore aumento della temperatura interna della libreria e delle unità, con conseguente possibilità di guasto o persino di incendio. Rivolgersi al proprio rappresentante Sony.
Low TEMP!	La temperatura interna della libreria è troppo bassa. La libreria continuerà a funzionare, ma i dischi rigidi potrebbero funzionare in maniera incorretta, con difficoltà di lettura e scrittura.
PowerUnit(A) Err	È stato rilevato un errore \$\$\$ nell'alimentazione. Rivolgersi al proprio rappresentante Sony.
PowerUnit(B) Err	
DC Power Warning	Si è verificato un errore nella tensione CC della libreria. La libreria continuerà a funzionare, ma il suo uso prolungato potrebbe causare l'aumento della temperatura interna della libreria e delle unità, con conseguente possibilità di guasto o persino di incendio. Rivolgersi al proprio rappresentante Sony.
ILL. SETUP!	Si è verificato un errore durante la configurazione di un valore nel menu di impostazione. Ripetere la configurazione della voce. Se lo stesso errore persiste, rivolgersi al proprio rappresentante Sony.
JM Com Error	Riavviare la libreria. Se lo stesso errore persiste, rivolgersi al proprio rappresentante Sony.
CC Com Error	
SV Com Error	
HDD1 Warning	Si è verificato un errore di lettura/scrittura sul disco rigido ripetutamente. È necessario sostituire il disco rigido. Rivolgersi al proprio rappresentante Sony.
HDD2 Warning	
HDD1 Fail	Si è verificato un errore sul disco rigido e non è possibile accedere al disco. È necessario sostituire il disco rigido. Rivolgersi al proprio rappresentante Sony.
HDD2 Fail	
Rebuilding xx%	È in corso la ricostruzione dei dati. Non spegnere l'alimentazione fino al completamento della ricostruzione.
Update Err!	L'aggiornamento del software non è riuscito correttamente. Reinstallare l'aggiornamento. Se lo stesso errore persiste, rivolgersi al proprio rappresentante Sony.
Turn off/on PWR!	Riavviare la libreria per attivare le nuove impostazioni.
DIPSW Error	Non è stato possibile leggere le impostazioni dei DIP switch. Riavviare la libreria. Se lo stesso errore persiste, rivolgersi al proprio rappresentante Sony.

Messaggio	Descrizione
RCX Pos Error	Riavviare la libreria. Se lo stesso errore persiste, rivolgersi al proprio rappresentante Sony.
RCY Pos Error	
RCZ Pos Error	
PSU detect	È installata un'unità di alimentazione ridondante. Controllare le impostazioni nella schermata del menu di impostazione.
Unknown USB	È stato rilevato un dispositivo USB non supportato.
LCD Com Error	Impossibile comunicare con il pannello LCD.
Door is Opening	Lo sportello del vassoio I/E è aperto.
NO SYSINFO	Impossibile trovare il file di configurazione di sistema. Riconfigurare il numero di serie mediante il menu di impostazione.
NO ODS CONF	Impossibile trovare il file di configurazione della libreria. Riconfigurare la libreria mediante il menu di impostazione.
NO NETWORK CFG	Impossibile trovare il file di configurazione della rete. Riconfigurare le impostazioni di rete.
Exchg batt!	È necessario sostituire la batteria. Rivolgersi al proprio rappresentante di assistenza tecnica o commerciale Sony.

Note importanti sul funzionamento

Utilizzo e conservazione

Proteggere l'apparecchio da urti eccessivi

Potrebbero danneggiarsi i meccanismi interni o il corpo stesso dell'apparecchio. Gli urti potrebbero anche danneggiare i dispositivi di memorizzazione interni.

Non coprire l'apparecchio durante il funzionamento

Se l'apparecchio viene coperto durante l'utilizzo, le temperature interne potrebbero raggiungere valori elevati, causando guasti e malfunzionamenti.

Dopo l'uso

Spegnere l'apparecchio mediante il pulsante On/Standby. Se si prevede di non utilizzare l'apparecchio per un lungo periodo di tempo, spegnere anche l'interruttore POWER situato sul pannello posteriore.

Spedizione

- Per evitare danni ai dispositivi di memoria interni, spegnere sempre l'apparecchio.
- In caso di spedizione o trasporto mediante camion, nave aereo o altro mezzo, imballare sempre l'apparecchio nel suo imballo di spedizione.
- Se l'apparecchio viene spedito senza essere adeguatamente imballato e protetto si potrebbero danneggiare i suoi componenti interni. Facendo riferimento al manuale di installazione fornito, ripristinare tutte le viti e i blocchi per garantire la sicurezza del trasporto.
- Se l'apparecchio dovesse essere trasportato senza aver prima rimosso l'unità dischi, è possibile che l'apparecchio e l'unità dischi possano danneggiarsi. Rimuovere sempre l'unità dischi dall'apparecchio prima di procedere con il trasporto.

Manutenzione dell'apparecchio

Se sporco, pulire l'apparecchio con un panno morbido e asciutto.

In casi estremi, utilizzare un panno inumidito in una soluzione detergente non aggressiva e asciugare quindi con un panno asciutto. Non utilizzare mai solventi organici, ad esempio alcool o diluenti, per evitare di scolorire o danneggiare la finitura superficiale dell'apparecchio.

In caso di problemi di funzionamento

In caso di problemi, rivolgersi al proprio rappresentante o assistenza tecnica Sony.

Luoghi in cui utilizzare o conservare l'apparecchio

Conservare su una superficie piana e in un ambiente ben ventilato. Evitare di utilizzare o conservare l'apparecchio nei luoghi indicati di seguito:

- In presenza di temperature eccessivamente alte o basse (campo di temperatura di funzionamento: Da 5 °C a 35 °C)
Si osservi che in estate o in climi caldi, la temperatura all'interno di un veicolo con i finestrini chiusi può facilmente raggiungere e superare i 50 °C.
- In luoghi umidi o polverosi.
- In luoghi in cui l'apparecchio potrebbe essere esposto alla pioggia.
- In luoghi soggetti a forti vibrazioni.
- In prossimità di forti campi magnetici.
- In prossimità di trasmettitori radio o televisivi che producono forti campi elettromagnetici.
- In esposizione alla luce solare diretta o in prossimità di fonti di riscaldamento per periodi prolungati.

Per evitare interferenze elettromagnetiche causate da dispositivi di comunicazione portatili

L'utilizzo di telefoni portatili e di altri dispositivi di comunicazione in prossimità di questo apparecchio potrebbe dar luogo a malfunzionamenti.

Si consiglia di spegnere eventuali dispositivi di comunicazione portatili nelle vicinanze di questo apparecchio.

Condensazione

Se si sposta l'apparecchio da un ambiente molto freddo a uno caldo, oppure si utilizza in un ambiente umido, è possibile che sul dispositivo di lettura ottico si formi condensazione.

Se l'apparecchio viene quindi utilizzato in queste condizioni, la registrazione e la riproduzione non potranno essere eseguite correttamente.

Se si sposta o utilizza l'apparecchio in un ambiente in cui si può formare condensazione, assicurarsi di inserire sempre la cartuccia in anticipo.

Precauzioni per i prodotti con dischi rigidi incorporati

Questo apparecchio è dotato di dischi rigidi interni (HDD). I dischi rigidi sono dispositivi di precisione. Se soggetto a §§ urti, vibrazioni, elettricità statica, temperature o umidità elevate, potrà verificarsi la perdita di dati. Per l'installazione e l'utilizzo dell'apparecchio, osservare rigorosamente le precauzioni indicate di seguito.

Proteggere da urti e vibrazioni

Se soggetto a urti o vibrazioni, il disco rigido potrebbe danneggiarsi, causando la perdita dei dati che contiene.

- Utilizzare unicamente i materiali di imballaggio specificati per il trasporto dell'apparecchio. Per il trasporto su carrello o attrezzatura analoga, utilizzare unicamente tipi che non trasmettono vibrazioni eccessive. L'esposizione a urti e vibrazioni eccessive può danneggiare il disco rigido.
- Non spostare mai l'apparecchio mentre è acceso.
- Proteggere dagli urti tutti i dispositivi nel rack dotati di dischi rigidi.
- Prima di inserire o rimuovere l'apparecchio da un rack, assicurarsi che tutti gli altri dispositivi dotati di dischi rigidi presenti nel rack siano spenti.
- Collocare su una superficie piana e stabile.
- Non collocare l'apparecchio nelle vicinanze di altri dispositivi o apparecchiature che possano dar luogo a vibrazioni.

Non esporre a elettricità statica.

Rimuovere tutti gli oggetti in plastica che possano produrre elettricità statica dal luogo di lavoro (es. plastica a bolle). Durante la manipolazione del disco rigido, utilizzare sempre un bracciale antistatico collegato a terra.

Attendere 30 secondi dopo aver spento l'unità.

Per un breve periodo dopo lo spegnimento dell'unità, i dischi rigidi interni continueranno a ruotare e le loro testine si troveranno in una posizione non protetta. Durante questo periodo l'apparecchio è più suscettibile agli urti e alle vibrazioni che durante il funzionamento normale. Per un periodo di almeno 30 secondi dopo lo spegnimento dell'apparecchio, evitare di assoggettarlo ad urti, anche se leggeri. Dopo questo periodo, il disco rigido sarà completamente fermo e l'apparecchio può essere spostato liberamente.

Precauzioni relative a temperatura e umidità

Utilizzare e immagazzinare l'apparecchio solo in ambienti in cui la temperatura e l'umidità non eccedano i valori minimi e massimi permessi. Non accendere mai l'apparecchio dopo averne rimosso i coperchi esterni.

Temperatura di funzionamento: Da 5 °C a 35 °C

Umidità di funzionamento: Da 20% a 90% umidità relativa (senza condensazione)

Temperatura di immagazzinaggio: Da -20 °C a +60 °C

Malfunzionamento del disco rigido

Si raccomanda di osservare tutte le precauzioni sopra indicate anche in caso di apparente malfunzionamento del disco rigido. Così facendo si potranno evitare ulteriori danni all'unità fino all'identificazione e alla correzione del problema.

Sostituzione del disco rigido

Per la sostituzione periodica del disco rigido rivolgersi al servizio di assistenza o al rappresentante commerciale Sony.

Marchi di fabbrica e licenze

Licenze Open Source Software

In conformità agli opportuni accordi di licenza fra Sony e i detentori dei diritti di copyright del software, questo prodotto utilizza Open Source Software.

Per soddisfare i requisiti stabiliti dai detentori dei diritti di copyright sul software, Sony è tenuta a informare gli utenti del contenuto di dette licenze.

Per maggiori informazioni sul contenuto di dette licenze, fare riferimento alla sezione *“Elenco delle licenze per il software Open Source”* nella Guida del software.

Come ottenere software protetto da licenze GPL/LGPL/GPL V3

Questo prodotto utilizza software concesso in uso ai sensi delle licenze GPL versione 2 / LGPL versione 2.1 / GPL versione 3. L'utente ha il diritto di ottenere, modificare e distribuire il codice sorgente di questo software.

Il codice sorgente può essere scaricato dai server Internet di Sony. Per ulteriori informazioni su come scaricarlo, visitare il sito:

<http://oss.sony.net/Products/Linux/common/search.html>

Non possiamo rispondere a eventuali domande relative al contenuto del codice sorgente.

Specifiche

Generali

Alimentazione Da 100 V a 240 Vca, 50 Hz/60 Hz

Potenza assorbita

170 W

Temperatura di utilizzo

Da 5 °C a 35 °C

Temperatura di immagazzinamento

Da -20 °C a +60 °C

Umidità di funzionamento

Da 20% a 90% (umidità relativa)

Umidità di immagazzinamento

inferiore al 75%

Peso

27 kg (senza unità disco e cartucce)

Dimensioni (L × A × P)

424 × 220 × 830 mm (senza sporgenze)

Ingressi/uscite

 (Rete)

Jack modulare tipo RJ-45 (1)

1000BASE-T: Standard IEEE 802.3ab

100BASE-Tx: Standard IEEE 802.3u

Memoria interna

Unità disco rigido

500 GB HDD (2), (configurazione in mirror (RAID 1))

Accessori

Manuale di installazione (1)

Manuale per l'uso (1)

Scheda con numero di serie per software di gestione file (1)

Opzioni

Alimentatore XDBK-101

Cartuccia di archiviazione ottica su dischi

- ODC300R (300 GB, tipo write-once)
- ODC300RE (300 GB, tipo riscrivibile)
- ODC600R (600 GB, tipo write-once)
- ODC600RE (600 GB, tipo riscrivibile)
- ODC1200RE (1.2 TB, tipo riscrivibile)
- ODC1500R (1.5 TB, tipo write-once)

Unità di archiviazione ottica su dischi ODS-D55U

Unità di archiviazione ottica su dischi ODS-D77U

Il design e le specifiche tecniche sono soggette a cambiamenti senza preavviso.

Note

- Eseguire sempre una registrazione di prova, e verificare che il contenuto sia stato registrato correttamente.
LA SONY NON SARÀ RESPONSABILE DI DANNI DI QUALSIASI TIPO, COMPRESI, MA SENZA LIMITAZIONE A, RISARCIMENTI O RIMBORSI A CAUSA DI GUASTI DI QUESTO APPARECCHIO O DEI SUOI SUPPORTI DI REGISTRAZIONE, SISTEMI DI MEMORIZZAZIONE ESTERNA O QUALSIASI ALTRO SUPPORTO O SISTEMA DI MEMORIZZAZIONE PER REGISTRARE CONTENUTI DI QUALSIASI TIPO.
- Verificare sempre che l'apparecchio stia funzionando correttamente prima di usarlo. LA SONY NON SARÀ RESPONSABILE DI DANNI DI QUALSIASI TIPO, COMPRESI, MA SENZA LIMITAZIONE A, RISARCIMENTI O RIMBORSI A CAUSA DELLA PERDITA DI PROFITTI ATTUALI O PREVISTI DOVUTA A GUASTI DI QUESTO APPARECCHIO, SIA DURANTE IL PERIODO DI VALIDITÀ DELLA GARANZIA SIA DOPO LA SCADENZA DELLA GARANZIA, O PER QUALUNQUE ALTRA RAGIONE.

Note sul software

Quando l'unità viene utilizzata in collegamento con un PC, scaricare il software di gestione file dal sito web per i prodotti business di Sony.

Per poter utilizzare il software di gestione di file, è necessario eseguire l'autenticazione immettendo il numero di serie fornito con l'unità. Per ulteriori informazioni sull'autenticazione, consultare la guida di installazione del software di gestione file.

Sito web per i prodotti business di Sony:

Stati Uniti	http://pro.sony.com
Canada	http://www.sonybiz.ca
America Latina	http://sonypro-latin.com
Europa	http://www.pro.sony.eu/pro
Medio oriente, Africa	http://sony-psmea.com
Russia	http://sony.ru/pro/
Brasile	http://sonypro.com.br
Australia	http://pro.sony.com.au
Nuova Zelanda	http://pro.sony.co.nz
Giappone	http://www.sonybsc.com
Asia e Pacifico	http://pro.sony-asia.com
Corea	http://bp.sony.co.kr
Cina	http://pro.sony.com.cn
India	http://pro.sony.co.in

Software Sony Creative, pagina di download del software:

[http://www.sonycreativesoftware.com/download/
software_for_sony_equipment](http://www.sonycreativesoftware.com/download/software_for_sony_equipment)

Antes de poner en funcionamiento la unidad, lea detenidamente este manual y consérvelo para referencias futuras.

ADVERTENCIA

Para reducir el riesgo de electrocución, no exponga este aparato a la lluvia ni a la humedad.

Para evitar descargas eléctricas, no abra el aparato. Solicite asistencia técnica únicamente a personal especializado.

ESTE APARATO DEBE CONECTARSE A TIERRA.

ADVERTENCIA

1. Utilice un cable de alimentación (cable de alimentación de 3 hilos)/conector/enchufe del aparato recomendado con toma de tierra y que cumpla con la normativa de seguridad de cada país, si procede.
2. Utilice un cable de alimentación (cable de alimentación de 3 hilos)/conector/enchufe del aparato que cumpla con los valores nominales correspondientes en cuanto a tensión e intensidad.

Si tiene alguna duda sobre el uso del cable de alimentación/conector/enchufe del aparato, consulte a un técnico de servicio cualificado.

Para los clientes de Europa, Australia y Nueva Zelanda

ADVERTENCIA

Éste es un producto de clase A. En un ambiente doméstico, este producto puede causar interferencias radioeléctricas, en cuyo caso el usuario puede tener que tomar las medidas adecuadas.

Para los clientes de Europa

Este producto ha sido fabricado por, o en nombre de Sony Corporation, 1-7-1 Konan Minato-ku Tokyo, 108-0075 Japón. Las consultas relacionadas con la conformidad del producto basadas en la legislación de la Unión Europea deben dirigirse al representante autorizado, Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Alemania. Para cualquier asunto relacionado con el servicio o la garantía, por favor diríjase a la dirección indicada en los documentos de servicio o garantía adjuntados con el producto.

Este dispositivo no debe utilizarse en zonas residenciales.



Para los clientes de Europa

Por medio de la presente Sony Corporation declara que el ODS-L10 cumple con los requisitos esenciales y cualesquiera otras disposiciones aplicables o exigibles de la Directiva 1999/5/CE.

Para mayor información, por favor consulte el siguiente URL: <http://www.compliance.sony.de/>

Tabla de contenidos

Introducción.....	92
Ejemplo de configuración del sistema.....	92
Nombre y función de las piezas.....	93
Panel frontal	93
Bandeja I/E	94
Panel trasero	95
Inicio y detención	96
Inicio.....	96
Detención.....	96
Inserción y extracción de cartuchos	96
Abra la bandeja I/E.....	96
Inserción y extracción de un cartucho	96
Registro en la base de datos.....	97
Extracción de un cartucho en caso de emergencia	97
Configuración de la red	98
Configuración de la dirección IP	98
Visualización de la pantalla web	98
Utilización del menú.....	99
Utilización básica del menú.....	99
Lista de menús	100
Mensajes	101
Notas importantes sobre el funcionamiento	103
Condensación	103
Precauciones para los productos con discos duros integrados	103
Marcas comerciales y licencias	104
Licencias de software libre.....	104
Obtención de software con licencias GPL/LGPL/GPL V3.....	104
Especificaciones	105

ES

Introducción

La biblioteca de archivo en disco óptico 10Slot ODS-L10 es un dispositivo que se puede equipar con hasta dos unidades de disco opcionales (como la ODS-D55U o ODS-D77U) y hasta 10 cartuchos de archivo en disco óptico. Ofrece un medio efectivo para leer y escribir datos desde y hacia varios cartuchos de archivo en disco óptico, lo que asegura la efectividad para archivar datos y recuperar los datos archivados (mediante la carga de los datos a un servidor). La ODS-L10 está equipada con discos duros en una configuración RAID 1¹⁾ (en espejo), y la instalación de un suministro de alimentación XDBK-101 opcional le ofrece la funcionalidad de alimentación redundante. Dado que se

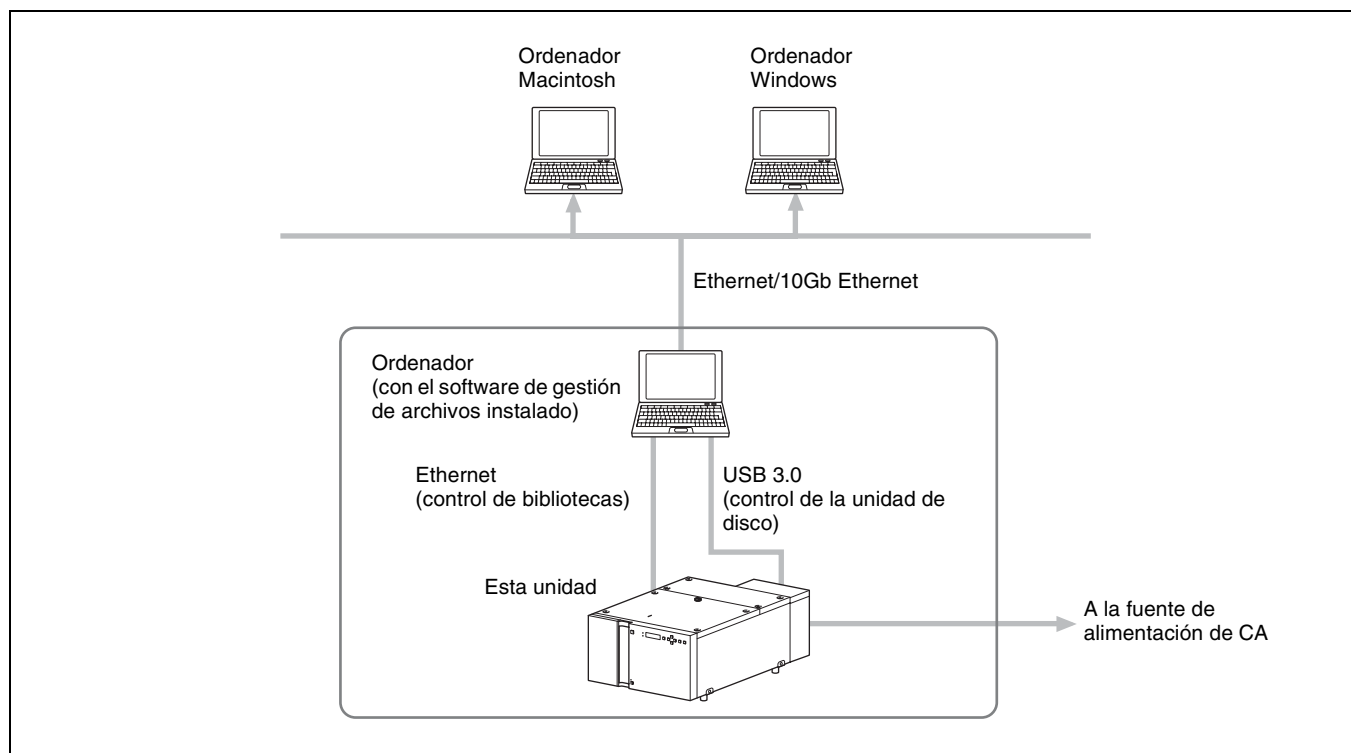
asegura el funcionamiento continuo aunque falle uno de los discos duros o la alimentación, la ODS-L10 es más útil para los sistemas que exigen una alta fiabilidad.

1) RAID 1 (conjunto redundante de discos independientes 1): Una copia exacta de un conjunto de datos se escribe en dos discos para aumentar la fiabilidad.

En este manual, la ODS-L10, cuando está equipada con una unidad de disco, se denomina “esta unidad”, y un cartucho de archivo en disco óptico se denomina “cartucho”.

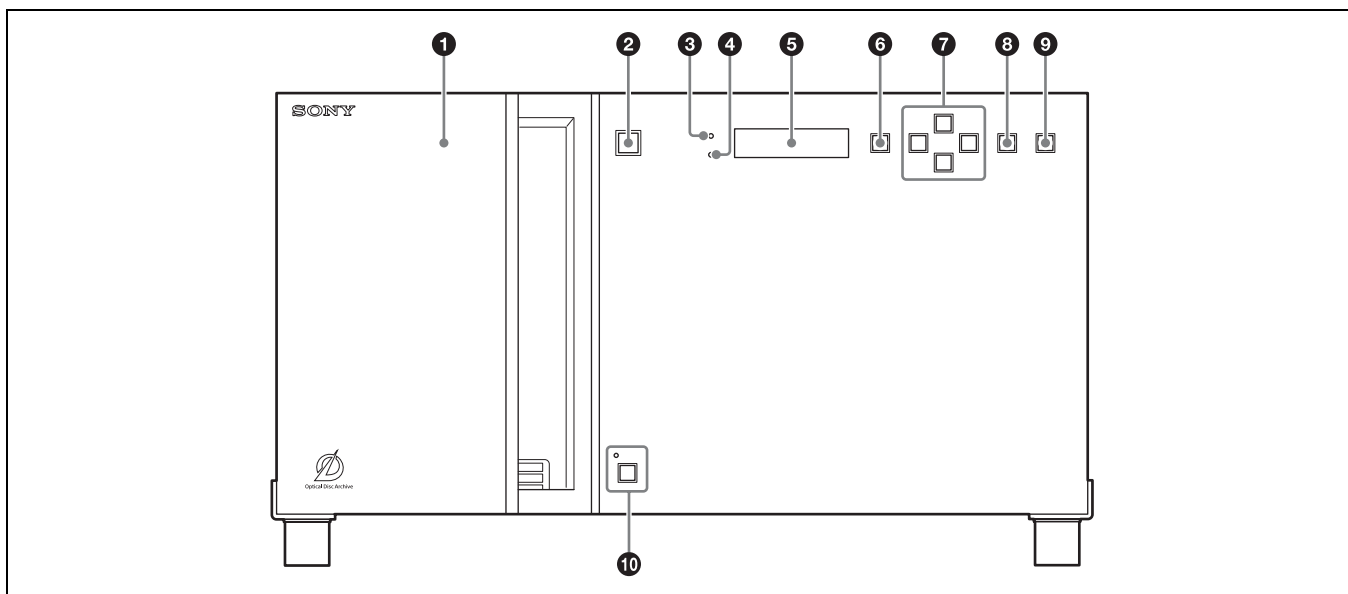
Ejemplo de configuración del sistema

Los siguientes tipos de sistemas se pueden construir con la biblioteca en combinación con equipo relacionado.



Nombre y función de las piezas

Panel frontal



❶ Puerta de la bandeja I/E

❷ Botón RELEASE

Libera el bloqueo de la bandeja I/E. Al pulsar este botón, se detienen los procesos internos en curso y se libera el bloqueo.

El indicador del botón se enciende cuando se libera el bloqueo y está apagado cuando la bandeja I/E está bloqueada.

La bandeja se bloquea automáticamente si no se abre la bandeja I/E dentro de un plazo de 10 segundos a partir de la liberación del bloqueo.

❸ Indicador ALARM

Parpadea cuando se produce un error o una advertencia:

Parpadea en rojo: Error

Parpadea en naranja: Advertencia

❹ Indicador ACCESS

Se enciende cuando la biblioteca está accediendo al disco duro interno.

❺ Pantalla

Muestra el estado de la biblioteca, los menús de configuración y los mensajes.

En condiciones normales, el identificador de la biblioteca aparece en la línea superior y el número de cartuchos insertados en las ranuras en las bandejas I/E A y B aparece en la línea inferior.

ID:****
TRAY A:5 B:3

❻ Botón MENU

Muestra el menú en la pantalla.

❼ Botones de flechas

Desplaza el menú en la pantalla y ajusta los valores de entrada.

❽ Botón ENTER

Pasa a la página siguiente o confirma los valores de entrada al realizar operaciones en los menús.

❾ Botón ESC

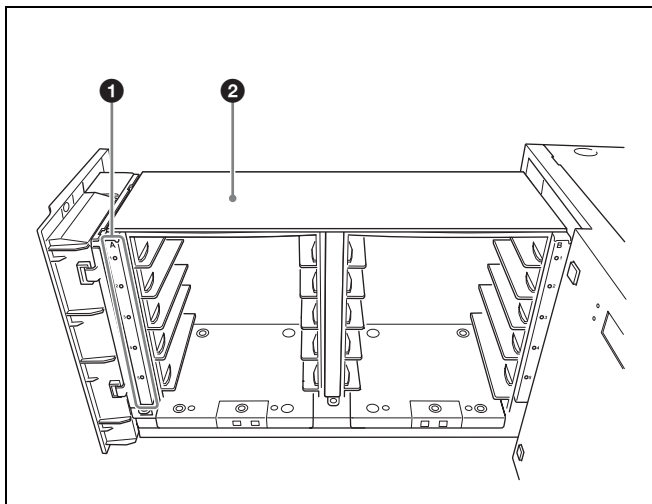
En las pantallas de menú, pasa a la página anterior.

❿ Botón e indicador de encendido/en espera

Alterna la biblioteca entre el estado encendido y en espera si el interruptor de alimentación del panel trasero está encendido. Manténgalo pulsado durante dos segundos o más para cambiar al modo en espera.

El indicador se enciende de color verde cuando está encendido y de color rojo cuando está en espera. Parpadea en color verde cuando se está apagando.

Bandeja I/E



❶ Indicadores LED

Estos LED indican el estado de las ranuras (1 a 5 de arriba a abajo) en las bandejas I/E A y B. Puede realizar ajustes en una pantalla web para que estos LED se enciendan o parpadeen para permitir la fácil identificación del estado de las ranuras correspondientes.

❷ Bandeja I/E A y bandeja I/E B

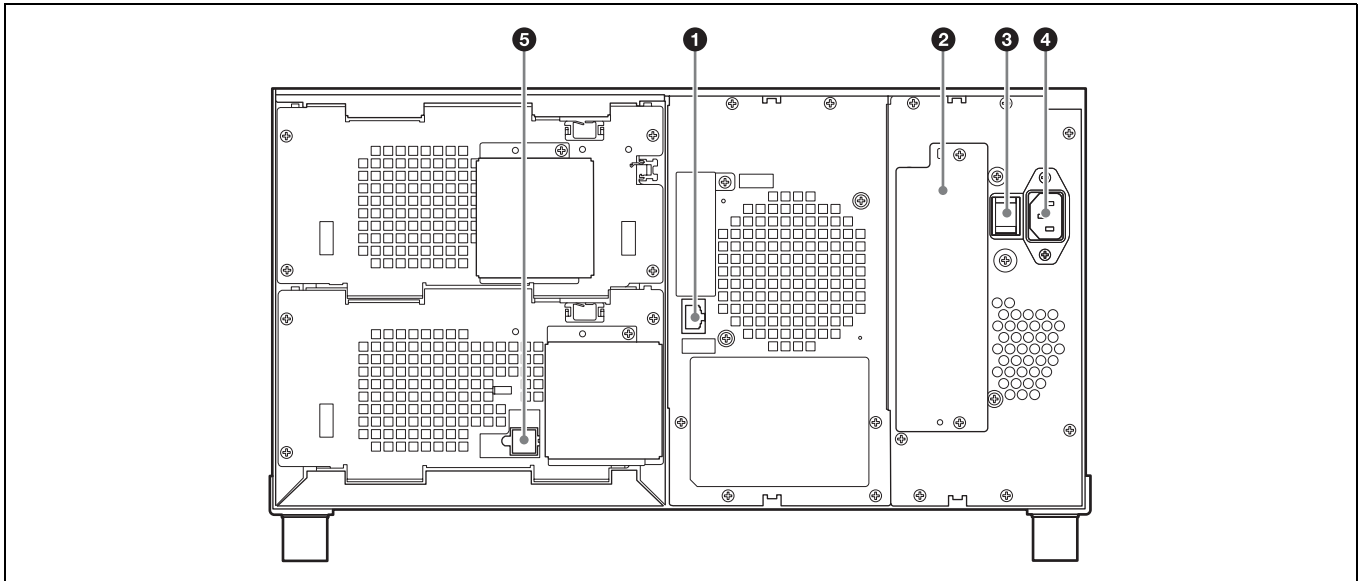
Tanto la bandeja I/E A como la bandeja I/E B pueden almacenar hasta cinco cartuchos.

Las ranuras de cada bandeja I/E están numeradas del 1 al 5 de arriba a abajo.

Panel trasero

La siguiente imagen muestra la ODS-L10 cuando hay una unidad de disco opcional ODS-D55U instalada en la ranura inferior. La apariencia del panel trasero de la unidad

de disco es distinta cuando la unidad de disco opcional ODS-D77U está instalada. Para obtener más información, consulte el Manual de instalación.



1 Conector (red)

Conecte un cable de red para permitir que se pueda utilizar esta unidad desde una pantalla web a través del software de gestión de archivos instalado en un ordenador.

PRECAUCIÓN

- Por razones de seguridad, no enchufe a este puerto un conector de cableado de dispositivo periférico que pueda tener una tensión excesiva. Siga las instrucciones de este puerto de conexión.
- Cuando conecte el cable de red de la unidad al dispositivo periférico, utilice un cable de tipo blindado para evitar un mal funcionamiento causado por interferencias de radiaciones.

2 Ranura de la unidad de alimentación redundante

Se puede instalar una fuente de alimentación XDBK-101 opcional para ofrecer la funcionalidad de alimentación redundante. Esto asegura un funcionamiento continuo en caso de fallo de la unidad principal de alimentación en los sistemas que exigen un alto grado de fiabilidad.

Para obtener más información sobre cómo añadir o intercambiar una fuente de alimentación, consulte con su representante local de Sony.

3 Interruptor de alimentación principal

Enciende y apaga la alimentación principal. Durante el funcionamiento normal, el interruptor se deja en la posición de encendido, y la biblioteca se alterna entre el estado de funcionamiento y en espera con el botón de encendido/en espera del panel frontal.

Nota

Cambie siempre al modo en espera con el botón de encendido/en espera del panel frontal antes de apagar el interruptor de alimentación.

4 Conector de entrada de CA

Se conecta a una toma de corriente a través del cable de alimentación.

5 Conector USB (SuperSpeed USB (USB 3.0))

Permite conectar la unidad de disco (opcional) instalada en esta unidad con un ordenador a través de un cable USB.

Inicio y detención

Nota

Cierre siempre la bandeja I/E para iniciar y detener la biblioteca. La biblioteca no se puede iniciar ni detener mientras la bandeja I/E está en la posición abierta.

Inicio

1 Compruebe que el cable de alimentación esté conectado; a continuación, encienda el interruptor de alimentación en el panel trasero de la biblioteca.

2 Pulse el interruptor de encendido/en espera del panel frontal.

Al pulsar el botón, el indicador del botón de encendido/en espera se enciende de color verde. Finaliza la inicialización y la biblioteca está lista para usar cuando el texto de la pantalla de la biblioteca deja de parpadear.

Detención

1 Pulse el interruptor de encendido/en espera durante dos segundos o más.

2 Aparece en la pantalla un mensaje de confirmación de apagado. Utilice los botones de flecha para seleccionar [Y]y, a continuación, pulse el botón [ENTER].

3 Espere hasta que el indicador del botón de encendido/en espera cambie de verde intermitente a rojo permanente y, a continuación, apague el interruptor de alimentación del panel trasero.

Inserción y extracción de cartuchos

Abra la bandeja I/E

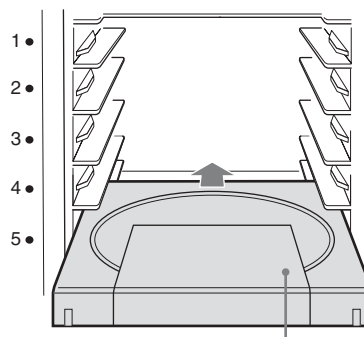
Pulse el botón RELEASE del panel frontal para liberar el bloqueo de la bandeja I/E. Al pulsar el botón RELEASE, el indicador del botón parpadea y comienza el proceso de desbloqueo. Cuando el bloqueo está liberado, el indicador del botón queda encendido.

Nota

Espere hasta que el indicador del botón se quede encendido y, a continuación, abra la bandeja I/E.

Inserción y extracción de un cartucho

Inserte un cartucho en una ranura y empuje el cartucho por completo hasta que haga tope.



Espacio para la etiqueta hacia arriba

Al extraer un cartucho, tire del cartucho manteniéndolo en posición horizontal.

Cierre de la bandeja I/E

Empuje lentamente la bandeja I/E por completo hacia la biblioteca y compruebe que la luz del botón RELEASE se apague.

Notas

- La bandeja I/E no está cerrada por completo si la luz del botón RELEASE está encendida.
- Suena el tono de advertencia si la bandeja I/E queda abierta durante tres minutos o más.

Registro en la base de datos

Después de insertar un cartucho y cerrar la bandeja I/E, la información sobre cada cartucho se registra automáticamente en la base de datos de la biblioteca. Si inserta varios cartuchos, el registro en la base de datos puede tardar algún tiempo en completarse.

Una vez que se hayan registrado los cartuchos en la base de datos, puede acceder a ellos para realizar operaciones desde la aplicación de nivel superior.

Extracción de un cartucho en caso de emergencia

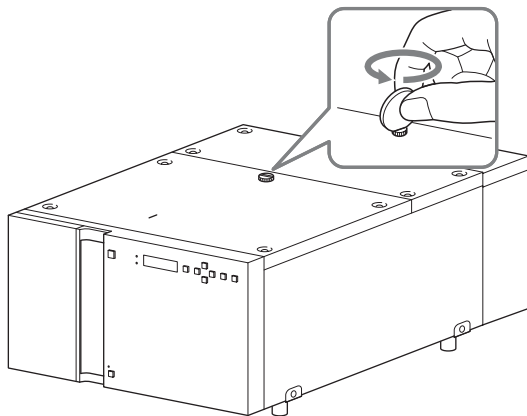
Siga el procedimiento a continuación para extraer un cartucho cuando la biblioteca esté apagada.

- 1 Compruebe que la alimentación esté apagada.

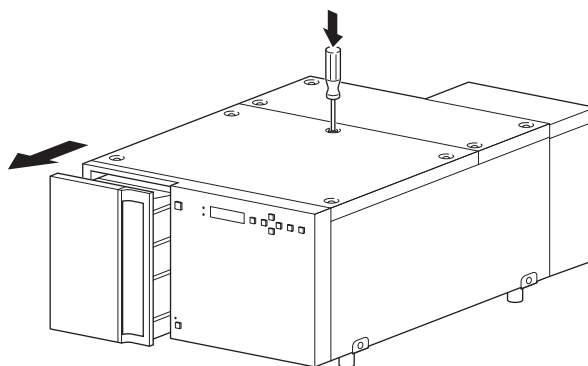
Nota

Si realiza el procedimiento siguiente con la alimentación encendida, el mecanismo de transporte del cartucho puede dañarse.

- 2 Extraiga el tornillo del panel superior de la biblioteca con una moneda u otro objeto similar.



- 3 Inserte un destornillador u otro objeto fino en el orificio del tornillo, empuje la palanca de liberación hacia abajo y extraiga la bandeja I/E.



- 4 Extraiga el cartucho.
- 5 Vuelva a colocar el tornillo que quitó en el panel superior.

Configuración de la red

Para permitir que se pueda utilizar esta unidad a través del software de gestión de archivos, conecte esta unidad a un ordenador que tenga instalado el software de gestión de archivos mediante un cable de red.

Después de conectar la red, configure la dirección IP de la biblioteca.

Configuración de la dirección IP

Se requieren los ajustes de la dirección IP, la máscara de subred y la puerta de enlace predeterminada. Los valores siguientes son los predeterminados.

Dirección IP: 192.168.1.10

Máscara de subred: 255.255.255.0

Puerta de enlace predeterminada: 0.0.0.0

Utilice la pantalla y los botones del panel frontal de la biblioteca para ajustar la configuración de red.

1 Pulse el botón MENU.

La pantalla cambia a una pantalla de menús.

IP SETTING

2 Desplácese con los botones $\uparrow\downarrow$ para seleccionar IP SETTING y, a continuación, pulse el botón ENTER.

Aparece la pantalla IP ADDRESS.

IP ADDRESS
192.168.001.010

3 Pulse el botón ENTER.

El primer dígito de la dirección IP comienza a parpadear para indicar que la dirección se encuentra en modo de edición.

IP ADDRESS
192.168.001.010

4 Introduzca la dirección IP.

Pase de un dígito a otro con los botones $\leftarrow\rightarrow$ y cambie los valores con los botones $\uparrow\downarrow$.

5 Cuando haya terminado, pulse el botón ENTER.

Compruebe la dirección que introdujo.

IP ADDRESS
192.168.001.010

6 Vaya hasta la pantalla SUBNET MASK con los botones $\uparrow\downarrow$ y, a continuación, pulse el botón ENTER.

SUBNET MASK
255.255.255.000

7 Introduzca la máscara de subred con el mismo método empleado para la dirección IP y pulse el botón ENTER cuando haya terminado.

8 Vaya hasta la pantalla DEFAULT GATEWAY con los botones $\uparrow\downarrow$ y, a continuación, pulse el botón ENTER.

DEFAULT GATEWAY
000.000.000.000

9 Introduzca la puerta de enlace predeterminada y, a continuación, pulse el botón ENTER cuando haya terminado.

10 Pulse el botón MENU o el botón ESC dos veces para salir del menú.

La dirección IP actualizada surte efecto tras reiniciar la biblioteca.

Puede cambiar la dirección IP con la pantalla web.

Para obtener más información sobre cómo utilizar la pantalla web para realizar cambios, consulte la ayuda del software de la ODS-L10.

Visualización de la pantalla web

Se puede utilizar una pantalla web para realizar las operaciones de configuración de esta unidad.

Entorno de funcionamiento recomendado

Navegador web: Microsoft Internet Explorer 8

(Windows), Safari 5.1 (Mac OS)

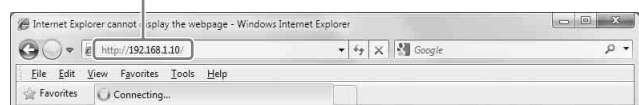
Tamaño del monitor: 1.280 píxeles o más

Nota

Si utiliza Internet Explorer 8, ajuste el modo de visualización en "IE8 Standard Mode".

Para visualizar la pantalla web, introduzca la dirección URL `http://(dirección_ip)/` en el navegador web.

Ejemplo: `http://192.168.1.10/`



El navegador web abre una conexión a la biblioteca y aparece una pantalla de confirmación. Introduzca el nombre de usuario y la contraseña siguientes.

Usuario: admin, Contraseña: ods-110

Después de la autenticación, aparece la pantalla Setup Menu.

Para obtener más información sobre el funcionamiento de la pantalla web, consulte la ayuda del software de la ODS-L10.

Notas

- Consulte con su administrador de red para conocer la configuración de red requerida.
Es posible que algunos ordenadores no se conecten a una biblioteca en una red, según la configuración del servidor proxy del navegador.
- Solo un cliente web puede estar conectado a la biblioteca a la vez.
- La pantalla web admite hasta tres conexiones simultáneas (sesiones http). Si hay dos sesiones o más abiertas a la vez, se produce un error si las operaciones de grabación generan conflictos entre sí. En tal caso, la operación se deberá emitir una segunda vez.

Utilización del menú

El menú que aparece en el panel frontal de la biblioteca se utiliza para la configuración básica de la biblioteca y para visualizar el estado de la biblioteca. Utilice los botones del panel frontal para utilizar el menú.

Utilización básica del menú

Esta sección describe la utilización básica del menú, se pone como ejemplo la configuración del tono de advertencia.

1 Pulse el botón MENU.

La pantalla cambia a una pantalla de menús.

IP SETTING

2 Desplácese por los elementos de menú con los botones $\uparrow/\downarrow$ para y, a continuación, pulse el botón ENTER.

Aparece el estado actual del elemento seleccionado.

BUZZER
ON

3 Pulse el botón ENTER.

El cursor comienza a parpadear y la pantalla cambia al modo de edición.

BUZZER
[ON]

4 Pulse los botones $\leftarrow/\rightarrow/\uparrow/\downarrow$ para cambiar la configuración.

BUZZER
[OFF]

5 Pulse el botón ENTER para confirmar la configuración.

El cursor intermitente desaparece y se confirma la configuración.

BUZZER
OFF

6 Pulse el botón MENU o el botón ESC para volver a la pantalla de selección de elementos del menú.

7 Vuelva a pulsar el botón MENU para salir del menú.

Lista de menús

Menú	Descripción
IP SETTING	Define la configuración de red. <i>Para obtener más información, consulte "Configuración de la dirección IP" (página 98).</i> IP ADDRESS: Configure la dirección IP. SUBNET MASK: Configura la máscara de subred. DEFAULT GATEWAY: Configura la puerta de enlace predeterminada.
BUZZER	Activa/desactiva el tono de advertencia.
LCD LIGHT	Selecciona si la luz de fondo de la pantalla está encendida siempre o si se apaga automáticamente cuando no hay ninguna operación en curso. Cuando se ajusta en OFF, la luz de fondo se apaga automáticamente si no pulsa ningún botón, a excepción del botón RELEASE, durante un cierto periodo. Si la luz de fondo se apaga automáticamente, la luz de fondo se volverá a encender cuando pulse cualquier botón, a excepción del botón RELEASE. Recomendación: OFF
SILENT MODE	Activa/desactiva el modo silencioso.
SERIAL NUMBER	Muestra el número de serie de la biblioteca o de las unidades de disco montadas. SERIAL NUMBER: Muestra el número de serie de la biblioteca.
VERSION	SOFTWARE VERSION: Muestra el número de versión del software de la biblioteca.
ERROR STATUS	Muestra un código de error o un mensaje cuando se produce un error/advertencia en la biblioteca. Desplácese por la pantalla con los botones $\uparrow\downarrow$. <i>Para obtener más información sobre la resolución de los mensajes de error, consulte "Mensajes" (página 101).</i> Si aparece un error con el formato "xx-xxx", consulte con su representante local de Sony.
HDD FORMAT	Formatea los discos duros integrados de la biblioteca. Seleccione Yes y pulse el botón ENTER para comenzar a formatear.

Menú	Descripción
SHUTDOWN	Apaga la biblioteca. Si hay una operación en curso, aparece un indicador para la operación. Seleccione Yes y pulse el botón ENTER para comenzar apagar.
ACCOUNT RESET	Reinicia la configuración de la cuenta a los valores predeterminados (usuario: admin, contraseña: ods-l10). Seleccione Yes y pulse el botón ENTER para comenzar reiniciar la cuenta.

Mensajes

El indicador de alarma del panel frontal de la biblioteca parpadea en color rojo (error) o naranja (advertencia) si existe un problema con el hardware o la configuración de la biblioteca. Si selecciona ERROR STATUS del menú, aparecerá el código de error (Error xx-xxx) o el mensaje de advertencia.

Los códigos de error aparecen principalmente en caso de problemas de hardware. Si aparece un código de error, consulte con su representante local de Sony.

Si aparece un mensaje, consulte la descripción siguiente de los errores para resolver el problema. Si el mensaje sigue apareciendo, consulte con su representante local de Sony.

Mensaje	Descripción
FAN1 Warning	La velocidad del ventilador ha disminuido. La biblioteca sigue en funcionamiento; sin embargo, el uso continuado provocará el aumento de la temperatura dentro de la biblioteca y de las unidades, lo que puede provocar fallos o, incluso, un incendio. Consulte con su representante local de Sony.
FAN2 Warning	
FAN1 Error	El ventilador no gira. La biblioteca sigue en funcionamiento; sin embargo, el uso continuado provocará el aumento de la temperatura dentro de la biblioteca y de las unidades, lo que puede provocar fallos o, incluso, un incendio. Consulte con su representante local de Sony.
FAN2 Error	
High TEMP!	La temperatura dentro de la biblioteca es demasiado alta. La biblioteca sigue en funcionamiento; sin embargo, el uso continuado provocará que la temperatura dentro de la biblioteca y de las unidades aumente aún más, lo que puede provocar fallos o, incluso, un incendio. Consulte con su representante local de Sony.
Low TEMP!	La temperatura dentro de la biblioteca es demasiado baja. La biblioteca sigue en funcionamiento; sin embargo, el rendimiento de los discos duros ha disminuido y puede haber dificultades en la lectura y la escritura.
PowerUnit(A) Err	Se ha detectado un error en la unidad de alimentación. Consulte con su representante local de Sony.
PowerUnit(B) Err	
DC Power Warning	Se produjo un error de tensión de CC en la biblioteca. La biblioteca sigue en funcionamiento; sin embargo, el uso continuado provocará el aumento de la temperatura dentro de la biblioteca y de las unidades, lo que puede provocar fallos o, incluso, un incendio. Consulte con su representante local de Sony.
ILL. SETUP!	Se produjo un error al ajustar un valor en el menú de configuración. Vuelva a configurar el elemento de configuración. Si sigue apareciendo el mismo error, consulte con su representante local de Sony.
JM Com Error	Reinicie la biblioteca. Si sigue apareciendo el mismo error, consulte con su representante local de Sony.
CC Com Error	
SV Com Error	
HDD1 Warning	Se ha producido un error de lectura/escritura en el disco duro en reiteradas ocasiones. Debe sustituir el disco duro. Consulte con su representante local de Sony.
HDD2 Warning	
HDD1 Fail	Se produjo un error en el disco duro, no es posible acceder a la unidad. Debe sustituir el disco duro. Consulte con su representante local de Sony.
HDD2 Fail	
Rebuilding xx%	Hay una reconstrucción de datos en curso. No apague la unidad hasta que no finalice la reconstrucción.
Update Err!	La actualización de software no se instaló correctamente. Vuelva a instalar la actualización. Si sigue apareciendo el mismo error, consulte con su representante local de Sony.
Turn off/on PWR!	Reinicie la biblioteca para activar el cambio de configuración.
DIPSW Error	No se pudo leer la configuración del interruptor DIP. Reinicie la biblioteca. Si sigue apareciendo el mismo error, consulte con su representante local de Sony.

Mensaje	Descripción
RCX Pos Error	Reinicie la biblioteca. Si sigue apareciendo el mismo error, consulte con su representante local de Sony.
RCY Pos Error	
RCZ Pos Error	
PSU detect	Hay instalada una unidad de alimentación redundante. Compruebe la configuración en la pantalla Setup Menu.
Unknown USB	Se ha detectado un dispositivo USB no compatible.
LCD Com Error	No es posible comunicarse con el panel LCD.
Door is Opening	La puerta de la bandeja I/E está abierta.
NO SYSINFO	No se encuentra el archivo de configuración del sistema. Vuelva a configurar el número de serie desde la pantalla Setup Menu.
NO ODS CONF	No se encuentra el archivo de configuración de la biblioteca. Vuelva a configurar la biblioteca desde la pantalla Setup Menu.
NO NETWORK CFG	No se encuentra el archivo de configuración de red. Vuelva a definir la configuración de red.
Exchg batt!	Momento de sustituir la batería. Póngase en contacto con un representante de servicio o ventas de Sony.

Notas importantes sobre el funcionamiento

Utilización y almacenamiento

No someta la unidad a golpes fuertes

El mecanismo interno se puede dañar y la carcasa de la grabadora se puede deformar. Los golpes pueden dañar el almacenamiento interno.

No cubra la unidad durante el funcionamiento

En caso contrario, la temperatura puede aumentar dentro de la unidad, lo que posiblemente provoque un fallo.

Después de su uso

Apague el botón de encendido/en espera.

Si tiene pensado no utilizar la unidad durante un periodo prolongado, apague también el interruptor de alimentación del panel trasero.

Transporte

- Para impedir el daño en el almacenamiento interno, apague siempre la unidad.
- Si se envía la unidad por carretera, mar, aire u otro servicio de transporte, hágalo en el embalaje original de la unidad.
- Si la unidad se envía sin estar correctamente empaquetada y protegida. Las piezas internas se pueden dañar.
En referencia al Manual de instalación suministrado, asegúrese de montar los tornillos y herrajes para garantizar un transporte seguro.
- Si la unidad se transporta sin extraer la unidad de disco, puede que esta unidad y la unidad de disco se dañe durante el transporte. Asegúrese de extraer la unidad de disco de la unidad antes de transportarla.

Cuidados de la unidad

Si la carcasa de la unidad está sucia, límpiela con un paño suave y seco.

En casos extremos, utilice un paño humedecido con un detergente neutro y, a continuación, séquela. No utilice disolventes orgánicos como alcohol o diluyentes, puesto que pueden producir decoloración u otros daños en el acabado de la unidad.

En caso de problemas de funcionamiento

Si experimenta problemas con la unidad, póngase en contacto con su representante de ventas o servicio de Sony.

Ubicaciones de uso y almacenamiento

Guárdela en un lugar estable y ventilado. Evite utilizar o almacenar la unidad en los siguientes lugares.

- Bajo calor o frío excesivo (límites de temperatura de funcionamiento: de 5 °C a 35 °C)

Recuerde que en verano y en climas cálidos la temperatura en el interior de un automóvil con las ventanillas cerradas puede superar fácilmente los 50 °C.

- En lugares húmedos o polvorientos
- Lugares donde la unidad pueda estar expuesta a la lluvia
- Lugares sujetos a vibraciones violentas
- Cerca de campos magnéticos potentes
- Cerca de emisoras de radio o TV que generen campos electromagnéticos intensos.
- En directa exposición al sol o cerca de fuentes de calor durante tiempo prolongado

Cómo evitar interferencias electromagnéticas de dispositivos de comunicación portátiles

El uso de teléfonos y otros dispositivos de comunicación portátiles cerca de esta unidad puede producir un funcionamiento incorrecto.

Se recomienda desconectar los dispositivos de comunicaciones móviles cuando se encuentren cerca de esta unidad.

Condensación

Si traslada la unidad de un lugar muy frío a otro cálido, o la utiliza en un lugar húmedo, es posible que se forme condensación en el elemento captador óptico.

A continuación, si opera la unidad en este estado, es posible que la grabación y la reproducción no sean correctas.

Cuando mueve o utiliza la unidad en un entorno en el que se pueda formar condensación, asegúrese de insertar un cartucho por adelantado.

Precauciones para los productos con discos duros integrados

Esta unidad cuenta con discos duros integrados. Un disco duro es un dispositivo de precisión. Si se ve sometido a golpes, vibraciones, electricidad estática, altas temperaturas o humedad, se pueden dañar los datos.

Cuando instale y utilice la unidad, cumpla absolutamente con las precauciones siguientes.

Protección frente a golpes y vibraciones

Cuando un disco duro está sujeto a golpes y vibraciones, este se puede dañar, así como los datos del disco duro.

- Cuando transporte la unidad, utilice el material de embalaje especificado. Al transportarla en una plataforma rodante o similar, utilice un tipo que no transmita vibraciones excesivas. Los golpes y las vibraciones excesivos pueden dañar los discos duros.
- Nunca mueva la unidad mientras esté encendida.
- Proteja de los golpes todos los dispositivos equipados con disco duro que haya en el bastidor.

- Antes de extraer o insertar la unidad en un bastidor, asegúrese de que la alimentación de todos los demás dispositivos equipados con disco duro que haya en el bastidor también esté apagada.
- Coloque la unidad en una ubicación nivelada y estable.
- No coloque la unidad cerca de otros dispositivos que puedan generar vibraciones.

No la exponga a electricidad estática

Retire los elementos plásticos que puedan producir electricidad estática (envoltura de burbujas, etc.) del área de trabajo. Además, asegúrese de utilizar una muñequera antiestática conectada a tierra cuando manipule discos duros.

Espere 30 segundos después de apagar la alimentación

Durante un breve intervalo después de apagar la alimentación, los platos interiores del disco duro seguirán girando y los cabezales estarán en una posición insegura. Durante este intervalo, la unidad es más susceptible a golpes y vibraciones que durante el funcionamiento normal. Durante un periodo de, al menos, 30 segundos a partir del apagado evite someter la unidad a golpes, aunque sean muy leves. Después de este período, el disco duro estará detenido por completo y podrá manipular la unidad.

Precauciones relativas a la temperatura y la humedad

Utilice y almacene la unidad únicamente en lugares donde no se superen los rangos de temperatura y humedad especificados. Además, no encienda la unidad si se ha extraído la carcasa exterior.

Intervalo de temperatura de funcionamiento: de 5 °C a 35 °C

Intervalo de humedad de funcionamiento: del 20% al 90% de humedad relativa (sin condensación)

Intervalo de temperatura de almacenamiento: de -20 °C a +60 °C

Cuando el disco duro parezca dañado

Incluso cuando el disco duro muestre señales de mal funcionamiento, asegúrese de cumplir con todas las precauciones anteriores. Esto evitará que se produzcan daños adicionales hasta que se pueda diagnosticar el problema y resolverlo.

Sustitución de discos duros

Consulte a su representante de ventas o servicio de Sony para obtener información sobre la sustitución periódica de los discos duros.

Marcas comerciales y licencias

Licencias de software libre

En función de los contratos de licencia entre Sony y los titulares de los derechos de autor del software, este producto utiliza software libre.

Para cumplir con los requisitos de los titulares de los derechos de autor del software, Sony está obligado a informarle del contenido de estas licencias.

Para conocer el contenido de las licencias, consulte la *lista de licencias de software de código abierto en la ayuda del software*.

Obtención de software con licencias GPL/LGPL/GPL V3

Este producto utiliza software con licencias según GPL versión 2 / LGPL versión 2.1 / GPL versión 3. Tiene derecho a obtener, cambiar y distribuir el código fuente de este software.

Puede descargar el código fuente de este software de los servidores de Internet de Sony. Para obtener más información sobre cómo descargarlo, vaya a la dirección URL siguiente.

<http://oss.sony.net/Products/Linux/common/search.html>

No podemos responder consultas relativas al contenido del código fuente.

Especificaciones

Información general

Alimentación	de 100 a 240 V CA, 50 Hz/60 Hz
Consumo de energía	170 W
Temperatura de funcionamiento	de 5 °C a 35 °C
Temperatura de almacenamiento	de -20 °C a +60 °C
Humedad de funcionamiento	del 20% al 90% (humedad relativa)
Humedad de almacenamiento	Menos del 75%
Peso	28 kg (sin incluir las unidades de disco ni los cartuchos)
Dimensiones (an. × al. × prof.)	424 × 220 × 830 mm (excluidas las partes salientes)

Entrada/salida

 (Red)	Toma modular tipo RJ-45 (1) 1000BASE-T: estándar IEEE 802.3ab 100BASE-Tx: estándar IEEE 802.3u
---	--

Almacenamiento interno

Disco duro	disco duro de 500 GB (2), (configuración en espejo (RAID 1))
------------	--

Accesorios

Manual de instalación (1)
Manual de funcionamiento (1)
Hoja del número de serie de software de gestión de archivos (1)

Opciones

Suministro de alimentación XDBK-101
Cartucho de archivo en disco óptico
• ODC300R (300 GB, grabación única)
• ODC300RE (300 GB, regrabable)
• ODC600R (600 GB, grabación única)
• ODC600RE (600 GB, regrabable)
• ODC1200RE (1,2 TB, regrabable)
• ODC1500R (1,5 TB, grabación única)
Unidad independiente de archivo en disco óptico ODS-D55U
Unidad independiente de archivo en disco óptico ODS-D77U

El diseño y las especificaciones están sujetos a modificación sin previo aviso.

Notas

- Haga siempre un ensayo de grabación y verifique que se grabó bien.
SONY NO SE HACE RESPONSIBLE POR DAÑOS DE NINGÚN TIPO, INCLUYENDO PERO NO LIMITADO A LA COMPENSACIÓN O PAGO POR FALLO EN HACER CUALQUIER TIPO DE CONTENIDO DE GRABACIÓN POR MEDIO DE ESTA UNIDAD O SU SOPORTE DE GRABACIÓN, SISTEMAS DE MEMORIA EXTERNA O CUALQUIER OTRO SOPORTE O SISTEMAS DE MEMORIA.
- Verifique siempre que esta unidad funciona correctamente antes de utilizarlo. SONY NO SE HACE RESPONSIBLE POR DAÑOS DE NINGÚN TIPO, INCLUYENDO PERO NO LIMITADO A LA COMPENSACIÓN O PAGO POR LA PÉRDIDA DE GANANCIAS PRESENTES O FUTURAS DEBIDO AL FALLO DE ESTA UNIDAD, YA SEA DURANTE LA VIGENCIA DE LA GARANTÍA O DESPUÉS DEL VENCIMIENTO DE LA GARANTÍA NI POR CUALQUIER OTRA RAZÓN.

Notas sobre el software

Cuando utilice la unidad con una conexión de PC, descargue el software de gestión de archivos del sitio web de productos profesionales de Sony.

Para poder utilizar el software de gestión de archivos, se requiere autenticación. Para ello, introduzca el número de serie suministrado con la unidad. Para obtener más información acerca de la autenticación, consulte la Guía de instalación del software de gestión de archivos.

Sitio web de productos de Sony Professional:	
Estados Unidos	http://pro.sony.com
Canadá	http://www.sonybiz.ca
Latinoamérica	http://sonypro-latin.com
Europa	http://www.pro.sony.eu/pro
Oriente Medio y África	http://sony-psmea.com
Rusia	http://sony.ru/pro/
Brasil	http://sonypro.com.br
Australia	http://pro.sony.com.au
Nueva Zelanda	http://pro.sony.co.nz
Japón	http://www.sonybsc.com
Asia Pacífico	http://pro.sony-asia.com
Corea	http://bp.sony.co.kr
China	http://pro.sony.com.cn
India	http://pro.sony.co.in

Sony Creative Software, página de descarga de software:
http://www.sonycreativesoftware.com/download/software_for_sony_equipment

机型名称：海量数据流光盘库
使用产品前请仔细阅读本书，并请妥善保管。

警告

为减少火灾或电击危险，请勿让本设备受到雨淋或受潮。

为防止触电严禁拆开机壳，维修请咨询具备资格人士。

此设备必须接地。

警告

此为 A 级产品。在生活环境中，该产品可能会造成无线电干扰。
在这种情况下，可能需要用户对干扰采取切实可行的措施。

关于废弃产品的处理

请不要将废弃的产品与一般生活垃圾一同弃置。
正确处置废弃的产品有助于避免对环境和人类健康造成潜在的负面影响。
具体的处理方法请遵循当地的规章制度。

目录

概述	108
系统配置示例	108
部件的名称和功能.....	109
前面板	109
I/E 托盘	110
后面板	111
开始和停止	112
开始	112
停止	112
插入和取出光盘盒.....	112
打开 I/E 托盘	112
插入和取出光盘盒	112
在数据库中注册	112
紧急取出光盘盒	113
配置网络	113
设置 IP 地址	113
显示 Web 屏幕	114
菜单操作	115
基本菜单操作	115
菜单列表	115
消息	116
操作注意事项.....	118
冷凝水	118
使用内置 HDD 设备的注意事项	118
商标和许可证.....	119
开源软件许可证	119
获得 GPL/LGPL/GPL V3 许可的软件	119
规格	120

概述

此 ODS-L10 Optical Disc Archive 10Slot Library 是一款可配备最多两个可选驱动器单元（如 ODS-D55U 或 ODS-D77U）和 10 个光盘档案盒的库设备。它能够有效地对多个光盘档案盒进行数据读取和写入操作，确保对材料数据的存档和对已存档材料数据的检索（通过将数据上传到服务器）时的效率。

ODS-L10 配备了采用 RAID 1¹⁾（镜像）配置的 HDD，并安装了可选的 XDBK-101 电源，从而可提供冗余电源功能。由于即使在其中一个 HDD 或电源

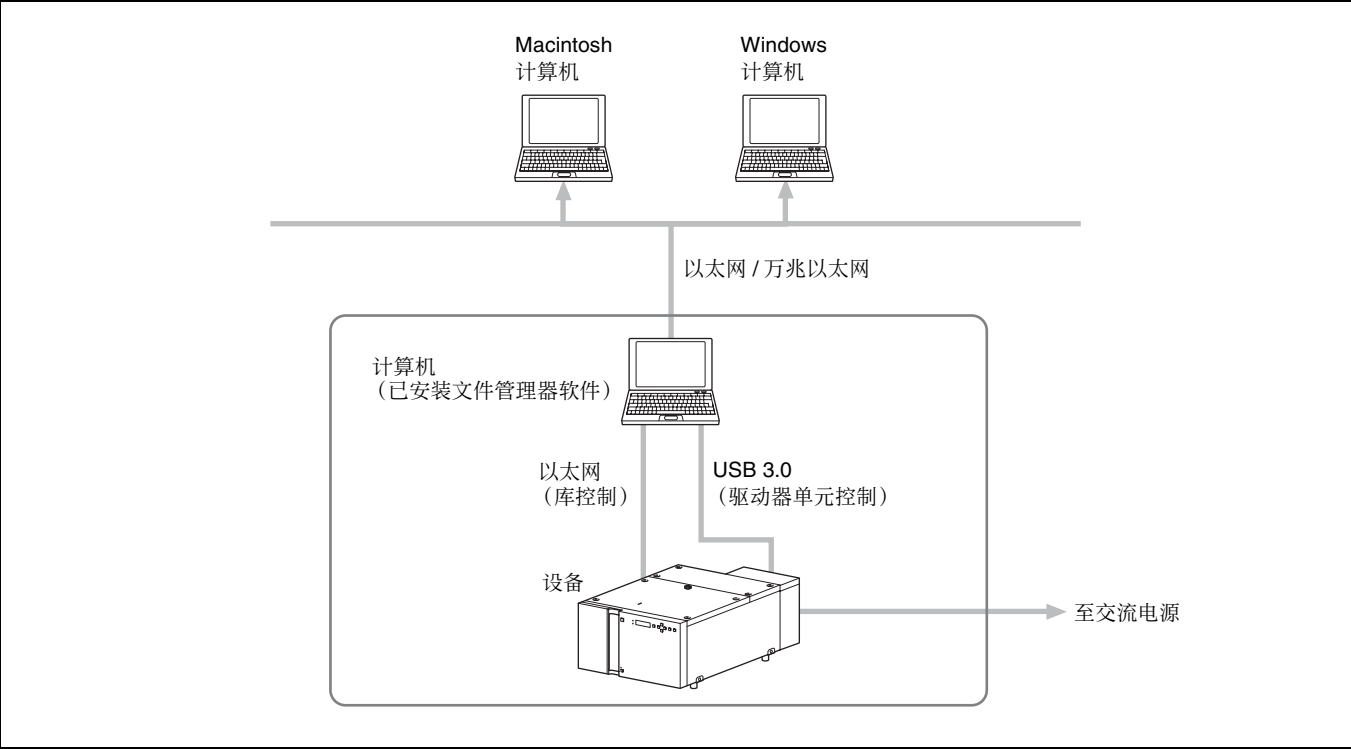
故障时仍能保证继续运转，对于需要高可靠性的系统，ODS-L10 显然最合适。

1)RAID 1（廉价磁盘冗余阵列 1）：将一组数据的精确副本写入两个磁盘来提高可靠性。

在本手册中，配备了驱动器单元的 ODS-L10 被称为“设备”，光盘档案盒称为“光盘盒”。

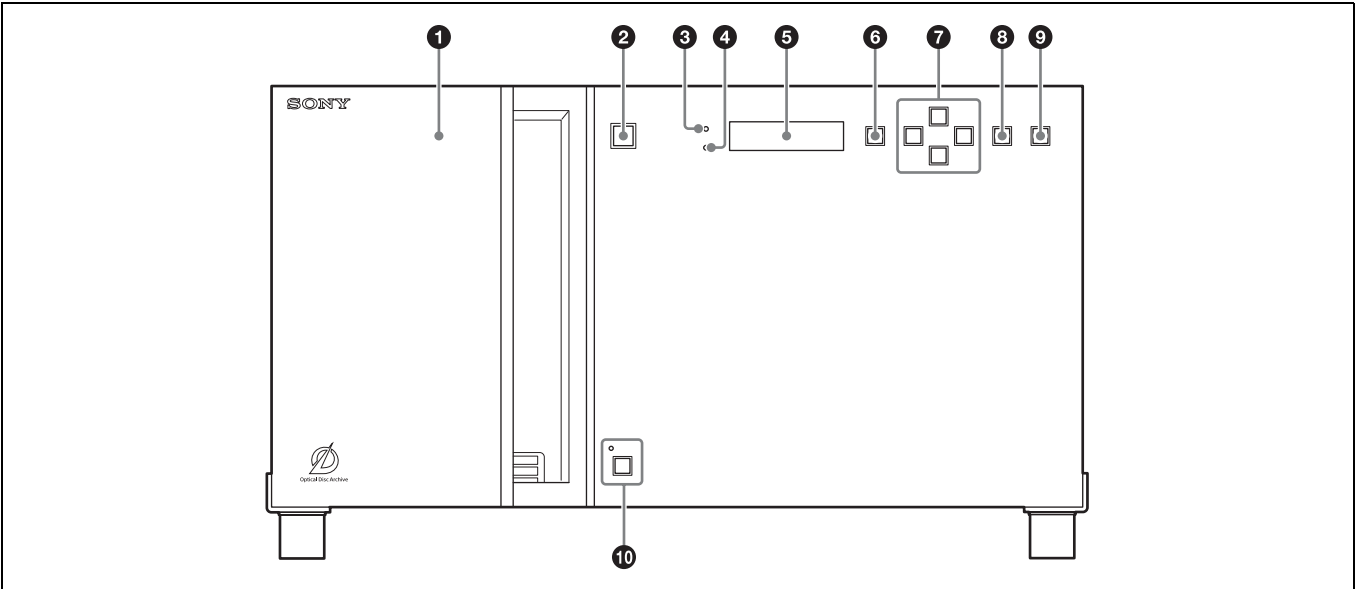
系统配置示例

结合相关设备使用库可构建以下类型的系统。



部件的名称和功能

前面板



❶ I/E 托盘门

❷ RELEASE 键

释放 I/E 托盘锁。按下该键停止所有进行中的内部进程并解锁。
键指示灯在解锁后亮起，并在 I/E 托盘锁定时熄灭。
如果在解锁后的 10 秒内 I/E 托盘未打开，则托盘会自动锁定。

❸ ALARM 指示灯

发生错误或警告时闪烁。
红色闪烁：发生错误
橙色闪烁：发生警告

❹ ACCESS 指示灯

库访问内部 HDD 时亮起。

❺ 显示屏

显示库状态、设置菜单以及消息。
在正常情况下，库 ID 会显示在首行，而插入 I/E 托盘 A 和 B 中插槽的光盘盒数会显示在末行。

```
ID:****  
TRAY A:5 B:3
```

❻ MENU 按钮

在显示器上显示菜单。

❼ 箭头键

在显示器上滚动菜单并设置输入值。

❽ ENTER 键

执行菜单操作时切换至下一页或确认输入值。

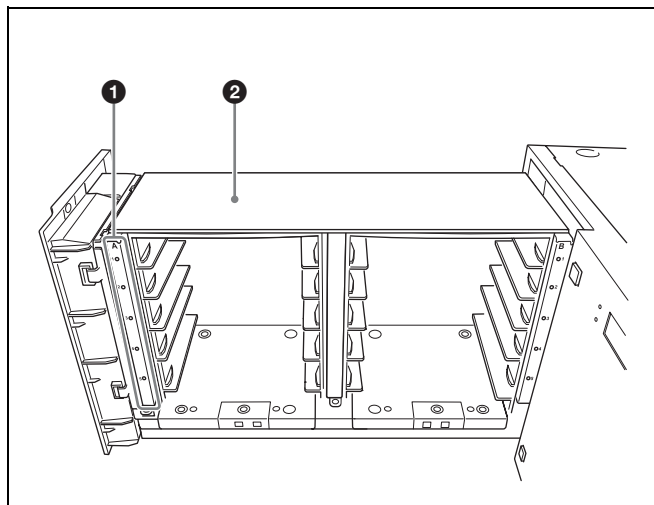
❾ ESC 键

在菜单屏幕上，切换至上一页。

❿ 开机 / 待机键和指示灯

如果后面板的主电源开关打开，在开机和待机状态之间切换库。在切换为待机状态时请按住两秒或更长时间。
在开启时指示灯亮起绿色，在待机时亮起红色。如果关机则会闪烁绿色。

I/E 托盘



① LED

这些 LED 表示 I/E 托盘 A 和 B 中插槽的状态（从上到下为 1 到 5）。可以在 Web 屏幕中进行设置，打开这些 LED 或让其闪烁，让识别相应插槽的状态更为容易。

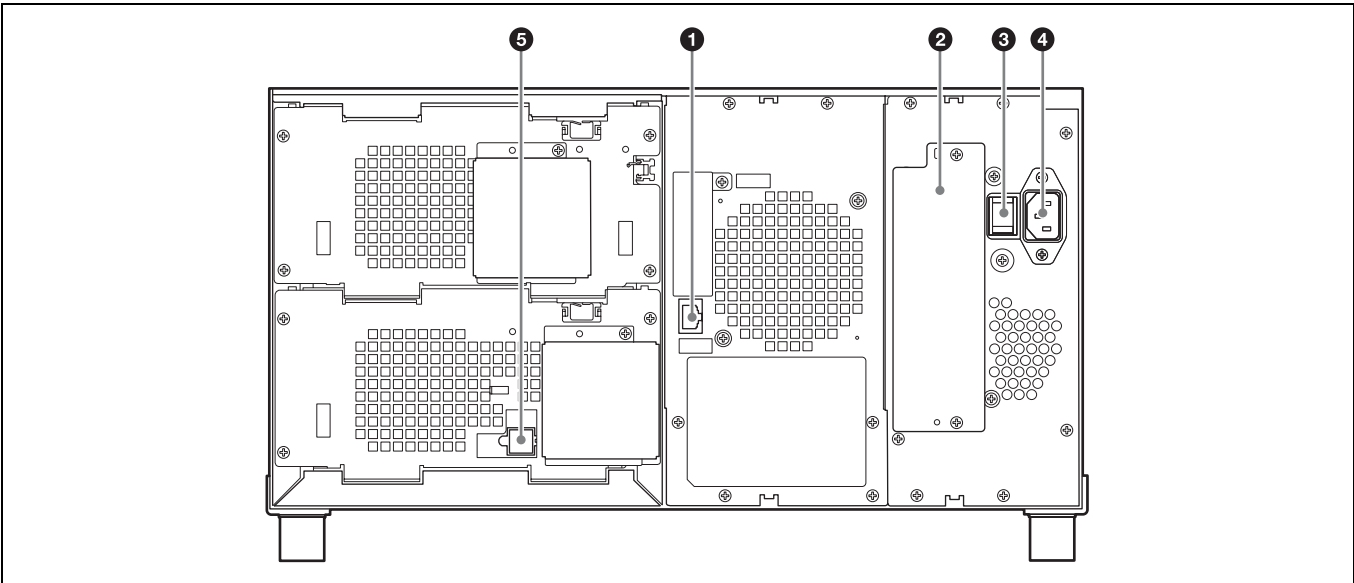
② I/E 托盘 A 和 I/E 托盘 B

I/E 托盘 A 和 I/E 托盘 B 均只能存放最多 5 个光盘盒。
每个 I/E 托盘的插槽从上至下以 1 到 5 编号。

后面板

下图显示在较低的插槽中安装 ODS-D55U 可选驱动器单元时的 ODS-L10。如果安装的是 ODS-D77U 可

选驱动器单元，则驱动器单元后面板的外观会有所不同。有关详细信息，请参阅安装手册。



❶ 网络接口

连接网络电缆，以便使用安装在计算机上的文件管理器软件从 Web 屏幕操作本设备。

注意

- 为安全起见，请勿将可能有过高电压的外围设备配线用连接器连接到本端口上。按照本端口的说明操作。
- 将本设备的网络电缆连接到外围设备时，请使用屏蔽型电缆防止电磁噪声造成的故障。

❷ 冗余电源设备插槽

可安装选购的 XDBK-101 电源以提供冗余电源功能。如果需要高度可靠性的系统中发生主电源故障，这可保证连续运转。

有关添加或更换电源的详细信息，请咨询当地的 Sony 代表。

❸ 主电源开关

打开或关闭主电源。在正常操作期间，开关置于 On 位置，并且库通过前面板上的开机 / 待机键在工作和待机状态之间切换。

注意

在关闭主电源开关之前，务必使用前面板上的开机 / 待机键切换至待机状态。

❹ AC IN 接口

使用电源线连接至电源插座。

❺ USB 接口 (SuperSpeed USB (USB 3.0))

使用 USB 电缆将安装在本设备上的驱动器单元（可选）连接到计算机。

开始和停止

注意

请务必在开始和停止库时关闭 I/E 托盘。如果 I/E 托盘处于打开状态，则无法开始或停止库。

开始

- 1 检查电源线是否已连接，然后打开库后面板上的主电源开关。
- 2 按下前面板上的开机 / 待机开关。
如果按下该键，则开机 / 待机键指示灯会亮起绿色。
如果库显示器上的文字停止闪烁，则初始化结束并且库已准备好供使用。

停止

- 1 按下开机 / 待机开关两秒或更长时间。
- 2 显示器上出现关机确认消息。使用箭头键选择 [Y]，然后按下 [ENTER] 键。
- 3 一直等到开机 / 待机键指示灯从绿色闪烁变为亮起红色，然后关闭后面板上的主电源开关。

插入和取出光盘盒

打开 I/E 托盘

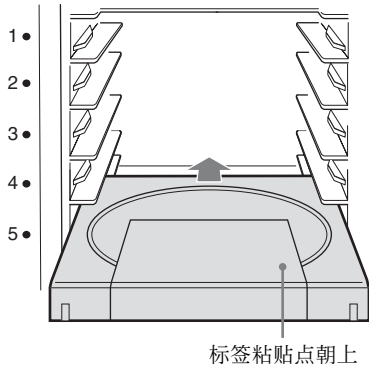
按下前面板上的 RELEASE 键释放 I/E 托盘锁。按下 RELEASE 键时，键指示灯闪烁并且开始解锁过程。解锁时，键指示灯会持续亮起。

注意

等到键指示灯稳定亮起，然后打开 I/E 托盘。

插入和取出光盘盒

将光盘盒插入插槽，推动光盘盒到底。



取出光盘盒时，保持光盘盒水平然后拉出。

关闭 I/E 托盘

慢慢将 I/E 托盘完全推入库中，然后检查 RELEASE 键指示灯是否熄灭。

注意

- 如果 RELEASE 键指示灯仍然亮起，则表明 I/E 托盘未完全关闭。
- 如果 I/E 托盘保持开启状态达三分钟或更长时间，会发出警告声。

在数据库中注册

插入光盘盒并关闭 I/E 托盘后，各光盘盒的相关信息会自动注册到库数据库中。如果插入多个光盘盒，则数据库注册可能需要较长时间。
当在数据库中注册光盘盒后，可上层应用程序访问光盘盒来进行操作。

紧急取出光盘盒

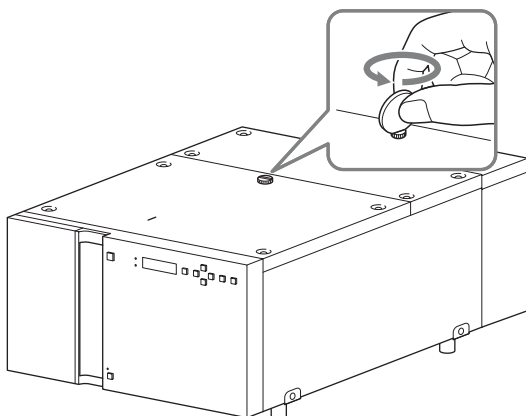
如果库电源关闭，可按照以下步骤取出光盘盒。

- 1 检查电源是否关闭。

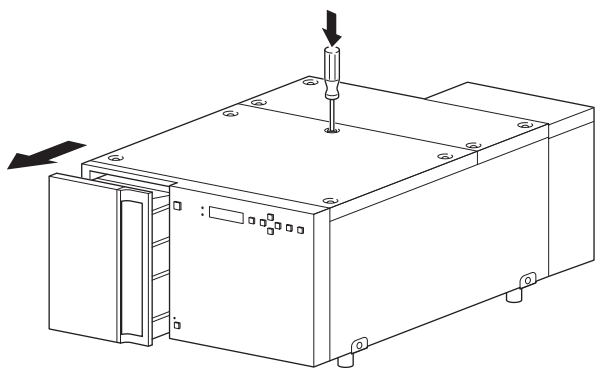
注意

如果在电源开启的情况下执行以下步骤，可能会损坏光盘盒的传输机构。

- 2 使用硬币或类似物品卸下库上面板的螺钉。



- 3 将螺丝刀或其他细长物体插入螺钉丝孔，按下释放杆，并拉出 I/E 托盘。



- 4 取出光盘盒。
- 5 将卸下的螺钉重新安装到上面板。

配置网络

要使用文件管理器软件操作本设备，请使用网络电缆将本设备连接到已安装文件管理器软件的计算机。连接至网络后，设置库的 IP 地址。

设置 IP 地址

必需设置 IP 地址、子网掩码和默认网关。以下值为出厂默认值。

IP 地址: 192.168.1.10
子网掩码: 255.255.255.0
默认网关: 0.0.0.0

使用库前面板的显示器和键来设置网络设置。

- 1 按下 MENU 键。

显示屏会更改为菜单显示。

IP SETTING

- 2 使用 $\uparrow\downarrow$ 键滚动选择 IP SETTING，然后按下 ENTER 键。

出现 IP ADDRESS 屏幕。

IP ADDRESS
192.168.001.010

- 3 按下 ENTER 键。

IP 地址的第一个数字开始闪烁，指示地址处于编辑模式下。

IP ADDRESS
192.168.001.010

- 4 输入 IP 地址。

使用 $\leftarrow\rightarrow$ 键在数字之间移动，然后使用 $\uparrow\downarrow$ 键更改值。

- 5 完成后，按下 ENTER 键。

检查输入的地址。

IP ADDRESS
192.168.001.010

- 6 使用 $\uparrow\downarrow$ 键显示 SUBNET MASK 屏幕，然后按下 ENTER 键。

SUBNET MASK
255.255.255.000

7 按照输入 IP 地址的方法输入子网掩码，在完成后按下 ENTER 键。

8 使用  键显示 DEFAULT GATEWAY 屏幕，然后按下 ENTER 键。

DEFAULT GATEWAY
000.000.000.000

9 输入默认网关，完成后按下 ENTER 键。

10 按下 MENU 键或 ESC 键两次可退出菜单。

重新启动库后，更新后的 IP 地址即会生效。
可使用 Web 屏幕更改 IP 地址。

有关使用 Web 屏幕进行更改的详细信息，请参阅 ODS-L10 软件的帮助。

注意

- 请咨询您的网络管理员以了解所需网络设置。视浏览器代理服务器设置而定，计算机可能不会与网络上的库连接。
- 一次只能有一个 Web 客户端连接至库。
- Web 屏幕同时最多支持三个连接（http 会话）。如果两个或多个会话同时打开，则在记录操作相互冲突时会出错。在这种情况下，应该再次进行操作。

显示 Web 屏幕

可使用 Web 屏幕执行设备的设置操作。

推荐的操作环境

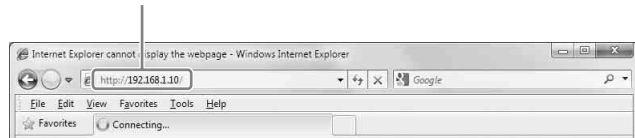
Web 浏览器：Microsoft Internet Explorer 8
(Windows), Safari 5.1 (Mac OS)
显示器大小：1,280 像素或更宽

注意

如果使用 Internet Explorer 8，请将显示模式设置为“IE8 Standard Mode”。

要显示 Web 屏幕，请在 Web 浏览器中输入 URL
http:// (ip_地址) /。

例如：http://192.168.1.10/



Web 浏览器打开指向库的链接，并且出现确认屏幕。
输入以下用户名和密码。

用户：admin，密码：ods-l10

经过验证后，即会出现 Setup Menu 屏幕。

有关 Web 屏幕操作的详细信息，请参阅 ODS-L10 软件的帮助。

菜单操作

使用显示在库前面板上的菜单，可设置库的基本设置并显示库状态。使用前面板上的键来操作菜单。

基本菜单操作

本节以警告音的设置为例，说明基本菜单操作。

1 按下 MENU 键。

显示即会更改为菜单显示。

IP SETTING

2 使用 上下 键滚动菜单项目，然后按下 ENTER 键。

显示所选项目的当前状态。

BUZZER
ON

3 按下 ENTER 键。

光标开始闪烁并且显示更改为编辑模式。

BUZZER
[ON]

4 按下 左右 键更改设置。

BUZZER
[OFF]

5 按下 ENTER 键确认设置。

闪烁的光标消失，设置得到确认。

BUZZER
OFF

6 按下MENU键或ESC键返回值菜单项目选择屏幕。

7 再次按下 MENU 键退出菜单。

菜单列表

菜单	说明
IP SETTING	配置网络设置。 <i>有关详细信息，请参阅“设置 IP 地址”（第 113 页）。</i> IP ADDRESS: 设置 IP 地址。 SUBNET MASK: 设置子网掩码。 DEFAULT GATEWAY: 设置默认网关。
BUZZER	打开 / 关闭警告音。
LCD LIGHT	选择显示器背光常亮还是在当前未进行操作时自动关闭。如果设置为 OFF，则在某段时间内未按除 RELEASE 键以外的任何键时，背光会自动关闭。如果背光自动关闭，则在按下除 RELEASE 键以外的任何键时，背光将再次开启。 建议：OFF
SILENT MODE	打开 / 关闭无声模式。
SERIAL NUMBER	显示库或已安装驱动器单元的序列号。 SERIAL NUMBER: 显示库的序列号。
VERSION	SOFTWARE VERSION: 显示库软件版本号。
ERROR STATUS	当库中出现错误 / 警告时显示错误代码或消息。 使用 上下 键滚动屏幕。 <i>有关解决错误消息的详细信息，请参阅“消息”（第 116 页）。</i> 如果出现“xx-xxx”格式的错误代码，请咨询当地的 Sony 代表。
HDD FORMAT	格式化库的内置 HDD。 选择“ Yes ”并按下 ENTER 键开始格式化。
SHUTDOWN	关闭库。 如果正在进行操作，则会显示操作的提示。选择“ Yes ”并按下 ENTER 键关闭。
ACCOUNT RESET	将帐户设置重置为出厂默认设置（用户：admin，密码：ods-l10）。 选择“ Yes ”并按下 ENTER 键重置帐户。

消息

如果库硬件或配置设置出现问题，则库前面板上的警报指示灯会闪烁红色（出错）或橙色（警告）。从菜单选择 **ERROR STATUS** 将显示错误代码 (Error xx-xxx) 或警告消息。

主要显示有关硬件问题的错误代码。如果显示错误代码，请咨询当地的 **Sony** 代表。
如果出现消息，请参阅以下错误说明来解决问题。如果消息显示仍然存在，请咨询当地的 **Sony** 代表。

消息	说明
FAN1 Warning	风扇速度下降。 库可以继续工作，但如果长时间使用会导致库内以及驱动器内的温度升高，从而引发故障甚至火灾。 请咨询当地的 Sony 代表。
FAN2 Warning	
FAN1 Error	风扇未转动。 库可以继续工作，但如果长时间使用会导致库内以及驱动器内的温度升高，从而引发故障甚至火灾。 请咨询当地的 Sony 代表。
FAN2 Error	
High TEMP!	库内的温度过高。 库可以继续工作，但如果长时间使用会导致库内以及驱动器内的温度进一步升高，从而引发故障甚至火灾。 请咨询当地的 Sony 代表。
Low TEMP!	库内的温度过低。 库可以继续工作，但是 HDD 性能降低，并且可能在读取和写入时遇到困难。
PowerUnit(A) Err	在电源设备中检测到错误。 请咨询当地的 Sony 代表。
PowerUnit(B) Err	
DC Power Warning	库中发生直流电压错误。 库可以继续工作，但如果长时间使用会导致库内以及驱动器内的温度升高，从而引发故障甚至火灾。 请咨询当地的 Sony 代表。
ILL. SETUP!	在设置菜单中设置值时发生错误。 重新配置设置项目。如果相同错误仍然存在，请咨询当地的 Sony 代表。
JM Com Error	重新启动库。如果相同错误仍然存在，请咨询当地的 Sony 代表。
CC Com Error	
SV Com Error	
HDD1 Warning	重复发生 HDD 读 / 写错误。必须更换 HDD 。 请咨询当地的 Sony 代表。
HDD2 Warning	
HDD1 Fail	发生 HDD 错误，无法访问驱动器。必须更换 HDD 。 请咨询当地的 Sony 代表。
HDD2 Fail	
Rebuilding xx%	正在进行数据重建。 在重建完成前，请勿关闭设备电源。
Update Err!	软件更新不成功。 重新安装更新。如果相同错误仍然存在，请咨询当地的 Sony 代表。
Turn off/on PWR!	重启库以激活更改的设置。
DIPSW Error	无法读取 DIP 开关设置。 重新启动库。如果相同错误仍然存在，请咨询当地的 Sony 代表。
RCX Pos Error	重新启动库。如果相同错误仍然存在，请咨询当地的 Sony 代表。
RCY Pos Error	
RCZ Pos Error	
PSU detect	已安装冗余电源设备。 检查 Setup Menu 屏幕中的设置。
Unknown USB	检测到不支持的 USB 设备。
LCD Com Error	无法与液晶显示器的接口通讯。
Door is Opening	I/E 托盘门打开。

消息	说明
NO SYSINFO	无法找到系统配置文件。 使用 Setup Menu 屏幕重新配置序列号。
NO ODS CONF	无法找到库配置文件。 使用 Setup Menu 屏幕重新配置库。
NO NETWORK CFG	无法找到网络配置文件。 重新配置网络设置。
Exchg batt!	需要更换电池。 请联系您的 Sony 服务或销售代表。

操作注意事项

使用和存储

避免设备剧烈震动

内部机制可能已损坏或机体发生变形。震动还可能导致内部存储器损坏。

请勿在运行时遮盖设备

这会导致设备内部温度升高，可能会导致故障。

使用后

关闭开机 / 待机键。

如果长时间不使用设备，请同时关闭后面板上的主电源开关。

运送时

- 为防止内部存储器损坏，请务必关闭设备电源。
- 如果使用卡车、轮船、飞机或其他运送服务发送设备，请将设备放在装运箱中。
- 如果在运送时未对本设备进行适当的包装和保护，则内部零件可能会损坏。
请务必参阅随附的安装手册来安装螺丝和配件，确保安全运输。
- 如果在未取出驱动器单元的情况下运送设备，则本设备和驱动器单元可能会在运输过程中损坏。请务必在运输前将驱动器单元从本设备中移除。

设备护理

如果设备机体变脏，请用柔软的干布进行擦拭。

极端情况下，请将布略浸一点中性洗涤剂，然后擦干。请勿使用有机溶剂，如酒精或稀释剂。因为这些溶剂可能导致脱色，或对设备表面造成其他损坏。

如果出现操作问题

如果设备出现故障，请与 Sony 服务或销售代表联系。

使用和存放位置

存放在水平且通风良好的位置。避免将设备存放在下列位置。

- 高温或寒冷环境下（工作温度范围：5 °C 至 35 °C）
请牢记，在夏季或温暖地区，如果关上车窗，汽车内部的温度极易升至 50 °C。
- 潮湿多尘位置
- 设备可能接触雨水的位置
- 可能产生剧烈震动的位置
- 强磁场附近
- 靠近收音机或电视发射机等可产生强磁场的位置。
- 长期遭受阳光直射或靠近热源的位置

防止便携式通信设备产生的电磁干扰

在设备附近使用手机和其他通信设备可能导致故障。建议关闭设备附近的便携式通信设备。

冷凝水

如果将设备从极冷处移至温暖处，或在潮湿的场所中使用设备，则光学传感器上可能会形成冷凝水。

如果在此时使用设备，则可能无法正常记录和播放。

如果在可能形成冷凝水的环境中移动或使用设备，请务必先插入光盘盒。

使用内置 HDD 设备的注意事项

设备具有内置的硬盘驱动器 (HDD)。HDD 是一种精密设备。如果受到震动、摇晃、静电、高温或高湿度影响，数据可能会受损。安装和使用设备时，请严格遵照以下注意事项。

防止受到震动和摇晃

如果受到震动或摇晃，HDD 可能会损坏且 HDD 上的数据可能会受损。

- 运输设备时，请使用指定的包装材料。使用推车或类似车辆运输时，请选择不会造成过度摇晃的车型。过度震动或摇晃可能会损坏 HDD。
- 切勿在打开电源时移动设备。
- 将所有内置 HDD 的设备放置于机架内以防震动。
- 在从机架上取下设备或将其插入机架前，请确保机架内带有 HDD 的所有其他设备电源都已关闭。
- 将设备置于水平位置。
- 切勿将设备放在可能产生摇晃的其他设备附近。

切勿接触静电

移走工作区域中任何可产生静电的塑料制品（气泡包装膜等）。此外，操作 HDD 时，请务必戴上接地防静电带。

关闭电源后，请等待 30 秒

刚关闭电源时，HDD 中的盘片仍在旋转且磁头未固定。在这段时间里，设备比正常操作期间更容易受震动和摇晃的影响。因此，在关闭电源后至少 30 秒内，应避免设备受到哪怕非常轻的震动。这段间隔过后，硬盘将完全停止，此时即可进行其他操作。

温度和湿度相关注意事项

请在不超过指定温度和湿度的场所使用和存放设备。此外，请勿在外壳移除时开启设备。

工作温度范围：5 °C 至 35 °C

工作湿度范围：20% 至 90% 相对湿度（无冷凝）

存放温度范围：-20 °C 至 +60 °C

HDD 可能出现故障时

即使 HDD 显示有故障迹象，也务必遵守以上所有注意事项。以防止在诊断和纠正问题之前发生进一步的损坏。

HDD 更换

有关定期更换 HDD，请联系您的 Sony 服务或销售代表。

商标和许可证

开源软件许可证

根据 Sony 和软件版权所有者之间的许可证合同，本产品使用开源软件。

根据软件版权所有者的要求，Sony 有义务告知您这些许可证的内容。

有关这些许可证的内容，请参见软件帮助中的“*Open Source Software License List*”。

获得 GPL/LGPL/GPL V3 许可的软件

本产品使用 GPL 版本 2 / LGPL 版本 2.1 / GPL 版本 3 许可的软件。用户有权获取、更改和传播该软件的源代码。

可以从 Sony Internet 服务器下载本软件的源代码。有关如何下载的详细信息，请访问以下 URL。

<http://oss.sony.net/Products/Linux/common/search.html>

我们无法回应有关源代码内容的询问。

规格

常规

电源	100 V 至 240 V 交流、50 Hz/60 Hz
功耗	170 W
工作温度	5 °C 至 35 °C
存储温度	-20 °C 至 +60 °C
工作环境湿度	20% 到 90%（相对湿度）
存储环境湿度	低于 75%
重量	27 kg（不包括驱动器单元和光盘盒）
尺寸（宽 × 高 × 深）	424 × 220 × 830 mm（不包括凸出物体）

输入 / 输出

品（网络）	RJ-45 型模块插孔 (1)
	1000BASE-T: IEEE 802.3ab 标准
	100BASE-Tx: IEEE 802.3u 标准

内部存储器

硬盘驱动器	500 GB HDD (2),（镜像配置 (RAID 1)）
-------	--------------------------------

附件

电源线	1-833-005-11
安装手册 (1)	
操作手册 (1)	
文件管理器的序列号单 (1)	

选件

XDBK-101 电源	
光盘档案盒	
• ODC300R（300 GB，一次性写入型）	
• ODC300RE（300 GB，可重写型）	
• ODC600R（600 GB，一次性写入型）	
• ODC600RE（600 GB，可重写型）	
• ODC1200RE（1.2 TB，可重写型）	
• ODC1500R（1.5 TB，一次性写入型）	
ODS-D55U 光盘档案驱动器单元	
ODS-D77U 光盘档案驱动器单元	

设计与技术规格如有变更，恕不另行通知。

注意

- 在记录前，请始终进行记录测试，并确认记录是否成功。
SONY 对任何损坏概不负责。由于本机故障或由记录介质、外部存储系统或者任何其他介质或储存系统记录的任何形式的记录内容的损害不作（包括但不限于）退货或赔偿。
- 在使用前请始终确认本机运行正常。
无论保修期内外或基于任何理由，SONY 对任何损坏概不负责。由于本机故障造成的现有损失或预期利润损失，不作（包括但不限于）退货或赔偿。

软件注意事项

当本机与 PC 连接使用时，请从 Sony 专业产品网站下载文件管理器软件。
若要使用文件管理器软件，必须输入本机随附的序列号进行验证。有关验证的详细信息，请参阅文件管理器软件的安装指南。

Sony 专业产品网站：

美国	http://pro.sony.com
加拿大	http://www.sonybiz.ca
拉丁美洲	http://sonypro-latin.com
欧洲	http://www.pro.sony.eu/pro
中东、非洲	http://sony-psmea.com
俄罗斯	http://sony.ru/pro/
巴西	http://sonypro.com.br
澳大利亚	http://pro.sony.com.au
新西兰	http://pro.sony.co.nz
日本	http://www.sonybsc.com
亚太地区	http://pro.sony-asia.com
韩国	http://bp.sony.co.kr
中国	http://pro.sony.com.cn
印度	http://pro.sony.co.in

Sony Creative Software 软件下载页面：
http://www.sonycreativesoftware.com/download/software_for_sony_equipment



使用环境条件：
参考使用说明书中的操作条件

部件名称	有害物质					
	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr (VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
实装基板	×	○	○	○	○	○
外壳	×	○	○	○	○	○
附属品	×	○	○	○	○	○

本表格依据 SJ/T 11364 的规定编制。
○：表示该有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 GB/T 26572 规定的限量要求以下。
×：表示该有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 GB/T 26572 规定的限量要求。

W1-1

このマニュアルに記載されている事柄の著作権は当社にあり、説明内容は機器購入者の使用を目的としています。従って、当社の許可なしに無断で複写したり、説明内容（操作、保守等）と異なる目的で本マニュアルを使用することを禁止します。

The material contained in this manual consists of information that is the property of Sony Corporation and is intended solely for use by the purchasers of the equipment described in this manual.

Sony Corporation expressly prohibits the duplication of any portion of this manual or the use thereof for any purpose other than the operation or maintenance of the equipment described in this manual without the express written permission of Sony Corporation.

Les donnees contenues dans ce manuel sont des informations dont Sony Corporation est proprietaire et qui sont destinees exclusivement a l'usage par les acquereurs de l'equipement decrit dans ce manuel.

Sony Corporation interdit formellement la copie de quelque partie que ce soit de ce manuel ou son emploi pour tout autre but que des operations ou entretiens de l'equipement a moins d'une permission ecrite de Sony Corporation.

Das in dieser Anleitung enthaltene Material besteht aus Informationen, die Eigentum der Sony Corporation sind, und ausschliesslich zum Gebrauch durch den Käufer der in dieser Anleitung beschriebenen Ausrüstung bestimmt sind. Die Sony Corporation untersagt ausdrücklich die Vervielfältigung jeglicher Teile dieser Anleitung oder den Gebrauch derselben für irgendeinen anderen Zweck als die Bedienung oder Wartung der in dieser Anleitung beschriebenen Ausrüstung ohne ausdrückliche schriftliche Erlaubnis der Sony Corporation.

Le informazioni contenute nel presente manuale sono di proprietà di Sony Corporation e il relativo uso è destinato solamente agli acquirenti dell'apparecchio descritto in questo documento.

Sony Corporation vieta espressamente la duplicazione in parte o per intero di questo manuale e il suo utilizzo per scopi differenti dal funzionamento o manutenzione dell'apparecchio ivi descritto, senza previo permesso scritto di Sony Corporation.

El material de este manual contiene informacion que es propiedad de Sony Corporation y se destina al uso por parte de los compradores del equipo descrito en este manual. Sony Corporation prohíbe expresamente la duplicacion de cualquier parte de este manual o el uso del mismo para cualquier proposito diferente al funcionamiento o el mantenimiento del equipo descrito en este manual sin la autorizacion expresa por escrito de Sony Corporation.

本手册中包含的信息属于Sony Corporation公司所有，只有购买本手册中所述设备的消费者才可使用。在未获得Sony Corporation明确书面许可的条件下，Sony Corporation禁止任何人对本手册中的任何部分进行复制，或者出于任何目的使用本手册中的任何内容，但为操作或者维护此手册中所述的设备除外。

商標について

- Microsoft、Windows および Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Mac OS および Safari は、米国 Apple, Inc. の商標または登録商標です。

Trademarks

- Microsoft, Windows and Internet Explorer are registered trademarks of Microsoft Corporation in the United States and other countries.
- Mac OS and Safari are trademarks or registered trademarks of Apple, Inc.

Marques commerciales

- Microsoft, Windows et Internet Explorer sont des marques deposees de Microsoft Corporation aux Etats-Unis et dans d'autres pays.
- Mac OS et Safari sont des marques de fabrique ou des marques deposees de Apple, Inc.

Warenzeichen

- Microsoft, Windows und Internet Explorer sind in den Vereinigten Staaten und anderen Landern eingetragene Warenzeichen der Microsoft Corporation.
- Mac OS und Safari sind Warenzeichen oder eingetragene Warenzeichen von Apple, Inc.

Marchi

- Microsoft, Windows e Internet Explorer sono marchi registrati di Microsoft Corporation negli Stati Uniti e altri paesi.
- Mac OS e Safari sono marchi o marchi registrati di Apple, Inc.

Marcas comerciales

- Microsoft, Windows e Internet Explorer son marcas comerciales registradas de Microsoft Corporation en los EE. UU. y otros paises.
- Mac OS y Safari son marcas comerciales o marcas comerciales registradas de Apple, Inc.

商标

- Microsoft, Windows和Internet Explorer是Microsoft Corporation在美国及其他国家/地区的注册商标。
- Mac OS和Safari是Apple, Inc.的商标或注册商标。

出版日期：2015年1月

Sony Corporation

<http://www.sony.net/>

ODS-L10(SYL/CNB)
4-451-115-03 (1)

この説明書は、再生紙を使用しています。
Printed on recycled paper.

Printed in Japan
2015.1 32
© 2012